

三菱重工

セゾンエアコン ビル空調システム

室内ユニット**技術資料**

・天井埋込形1方向吹出し（FDTS）

本資料は室内ユニットに関する事項を記載しております。
記載事項以外については、2012年冷熱ハンドブック・設計施工編および
サービス編をご覧ください。

総目次

1. セゾンエアコン

- 1.1 セゾンインバータ・ハイパーインバータシリーズ…………… 1

2. ビル空調システム

- 2.1 室内ユニットシリーズ…………… 71

3. 別売品

- 3.1 ワイヤレスキット (RCN-TS) …………… 85

1. セゾンエアコン

1.1 セゾンインバータ・ハイパーインバータシリーズ

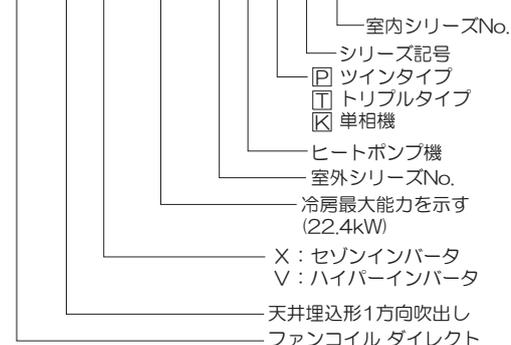
目 次

(1) 仕 様	2
(2) 使用範囲	25
(3) 外形図	28
(4) 電気配線図	33
(5) 気流分布	34
(6) 運 転 音	39
(7) 塗 装 色	40
(8) 電源・配線仕様	41
(9) 防振設計用参考資料	45
(10) 据付関連事項	46

・形式名称の見方（例）

セット形式

FD TS X P224 3 H T G 4



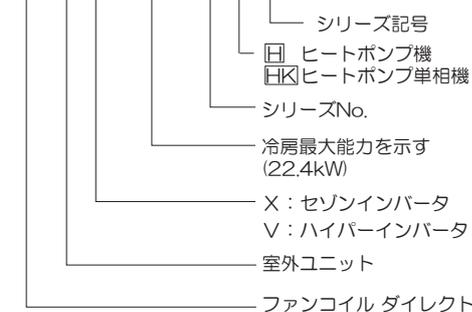
室内ユニット形式

FD TS VX P80 4



室外ユニット形式

FD C X P224 3 H G



(1) 仕様

(a) セゾンインバータシリーズ

PJC001Z337

PJC001Z338

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTSPX-HK〕

セット形式		FDTSPX404HK4	FDTSPX454HK4
形式		室内：FDTSPXP404 室外：FDCXP404HK	室内：FDTSPXP454 室外：FDCXP454HK
パネル形式	標準仕様（直吹き）・オートスイング付 （別売品） 下がり天井仕様・オートスイングなし	TS-PSA-3AW	
リモートコントロール		TS-PNA-3AW	
電源		RC-DX1G, RC-D4G 単相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	3.6[1.7～4.0]	4.0[1.8～4.5]
	暖房能力	1.7	1.8
		4.0[1.8～4.5]	4.5[2.1～5.0]
(1)運転	定格冷房時の顕熱比	0.78	0.75
	運転電流	冷房 5.6 暖房 5.9	冷房 6.4 暖房 7.0
	始動電流（最大電流）	5(16)	
特	消費電力	冷房 定格 0.980 中間 0.333	冷房 定格 1.16 中間 0.348
		暖房 定格標準 1.04 中間 0.335 定格低温 1.37	暖房 定格標準 1.28 中間 0.407 定格低温 1.37
	エネルギー消費効率	冷房 定格：88, 中間：88 暖房 定格：3.67, 中間：5.11	冷房 定格：91, 中間：91 暖房 定格：3.45, 中間：5.17
	年間エネルギー消費効率	5.0	4.8
運	室内ユニット	P急：42, 急：40, 強：38, 弱：35	
	室外ユニット	46	
室	外形寸法（高さ×幅×奥行）	mm 本体：220×1150×565, パネル：35×1460×650	
	製品質量	kg 本体：27, 標準パネル：6, 下がり天井パネル：6	
	送風装置	アルミフィン&銅チューブ式 両吸込多翼遠心式（モータ直結）×4 P急：13, 急：12, 強：11, 弱：9.5	
	機外静圧（標準風量時）	Pa 0	
	電動機定格出力	W 35	
	エアフィルタ	プラスチックネット（洗浄可能）	
	吹出ダクト接続口	不可能	
	新鮮空気取入口	背面を利用して可能	
	運転調整	操作（運転切換、風量調整、タイマ、換気） 室温調節（電子サーモスタット）表示（運転・点検用・LED、液晶表示） 遠方発停入力用コネクタ（CNT）を保有（6P・室内基板上）	
	遠方発停機能	—（組込不可能） —（組込不可能）	
加湿器	送風用電動機：防振ゴム、外板：吸音断熱材貼付		
室	外形寸法（高さ×幅×奥行）	mm 640×800(+71)×290	
	製品質量	kg 47	
	送風装置	RMT5113MCE2×1 アルミフィン&銅チューブ式 電子膨張弁	
	冷媒封入量	kg 1.8(R410A)[配管30m分封入済]	
	冷凍機油封入量	ℓ 0.45(M-MA68)	
	送風装置	軸流式（モータ直結）×1 33	
	電動機定格出力	W 34	
	クランクケースヒータ	W 20	
	低外気温時冷房運転制御機能	室外送風用電動機制御により外気温-5℃～43℃で冷房運転可能	
	除霜	マイコン差温式デアイスによる逆サイクル方式 圧縮機：防振ゴム、吸音断熱材巻付	
配	冷媒配管（外径）	mm φ 6.35(フレア接続) φ 12.7(フレア接続)	
	排水口	〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ 20mmの排水穴×5個	
電	電源配線サイズ	φ mm φ 2.0/φ 2.0×2本	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）	A 30/30	
	開閉器または配線用しゃ断器	20/20	
	アース線サイズ	φ mm φ 1.6/φ 1.6	
室内外ユニット接続配線	φ mm φ 1.6×3本		
設	計圧力	MPa 高圧部：4.15, 低圧部：2.21	
法	定冷凍能力	トン 0.35(届出不要) 0.40(届出不要)	
保	護	室内：IPX0, 室外：IPX4	
保	護	冷房時フロスト防止、過負荷保護、吐出温度保護	

注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量において JIS B8616:2006 および JRA4048:2006 条件により運転した値です。[～] は最小最大範囲幅を示します。
 (2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速（急・強・弱）となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定（P急・急・強）としてください。
 (3) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.04kW

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTSPX-HK〕

セット形式		FDTSPX504HK4	FDTSPX564HK4	
形式		室内：FDTSPXP504 室外：FDCXP504HK	室内：FDTSPXP564 室外：FDCXP564HK	
項目	形式	TS-PSA-3AW		
パネル形式 (別売品)	標準仕様(直吹き)・オートスイング付 下がり天井仕様・オートスイングなし	TS-PNA-3AW		
リモートコントローラ		RC-DX1G, RC-D4G		
電源		単相 200V 50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格	4.5[2.1 ~ 5.0]	5.0[2.3 ~ 5.6]
		中間	2.1	2.3
	暖房能力	定格標準	5.0[2.3 ~ 5.6]	5.6[2.6 ~ 6.3]
		中間	2.3	2.6
定格低温		4.6	4.8	
定格冷房時の顕熱比		0.79	0.71	
(1)運転	運転電流	冷房	7.6	7.9
	始動電流(最大電流)	暖房	7.8	9.4
特性	消費電力	冷房	1.42	1.47
		暖房	0.414	0.446
	エネルギー消費効率	冷房	1.44	1.77
		暖房	0.430	0.486
年間エネルギー消費効率		1.69	1.72	
運転音	室内ユニット		冷：93, 暖：92	冷：93, 暖：94
	室外ユニット		定格：3.17, 中間：5.07 定格：3.47, 中間：5.35	定格：3.40, 中間：5.16 定格：3.16, 中間：5.35
室内ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	mm	本体：220 × 1150 × 565, パネル：35 × 1460 × 650	
	製品質量	kg	本体：27, 標準パネル：6, 下がり天井パネル：6	本体：28, 標準パネル：6, 下がり天井パネル：6
	空気熱交換器		アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数	両吸込多翼遠心式(モータ直結) × 4	
	機外静圧(標準風量時)	m³/min	P急：14.5, 急：12.5, 強：11, 弱：9.5	
	電動機	定格出力	0	
	エアフィルタ		50	
	吹出ダクト接続口		プラスチックネット(洗浄可能)	
	新鮮空気取入口		不可能	
	運転調整		背面を利用して可能	
	遠方発停機能		操作(運転切換, 風量調整, タイマ, 換気) 室温調節(電子サーモスタット) 表示(運転・点検用・LED, 液晶表示) 遠方発停入力用コネクタ(CNT)を保有(6P・室内基板上)	
	加湿器	補助電気ヒータ	—(組込不可能)	
加湿器	加湿器	—(組込不可能)		
防振装置・防音・断熱材		送風用電動機：防振ゴム, 外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	mm	640 × 800(+71) × 290	
	製品質量	kg	47	
	冷却装置	圧縮機形式・台数	RMT5113MCE2 × 1	
		空気熱交換器	アルミフィン&銅チューブ式	
	冷媒制御器		電子膨張弁	
	冷媒封入量	kg	1.8(R410A)[配管30m分封入済]	
	冷凍機油封入量	ℓ	0.45(M-MA68)	
	送風装置	形式・台数	軸流式(モータ直結) × 1	
	電動機	定格出力	冷：38, 暖：33	38
	クランクケースヒータ	W	34	
	低外気温時冷房運転制御機能		20	
	霜除		室外送風用電動機制御により外気温-5℃~43℃で冷房運転可能 マイコン差温式デアイスによる逆サイクル方式	
防振・防音装置		圧縮機：防振ゴム, 吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管(外径)	液管	φ 6.35(フレア接続)	
	ガス管		φ 12.7(フレア接続)	
電気配線	排水口		〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ 20mmの排水穴×5個	
	電源配線サイズ	φ mm	φ 2.0/ φ 2.0 × 2本	
設計	漏電しゃ断器(高調波対応品)	A	30/30	
	開閉器または配線用しゃ断器		20/20	
法	アース線サイズ	φ mm	φ 1.6/ φ 1.6	
	室内外ユニット接続配線	φ mm	φ 1.6 × 3本	
保護	設計圧力	MPa	高圧部：4.15, 低圧部：2.21	
	法定冷凍能力	トン	0.44(届出不要)	0.50(届出不要)
保護装置			室内：IPX0, 室外：IPX4	
保護装置			冷房時 Frost 防止, 過負荷保護, 吐出温度保護	

注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量において JIS B8616:2006 および JRA4048:2006 条件により運転した値です。[~] は最小最大範囲幅を示します。
 (2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定(P急・急・強)としてください。
 (3) BEST計算用 室内送風機消費電力:0.06kW

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTSPX-HK〕

セット形式		FDTSPX634HK4	FDTSPX803HKG4	
項目	形式	室内：FDTSPX634 室外：FDCXP634HK	室内：FDTSPX803 室外：FDCXP803HKG	
パネル形式 (別売品)	標準仕様(直吹き)・オートスイング付 下がり天井仕様・オートスイングなし	TS-PSA-3AW TS-PNA-3AW		
リモートコントローラ		RC-DX1G, RC-D4G		
電源		単相 200V 50/60Hz		
①能力	冷房能力	定格	5.6[2.6～6.3]	7.1[3.2～8.0]
		中間	2.6	3.2
	暖房能力	定格標準	6.3[2.9～7.1]	8.0[3.6～10.0]
		中間	2.9	3.6
定格冷房時の顕熱比		0.72	0.70	
①運転	運転電流	冷房	9.8	14.5
		暖房	11.0	13.0
	始動電流(最大電流)		5(16)	5(19)
	消費電力	冷房	定格	1.86
中間			0.514	0.700
暖房		定格標準	2.11	2.52
		中間	0.554	0.750
		定格低温	2.27	2.88
①特性	力率		%	
	エネルギー消費効率		冷：95, 暖：96	
	冷房		冷：97, 暖：97	
	暖房		定格：3.01, 中間：5.06	
年間エネルギー消費効率		定格：2.99, 中間：5.23		
冷房		定格：2.52, 中間：4.57		
暖房		定格：3.17, 中間：4.80		
①運転音	室内ユニット	dB(A) P急：48, 急：42, 強：39, 弱：35		
	室外ユニット	冷：51, 暖：48		
室内ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	mm 本体：220×1150×565, パネル：35×1460×650		
	製品質量	kg 本体：28, 標準パネル：6, 下がり天井パネル：6		
	空気熱交換器	アルミフィン&銅チューブ式		
	送風機	両吸込多翼遠心式(モータ直結)×4		
	機外静圧(標準風量時)	Pa P急：16, 急：12.5, 強：11, 弱：9.5 P急：18, 急：15, 強：12, 弱：10		
	電動機定格出力	W 70		
	エアフィルタ	プラスチックネット(洗浄可能)		
	吹出ダクト接続口	不可能		
	新鮮空気取入口	背面を利用して可能		
	運転調整	操作(運転切換, 風量調整, タイマ, 換気)		
室外ユニット	遠方発停用機能	室温調節(電子サーモスタット)表示(運転・点検用・LED, 液晶表示)		
	加温補助電気ヒータ	遠方発停入力用コネクタ(CNT)を保有(6P・室内基板上)		
	加湿器	—(組込不可能)		
	加湿器	—(組込不可能)		
	防振装置・防音・断熱材	送風用電動機：防振ゴム, 外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	mm 640×800(+71)×290 750×880(+88)×340		
	製品質量	kg 47 60		
	圧縮機形式・台数	RMT5113MCE2×1 RM5118MDE2×1		
	空気熱交換器	アルミフィン&銅チューブ式		
	冷媒制御器	電子膨張弁		
	冷媒封入量	kg 1.8(R410A)[配管30m分封入済] 2.95(R410A)[配管30m分封入済]		
	冷凍機油封入量	ℓ 0.45(M-MA68) 0.675(M-MA68)		
	送風機	軸流式(モータ直結)×1		
	機外静圧	Pa 冷：38, 暖：41 冷：60, 暖：50		
	電動機定格出力	W 34 86		
クラックケースヒータ	W 20			
低外気温時冷房運転制御機能	室外送風用電動機制御により外気温-5℃(80形：-15℃)～43℃で冷房運転可能 ⁽³⁾			
霜除	マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式			
防振・防音装置	圧縮機：防振ゴム, 吸音断熱材巻付			
配管寸法	冷媒配管(外径)	mm φ 6.35(フレア接続) φ 9.52(フレア接続)		
	排水口	φ 12.7(フレア接続) φ 15.88(フレア接続)		
電気配線	電源配線サイズ	φmm又はmm ² [室内] VP25の排水管の接続可能 [室外] 内径φ 20mmの排水穴×5個(80形：3個)		
	漏電しゃ断器(高調波対応品)	A φ 2.0/φ 2.0×2本 □ 5.5/□ 5.5×2本		
	開閉器または配線用しゃ断器	20/20 30/30		
設計	アース線サイズ	φ mm φ 1.6/φ 1.6		
	室内外ユニット接続配線	φ mm φ 1.6×3本		
法定	設計圧	MPa 高圧部：4.15, 低圧部：2.21		
	冷房能力	トン 0.55(届出不要) 0.73(届出不要)		
保護	IPコード	室内：IPX0, 室外：IPX4 室内：IPX0, 室外：IP24		
備考		冷房時フロスト防止, 過負荷保護, 吐出温度保護		

注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量において JIS B8616:2006 および JRA4048:2006 条件により運転した値です。[~] は最小最大範囲幅を示します。
 (2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定(P急・急・強)としてください。
 (3) 外気温が-5℃以下で冷房運転を行う場合、フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売品)を取付けてください。(80形のみ)
 (4) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.08kW(80形：0.09kW)

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDTSP-H〕

セット形式		FDTSP404H4	FDTSP454H4	
項目	形式	室内：FDTSP404H4 室外：FDC404H	室内：FDTSP454H4 室外：FDC454H	
パネル形式	標準仕様（直吹き）・オートスイング付 （別売品） 下がり天井仕様・オートスイングなし	TS-PSA-3AW TS-PNA-3AW		
リモートコントローラ		RC-DX1G, RC-D4G		
電源		3相 200V 50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格	3.6[1.7～4.0]	4.0[1.8～4.5]
		中間	1.7	1.8
	暖房能力	定格標準	4.0[1.8～4.5]	4.5[2.1～5.0]
		中間	1.8	2.1
定格冷房時の顕熱比		0.78	0.75	
(1)運転	運転電流	冷房	3.7	4.2
		暖房	3.9	4.6
	始動電流（最大電流）		5(12)	
	消費電力	冷房	定格	0.980
中間			0.333	0.348
暖房		定格標準	1.04	1.28
		中間	0.335	0.407
力率		1.37	1.37	
エネルギー消費効率	率 %		冷：76, 暖：77	冷：80, 暖：80
	消費効率	冷房	定格：3.67, 中間：5.11	定格：3.45, 中間：5.17
		暖房	定格：3.85, 中間：5.37	定格：3.52, 中間：5.16
	通年エネルギー消費効率		5.0	4.8
運転音	室内ユニット	dB(A) P急：42, 急：40, 強：38, 弱：35		
	室外ユニット	46		
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	mm 本体：220×1150×565, パネル：35×1460×650		
	製品質量	kg 本体：27, 標準パネル：6, 下がり天井パネル：6		
	空気熱交換器	アルミフィン&銅チューブ式		
	送風形式・台数	両吸込多翼遠心式（モータ直結）×4		
	機外静圧（標準風量時）	Pa P急：13, 急：12, 強：11, 弱：9.5		
	電動機定格出力	W 0		
	エアフィルタ	35		
	吹出ダクト接続口	プラスチックネット（洗浄可能）		
	新鮮空気取入口	不可能		
	運転調整	背面を利用して可能 操作（運転切換、風量調整、タイマ、換気）		
	遠方発停機機能	室温調節（電子サーモスタット）表示（運転・点検用・LED、液晶表示） 遠方発停入力用コネクタ（CNT）を保有（6P・室内基板上）		
	加湿器	—（組込不可能）		
	加湿器	—（組込不可能）		
	防振装置・防音・断熱材	送風用電動機：防振ゴム、外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	mm 640×800(+71)×290		
	製品質量	kg 45		
	圧縮機形式・台数	RMT5113MCE2×1		
	空気熱交換器	アルミフィン&銅チューブ式		
	冷媒制御器	電子膨張弁		
	冷媒封入量	kg 1.8(R410A)[配管30m分封入済]		
	冷凍機油封入量	ℓ 0.45(M-MA68)		
	送風形式・台数	軸流式（モータ直結）×1		
	電動機定格出力	W 33		
	クランクケースヒータ	W 34		
低外気温時冷房運転制御機能	W 20			
除霜	室外送風用電動機制御により外気温-5℃～43℃で冷房運転可能 マイコン差温式デアイスによる逆サイクル方式			
防振・防音装置	圧縮機：防振ゴム、吸音断熱材巻付			
配管寸法	冷媒配管（外径）	mm φ 6.35(フレア接続) φ 12.7(フレア接続)		
	排水口	〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ 20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ	φ mm φ 1.6/ φ 1.6×3本		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）	A 15/15		
	開閉器または配線用しゃ断器	15/15		
	アース線サイズ	φ mm φ 1.6/ φ 1.6		
室内外ユニット接続配線	φ mm φ 1.6×3本			
設計圧力	MPa	高圧部：4.15, 低圧部：2.21		
法定冷凍能力	トン	0.35(届出不要) 0.40(届出不要)		
IPコード		室内：IPX0, 室外：IPX4		
保護装置		冷房時フロスト防止, 過負荷保護, 吐出温度保護		

注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量において JIS B8616:2006 および JRA4048:2006 条件により運転した値です。[～] は最小最大範囲幅を示します。
 (2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速（急・強・弱）となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定（P急・急・強）としてください。
 (3) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.04kW

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDTSP-H〕

セット形式		FDTSP504H4	FDTSP564H4		
項目	形式	室内：FDTSP504 室外：FDCXP504H	室内：FDTSP564 室外：FDCXP564H		
パネル形式	標準仕様（直吹き）・オートスイング付 （別売品） 下がり天井仕様・オートスイングなし	TS-PSA-3AW TS-PNA-3AW			
リモートコントローラ		RC-DX1G, RC-D4G			
電源		3相 200V 50/60Hz			
(1)能力	冷房能力	定格	4.5[2.1～5.0]	5.0[2.3～5.6]	
		中間	2.1	2.3	
	暖房能力	定格標準	5.0[2.3～5.6]	5.6[2.6～6.3]	
		中間	2.3	2.6	
定格冷房時の顕熱比		0.79	0.71		
(1)運転	運転電流	冷房	4.9	5.0	
	暖房	5.0	6.0		
特性	始動電流（最大電流）		5(12)		
	消費電力	冷房	定格	1.41	1.47
			中間	0.407	0.446
		暖房	定格標準	1.43	1.77
			中間	0.430	0.486
	力	定格低温	1.69	1.72	
率		冷：83, 暖：83			
エネルギー消費効率	冷房	定格：3.19, 中間：5.16			
	暖房	定格：3.50, 中間：5.35			
通年エネルギー消費効率		4.8			
運転音	室内ユニット	P急：44, 急：41, 強：38, 弱：35			
	室外ユニット	冷：48, 暖：49			
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	mm	本体：220×1150×565, パネル：35×1460×650		
	製品質量	kg	本体：27, 標準パネル：6, 下がり天井パネル：6		
	空気熱交換器		アルミフィン&銅チューブ式		
	送風形式・台数		両吸込多翼遠心式（モータ直結）×4		
	機外静圧（標準風量時）	Pa	P急：14.5, 急：12.5, 強：11, 弱：9.5		
	電動機定格出力	W	50		
	エアフィルタ		プラスチックネット（洗浄可能）		
	吹出ダクト接続口		不可能		
	新鮮空気取入口		背面を利用して可能		
	運転調整		操作（運転切換, 風量調整, タイマ, 換気）		
	遠方発停用機能		室温調節（電子サーモスタット）表示（運転・点検用・LED, 液晶表示）		
	加温補助電気ヒータ		遠方発停入力用コネクタ（CNT）を保有（6P・室内基板上）		
	加湿器		—（組込不可能）		
	加湿器		—（組込不可能）		
	防振装置・防音・断熱材		送風用電動機：防振ゴム, 外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	mm	640×800(+71)×290		
	製品質量	kg	45		
	圧縮機形式・台数		RMT5113MCE2×1		
	空気熱交換器		アルミフィン&銅チューブ式		
	冷媒制御器		電子膨張弁		
	冷媒封入量	kg	1.8(R410A)[配管30m分封入済]		
	冷凍機油封入量	ℓ	0.45(M-MA68)		
	送風形式・台数		軸流式（モータ直結）×1		
	電動機定格出力	W	冷：38, 暖：33	38	
	クラックケースヒータ	W	20		
低外気温時冷房運転制御機能		室外送風用電動機制御により外気温-5℃～43℃で冷房運転可能			
除霜		マイコン差温式デアイスによる逆サイクル方式			
防振・防音装置		圧縮機：防振ゴム, 吸音断熱材巻付			
配管寸法	冷媒配管（外径）	mm	φ 6.35(フレア接続) φ 12.7(フレア接続)		
	排水口		〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ 20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ	φ mm	φ 1.6/ φ 1.6×3本		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）	A	15/15		
	開閉器または配線用しゃ断器		15/15		
	アース線サイズ	φ mm	φ 1.6/ φ 1.6		
室内外ユニット接続配線	φ mm	φ 1.6×3本			
設計圧力	MPa	高圧部：4.15, 低圧部：2.21			
法定冷凍能力	トン	0.44(届出不要)	0.50(届出不要)		
IPコード		室内：IPX0, 室外：IPX4			
保護装置		冷房時フロスト防止, 過負荷保護, 吐出温度保護			

注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量において JIS B8616:2006 および JRA4048:2006 条件により運転した値です。[～] は最小最大範囲幅を示します。
 (2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速（急・強・弱）となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定（P急・急・強）としてください。
 (3) BEST 計算用 室内送風機消費電力：0.06kW

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDTSP-H〕

セット形式		FDTSP634H4	FDTSP803HG4	
項目	形式	室内：FDTSPVX634 室外：FDCXP634H	室内：FDTSPVX804 室外：FDCXP803HG	
パネル形式 (別売品)	標準仕様(直吹き)・オートスイング付 下がり天井仕様・オートスイングなし	TS-PSA-3AW TS-PNA-3AW		
リモートコントローラ		RC-DX1G, RC-D4G		
電源		3相 200V 50/60Hz		
①能力	冷房能力	定格	5.6[2.6～6.3]	7.1[3.2～8.0]
		中間	2.6	3.2
	暖房能力	定格標準	6.3[2.9～7.1]	8.0[3.6～10.0]
		中間	2.9	3.6
力	定格低温	5.8	6.7	
定格冷房時の顕熱比		0.72	0.70	
①運転	運転電流	冷房	6.1	9.1
		暖房	6.9	8.1
	始動電流(最大電流)		5(12)	5(13)
	消費電力	冷房	定格	1.85
中間			0.514	0.690
定格標準			2.10	2.50
力	暖房	中間	0.554	0.740
		定格低温	2.27	2.88
		率	冷：88, 暖：88	冷：89, 暖：89
①性能	エネルギー消費効率	冷房	定格：3.03, 中間：5.06	定格：2.54, 中間：4.64
	暖房	定格：3.00, 中間：5.23	定格：3.20, 中間：4.86	
①性能	通年エネルギー消費効率	4.6	4.3	
①運転音	室内ユニット	P急：48, 急：42, 強：39, 弱：35		P急：50, 急：46, 強：41, 弱：36
	室外ユニット	50		冷：51, 暖：48
室内ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	本体：220×1150×565, パネル：35×1460×650		
	製品質量	本体：28, 標準パネル：6, 下がり天井パネル：6		
	空気熱交換器	アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	両吸込多翼遠心式(モータ直結)×4		
	風量	P急：16, 急：12.5, 強：11, 弱：9.5		P急：18, 急：15, 強：12, 弱：10
	機外静圧(標準風量時)	0		
	電動機定格出力	70		
	エアフィルタ	プラスチックネット(洗浄可能)		
	吹出ダクト接続口	不可能		
	新鮮空気取入口	背面を利用して可能		
①運転調整	運転調整	操作(運転切換, 風量調整, タイマ, 換気)		
	遠方発停用機能	室温調節(電子サーモスタット)表示(運転・点検用・LED, 液晶表示)		
	加湿補助電気ヒータ	遠方発停入力用コネクタ(CNT)を保有(6P・室内基板上)		
	加湿器加湿	—(組込不可能)		
防振装置・防音・断熱材	—(組込不可能)			
室外ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	640×800(+71)×290	750×880(+88)×340	
	製品質量	45	60	
	圧縮機形式・台数	RMT5113MCE2×1	RMT5118MDE2×1	
	空気熱交換器	アルミフィン&銅チューブ式		
	冷媒制御器	電子膨張弁		
	冷媒封入量	1.8(R410A)[配管30m分封入済]	2.95(R410A)[配管30m分封入済]	
	冷凍機油封入量	0.45(M-MA68)	0.675(M-MA68)	
	送風装置	軸流式(モータ直結)×1		
	風量	冷：38, 暖：41	冷：60, 暖：50	
	電動機定格出力	34	86	
クラックケースヒータ	20			
低外気温時冷房運転制御機能	室外送風用電動機制御により外気温-5℃(80形：-15℃)～43℃で冷房運転可能 ⁽³⁾			
除霜	マイコン差温式デアイスによる逆サイクル方式			
防振・防音装置	圧縮機：防振ゴム, 吸音断熱材巻付			
配管寸法	冷媒配管(外径)	液管 φ 6.35(フレア接続)	φ 9.52(フレア接続)	
	ガス管	φ 12.7(フレア接続)	φ 15.88(フレア接続)	
	排水口	〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ 20mmの排水穴×5個(80形：3個)		
電気配線	電源配線サイズ	φ 1.6/φ 1.6×3本	φ 2.0/φ 2.0×3本	
	漏電しゃ断器(高調波対応品)	15/15	30/30	
	開閉器または配線用しゃ断器	15/15	20/20	
	アース線サイズ	φ 1.6/φ 1.6		
室内外ユニット接続配線	φ 1.6×3本			
設計	圧力	高圧部：4.15, 低圧部：2.21		
	法定冷凍能力	0.55(届出不要)	0.73(届出不要)	
IPコード	室内：IPX0, 室外：IPX4		室内：IPX0, 室外：IP24	
保護装置	冷房時フロスト防止, 過負荷保護, 吐出温度保護			

- 注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量において JIS B8616:2006 および JRA4048:2006 条件により運転した値です。[~] は最小最大範囲幅を示します。
 注(2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定(P急・急・強)としてください。
 注(3) 外気温が-5℃以下で冷房運転を行う場合、フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売品)を取付けてください。(80形のみ)
 注(4) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.08kW(80形：0.09)

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDTSPX-HKP〕

セット形式		形式		FDTSPX803HKPG4		
項目				室内：FDTSPXP404	室外：FDCXP803HKG	
パネル形式	標準仕様（直吹き）・オートスイング付			TS-PSA-3AW		
(別売品)	下がり天井仕様・オートスイングなし			TS-PNA-3AW		
リモートコントローラ				RC-DX1G, RC-D4G		
電源				単相 200V 50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格	7.1[3.2～8.0]			
		中間	3.2			
	暖房能力	定格標準	8.0[3.6～10.0]			
		中間	3.6			
定格冷房時の顕熱比			0.77			
(1)運転	運転電流	冷房	12.2			
		暖房	12.4			
	始動電流(最大電流)			5(19)		
	消費電力	冷房	定格	2.36		
中間			0.685			
標準			2.40			
暖房	中間	0.860				
	標準	2.70				
	定格低温					
力率				冷：97, 暖：97		
エネルギー	消費効率	冷房	定格：3.01, 中間：4.67			
		暖房	定格：3.33, 中間：4.19			
	通年エネルギー消費効率			4.1		
運転音	室内ユニット			P急：42, 急：40, 強：38, 弱：35		
	室外ユニット			冷：51, 暖：48		
室内ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)		mm	本体：220×1150×565, パネル：35×1460×650		
	製品質量		kg	本体：27, 標準パネル：6, 下がり天井パネル：6		
	空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数		両吸込多翼遠心式(モータ直結)×4		
		機外静圧(標準風量時)	Pa	P急：13, 急：12, 強：11, 弱：9.5		
	電動機定格出力	W	0			
	エアフィルタ		プラスチックネット(洗浄可能)			
	吹出ダクト接続口		不可能			
	新鮮空気取入口		背面を利用して可能			
	運転調整		操作(運転切換, 風量調整, タイマ, 換気)			
	遠方発停機		室温調節(電子サーモスタット)表示(運転・点検用・LED, 液晶表示)			
	加温補助電気ヒータ		遠方発停入力用コネクタ(CNT)を保有(6P・室内基板上)			
	加湿器		—(組込不可能)			
	防振装置・防音・断熱材		—(組込不可能)			
送風用電動機			防振ゴム, 外板：吸音断熱材貼付			
室外ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)		mm	750×880(+88)×340		
	製品質量		kg	60		
	冷却装置	圧縮機形式・台数		RMT5118MDE2×1		
		空気熱交換器		アルミフィン&銅チューブ式		
	冷媒封入量	冷媒制御器		電子膨張弁		
		冷凍機油封入量	kg	2.95(R410A)[配管30m分封入済]		
	送風装置	形式・台数		軸流式(モータ直結)×1		
		電動機定格出力	W	冷：60, 暖：50		
	クラックケースヒータ	W	86			
	低外気温時冷房運転制御機能		20			
	除霜		室外送風用電動機制御により外気温-15℃～43℃で冷房運転可能 ⁽⁶⁾			
	防振・防音装置		マイコン差温式デアイスによる逆サイクル方式			
	圧縮機			防振ゴム, 吸音断熱材巻付		
	配管寸法	冷媒配管(外径)	液管	室内分岐管：φ9.52(フレア接続), 室外主管：φ9.52(フレア接続)		
ガス管		mm	室内分岐管：φ12.7(フレア接続), 室外主管：φ15.88(フレア接続)			
電気配線	電源配線サイズ	mm ²	〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個			
	漏電しゃ断器(高調波対応品)	A	□5.5/□5.5×2本			
配線	開閉器または配線用しゃ断器	A	30/30			
	アース線サイズ	φmm	30/30			
設計	室内外ユニット接続配線	φmm	φ1.6/φ1.6			
	圧力	MPa	φ1.6×3本			
法定	冷房能力	トン	高压部：4.15, 低压部：2.21			
	IPコード		0.73(届出不要)			
保護装置			室内：IPX0, 室外：IP24			
冷房時 Frost 防止, 過負荷保護, 吐出温度保護						

注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量において JIS B8616:2006 および JRA4048:2006 条件により運転した値です。[～] は最小最大範囲幅を示します。
 (2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定(P急・急・強)としてください。
 (3) 能力および運転特性は室内ユニット2台と組合せて運転した場合の値です。室内ユニットの仕様は1台分を示します。
 (4) ツイン機の分岐配管は必ず分岐管セット DIS-WA1G(別売品)を使用して接続してください。
 (5) 外気温が-5℃以下で冷房運転を行う場合, フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売品)を取付けてください。
 (6) BEST 計算用 室内送風機消費電力: 0.04kW×2台

冷暖房兼用機（ヒータレス形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDTSP-HP〕

セット形式		形式		FDTSP803HPG4	
項目				室内：FDTSPXP404	室外：FDCXP803HG
パネル形式	標準仕様（直吹き）・オートスイング付			TS-PSA-3AW	
(別売品)	下がり天井仕様・オートスイングなし			TS-PNA-3AW	
リモートコントローラ				RC-DX1G, RC-D4G	
電源				3相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格	7.1[3.2～8.0]		
		中間	3.2		
	暖房能力	定格標準	8.0[3.6～10.0]		
		中間	3.6		
定格冷房時の顕熱比			0.77		
(1)運転	運転電流	冷房	7.6		
		暖房	7.8		
	始動電流(最大電流)			5(13)	
	消費電力	冷房	定格	2.36	
中間			0.685		
暖房		定格標準	2.40		
		中間	0.860		
		定格低温	2.70		
力				率	%
エネルギー	冷房				冷：90，暖：89
消費効率	暖房				定格：3.01，中間：4.67
全年エネルギー消費効率					定格：3.33，中間：4.19
運転音	室内ユニット				P急：42，急：40，強：38，弱：35
	室外ユニット				冷：51，暖：48
室内ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)		mm	本体：220×1150×565，パネル：35×1460×650	
	製品質量		kg	本体：27，標準パネル：6，下がり天井パネル：6	
	空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
	送風形式・台数			両吸込多翼遠心式(モータ直結)×4	
	機外静圧(標準風量時)		Pa	P急：13，急：12，強：11，弱：9.5	
	電動機定格出力		W	0	
	エアフィルタ			プラスチックネット(洗浄可能)	
	吹出ダクト接続口			不可能	
	新鮮空気取入口			背面を利用して可能	
	運転調整			操作(運転切換，風量調整，タイマ，換気)	
遠方発停機機能			室温調節(電子サーモスタット)表示(運転・点検用・LED，液晶表示)		
加湿補助電気ヒータ			遠方発停入力用コネクタ(CNT)を保有(6P・室内基板上)		
加湿器加湿器			—(組込不可能)		
防振装置・防音・断熱材			—(組込不可能)		
			送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)		mm	750×880(+88)×340	
	製品質量		kg	60	
	圧縮機形式・台数			RMT5118MDE2×1	
	空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
	冷媒制御器			電子膨張弁	
	冷媒封入量		kg	2.95(R410A)[配管30m分封入済]	
	冷凍機油封入量		ℓ	0.675(M-MA68)	
	送風形式・台数			軸流式(モータ直結)×1	
	電動機定格出力		W	冷：60，暖：50	
	クラックケースヒータ		W	86	
低外気温時冷房運転制御機能			20		
除霜			室外送風用電動機制御により外気温-15℃～43℃で冷房運転可能 ⁽⁶⁾		
防振・防音装置			マイコン差温式デアイスによる逆サイクル方式		
			圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管(外径)	液管	mm	室内分岐管：φ 9.52(フレア接続)，室外主管：φ 9.52(フレア接続)	
	排水	ガス管		室内分岐管：φ 12.7(フレア接続)，室外主管：φ 15.88(フレア接続)	
電気配線	電源配線サイズ		φ mm	〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ 20mmの排水穴×3個	
	漏電しゃ断器(高調波対応品)		A	φ 2.0/φ 2.0×3本	
	開閉器または配線用しゃ断器			30/30	
	アース線サイズ		φ mm	20/20	
室内外ユニット接続配線				φ 1.6/φ 1.6	
				φ 1.6×3本	
設計	圧力	MPa		高压部：4.15，低压部：2.21	
法定	冷凍能力	トン		0.73(届出不要)	
IPコード				室内：IPX0，室外：IP24	
保護装置				冷房時フロスト防止，過負荷保護，吐出温度保護	

- 注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量において JIS B8616：2006 および JRA4048：2006 条件により運転した値です。[～] は最小最大範囲幅を示します。
 (2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定(P急・急・強)としてください。
 (3) 能力および運転特性は室内ユニット2台と組合せて運転した場合の値です。室内ユニットの仕様は1台分を示します。
 (4) ツイン機の分岐配管は必ず分岐管セット DIS-WA1G(別売品)を使用して接続してください。
 (5) 外気温が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売品)を取付けてください。
 (6) BEST 計算用 室内送風機消費電力：0.04kW×2台

冷暖房兼用機(ヒータレス形)ツイン形(室内ユニット:2台, 室外ユニット:1台)(FDTSP-HP)

セット形式		FDTSP1123HPG4	FDTSP1403HPG4	FDTSP1603HPG4	
項目	形式	室内: FDTSPVP564 室外: FDCXP1123HG	室内: FDTSPVP714 室外: FDCXP1403HG	室内: FDTSPVP804 室外: FDCXP1603HG	
パネル形式	標準仕様(直吹き)・オートスイング付 (別売品) 下がり天井仕様・オートスイングなし	TS-PSA-3AW TS-PNA-3AW			
リモートコントローラ		RC-DX1G, RC-D4G			
電源		3相 200V 50/60Hz			
(1)能力	冷房能力	定格	10.0[4.0~11.2]	12.5[5.0~14.0]	14.0[5.0~16.0]
		中間	4.5	5.7	6.3
	暖房能力	定格標準	11.2[4.1~12.5]	14.0[4.0~16.0]	16.0[4.0~18.0]
		中間	5.1	6.3	7.2
定格冷房時の顕熱比		0.69	0.69	0.65	
(1)運転	運転電流	冷房	10.1	15.2	20.3
		暖房	10.0	13.7	15.4
	始動電流(最大電流)		5(14)	5(17)	5(23)
		消費電力	冷房	3.30	4.85
特性	消費電力	中間	0.950	1.29	1.48
		定格標準	3.15	4.30	4.95
	率	中間	1.10	1.31	1.50
		定格低温	3.84	4.79	4.85
エネルギー消費効率		冷: 94, 暖: 91	冷: 92, 暖: 91	冷: 93, 暖: 93	
運轉音	室内ユニット	P急: 45, 急: 42, 強: 39, 弱: 35	P急: 49, 急: 46, 強: 41, 弱: 36	P急: 50, 急: 46, 強: 41, 弱: 36	
	室外ユニット	49	冷: 50, 暖: 51	51	
室内ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	本体: 220 × 1150 × 565, パネル: 35 × 1460 × 650			
	製品質量	本体: 28, 標準パネル: 6, 下がり天井パネル: 6			
	空気熱交換器	アルミフィン&銅チューブ式			
	送風装置	両吸込多翼遠心式(モータ直結) × 4			
	風量	P急: 14.5, 急: 12.5, 強: 11, 弱: 9.5	P急: 17, 急: 15, 強: 12, 弱: 10	P急: 18, 急: 15, 強: 12, 弱: 10	
	機外静圧(標準風量時)	0			
	電動機定格出力	50	70		
	エアフィルタ	プラスチックネット(洗浄可能)			
	吹出ダクト接続	不可能			
	新鮮空気取入口	背面を利用して可能 操作(運転切替, 風量調整, タイマ, 換気) 室温調節(電子サーモスタット)表示(運転・点検用: LED, 液晶表示) 遠方発停入力用コネクタ(CNT)を保有(6P・室内基板上)			
室外ユニット	加温補助電気ヒータ	—(組込不可能)			
	加湿器	—(組込不可能)			
	防振装置・防音・断熱材	送風用電動機: 防振ゴム, 外板: 吸音断熱材貼付			
	外形寸法(高さ×幅×奥行)	845 × 970 × 370			
製品質量	78				
送風装置	圧縮機形式・台数	RMT5126MDE2 × 1			
	空気熱交換器	アルミフィン&銅チューブ式			
	冷媒制御器	電子膨張弁			
	冷媒封入量	3.8(R410A)[配管30m分封入済]			
送風装置	冷凍機油封入量	0.9(M-MA68)			
	形式・台数	軸流式(モータ直結) × 1			
	風量	冷: 75, 暖: 73			
	電動機定格出力	86			
クランクケースヒータ	20				
低外気温時冷房運転制御機能	室外送風用電動機制御により外気温-15℃~43℃で冷房運転可能 ⁽⁶⁾				
除霜	マイコン差温式デアイスによる逆サイクル方式				
防振・防音装置	圧縮機: 防振ゴム, 吸音断熱材巻付				
配管寸法	冷媒配管(外径)	室内分岐管: φ 9.52(フレア接続), 室外主管: φ 9.52(フレア接続) 室内分岐管: φ 12.7(フレア接続), 室外主管: φ 15.88(フレア接続) 室内分岐管: φ 15.88(フレア接続), 室外主管: φ 15.88(フレア接続)			
	排水	〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ 20mmの排水穴 × 3個			
電気配線	電源配線サイズ	□ 5.5/□ 5.5 × 3本			
	漏電しゃ断器(高調波対応品)	30/30			
	開閉または配線用しゃ断器	30/30			
	アース線サイズ	φ 1.6/φ 1.6			
室内外ユニット接続配線	φ 1.6 × 3本				
設計圧力	MPa 高压部: 4.15, 低压部: 2.21				
法定冷凍能力	トン 1.22(届出不要) 1.32(届出不要) 1.44(届出不要)				
IPコード	室内: IPX0, 室外: IP24				
保護装置	冷房時フロスト防止, 過負荷保護, 吐出温度保護				

- 注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量において JIS B8616:2006 および JRA4048:2006 条件により運転した値です。[~] は最小最大範囲幅を示します。
 (2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定(P急・急・強)としてください。
 (3) 能力および運転特性は室内ユニット2台と組合せて運転した場合の値です。室内ユニットの仕様は1台分を示します。
 (4) ツイン機の分岐配管は必ず分岐管セット DIS-WA1G(別売品)を使用して接続してください。
 (5) 外気温が-5℃以下で冷房運転を行う場合, フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売品)を取付けてください。
 (6) BEST 計算用 室内送風機消費電力: 0.09kW × 2台(112形: 0.06kW × 2台)

冷暖房兼用機(ヒータレス形)トリプル形(室内ユニット:3台, 室外ユニット:1台)〔FDTSXP-HT〕

セット形式		形式		FDTSP1603HTG4	
項目	標準仕様(直吹き)・オートスイング付 (別売品) 下がり天井仕様・オートスイングなし	室内: FDTSPVXP504 室外: FDCXP1603HG	TS-PSA-3AW TS-PNA-3AW		
リモートコントローラ		RC-DX1G, RC-D4G			
電源		3相 200V 50/60Hz			
(1)能力	冷房能力	定格	14.0[5.0 ~ 16.0]		
		中間	6.3		
	暖房能力	定格標準	16.0[4.0 ~ 18.0]		
		中間	7.2		
定格冷房時の顕熱比		12.2			
(1)運転	運転電流	冷房	0.70		
		暖房	18.5		
	始動電流(最大電流)	冷房	14.6		
		暖房	5(23)		
消費電力	冷房	定格	5.90		
		中間	1.40		
	暖房	定格標準	4.70		
		中間	1.52		
		定格低温	4.85		
特性	力率	%	冷: 92, 暖: 93		
	エネルギー消費効率	冷房	定格: 2.37, 中間: 4.50		
	暖房	定格: 3.40, 中間: 4.74			
通年エネルギー消費効率			4.3		
運転音	室内ユニット	dB(A)	P急: 44, 急: 41, 強: 38, 弱: 35		
	室外ユニット		51		
室内ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	mm	本体: 220 × 1150 × 565, パネル: 35 × 1460 × 650		
	製品質量	kg	本体: 27, 標準パネル: 6, 下がり天井パネル: 6		
	空気熱交換器		アルミフィン&銅チューブ式		
	送風形式・台数		両吸込多翼遠心式(モータ直結) × 4		
	風量	m³/min	P急: 14.5, 急: 12.5, 強: 11, 弱: 9.5		
	機外静圧(標準風量時)	Pa	0		
	電動機定格出力	W	50		
	エアフィルタ		プラスチックネット(洗浄可能)		
	吹出ダクト接続口		不可能		
	新鮮空気取入口		背面を利用して可能		
	運転調整		操作(運転切換, 風量調整, タイマ, 換気)		
	遠方発停用機能		室温調節(電子サーモスタット)表示(運転・点検用・LED, 液晶表示)		
加温補助電気ヒータ		遠方発停入力用コネクタ(CNT)を保有(6P・室内基板上)			
加湿器		—(組込不可能)			
加湿器		—(組込不可能)			
防振装置・防音・断熱材		送風用電動機: 防振ゴム, 外板: 吸音断熱材貼付			
室外ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	mm	845 × 970 × 370		
	製品質量	kg	78		
	圧縮機形式・台数		RMT5126MDE2 × 1		
	空気熱交換器		アルミフィン&銅チューブ式		
	冷媒制御器		電子膨張弁		
	冷媒封入量	kg	3.8(R410A)[配管30m分封入済]		
	冷凍機油封入量	ℓ	0.9(M-MA68)		
	送風形式・台数		軸流式(モータ直結) × 1		
	風量	m³/min	冷: 75, 暖: 73		
	電動機定格出力	W	86		
	クランクケースヒータ	W	20		
	低外気温度時冷房運転制御機能		室外送風用電動機制御により外気温度 - 15℃ ~ 43℃で冷房運転可能 ⁽⁵⁾		
除霜		マイコン差温式デアイスによる逆サイクル方式			
防振・防音装置		圧縮機: 防振ゴム, 吸音断熱材巻付			
配管寸法	冷媒配管(外径)	液管 ガス管	室内分岐管: φ 9.52(フレア接続), 室外主管: φ 9.52(フレア接続)		
	排水		室内分岐管: φ 12.7(フレア接続), 室外主管: φ 15.88(フレア接続)		
電気配線	電源配線サイズ	mm²	[室内] VP25の排水管の接続可能 [室外] 内径φ 20mmの排水穴 × 3個		
	漏電しゃ断器(高調波対応品)	A	□ 5.5/□ 5.5 × 3本		
設計	開閉器または配線用しゃ断器		30/30		
	アース線サイズ	φ mm	30/30		
法定	室内外ユニット接続配線	φ mm	φ 1.6/ φ 1.6		
	圧力	MPa	φ 1.6 × 3本		
IPコード	高圧部		高圧部: 4.15, 低圧部: 2.21		
	冷房時	トン	1.44(届出不要)		
保護装置	室内		室内: IPX0, 室外: IP24		
	冷房時		冷房時 Frost 防止, 過負荷保護, 吐出温度保護		

- 注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量において JIS B8616:2006 および JRA4048:2006 条件により運転した値です。[~] は最小最大範囲幅を示します。
 (2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定(P急・急・強)としてください。
 (3) 能力および運転特性は室内ユニット3台と組合せて運転した場合の値です。室内ユニットの仕様は1台分を示します。
 (4) トリプル機用分岐管は下記を使用してください。
 ①各室内ユニットまでの配管長差が3m未満: DIS-TA1G
 ②各室内ユニットまでの配管長差が3m以上: DIS-WA1Gを2セット
 (5) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合, フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売品)を取付けてください。
 (6) BEST計算用 室内送風機消費電力: 0.06kW × 3台

冷暖房兼用機(ヒータレス形)トリプル形(室内ユニット:3台, 室外ユニット:1台)〔FDTSP-HT〕

セット形式		FDTSP2243HTG4	
形式		室内: FDTSPXP804 室外: FDCXP2243HG	
項目	標準仕様(直吹き)・オートスイング付 (別売品) 下がり天井仕様・オートスイングなし	TS-PSA-3AW TS-PNA-3AW	
リモートコントローラ		RC-DX1G, RC-D4G	
電 源	冷房能力	定格標準	3相 200V 50/60Hz
	暖房能力	中間	20.0[7.0 ~ 22.4]
		低温	9.0
		低温	22.4[7.6 ~ 25.0]
定格冷房時の顕熱比	中間	10.1	
(1)運 転 特 性	運転電流	冷房	18.8/19.0
	始動電流(最大電流)	暖房	0.68
		冷房	23.4
		暖房	21.1
消費電力	冷房	定格標準	5(26)
	暖房	中間	7.70
		低温	2.22
		低温	6.80
力率	中間	2.20	
工 率	冷房	低温	7.79
	暖房	冷房	冷: 95, 暖: 93
	暖房	暖房	定格: 2.60, 中間: 4.05
	暖房	暖房	定格: 3.29, 中間: 4.59
運 音	室内ユニット	年間消費電力量	4.1
	室外ユニット	年間消費電力量	P急: 50, 急: 46, 強: 41, 弱: 36
室 内 ユ ニ ツ ト	外形寸法(高さ×幅×奥行)	dB(A)	57
	製品質量	mm	本体: 220 × 1150 × 565, パネル: 35 × 1460 × 650
	空気熱交換器	kg	本体: 28, 標準パネル: 6, 下がり天井パネル: 6
	送風機形式・台数	アルミフィン&銅チューブ式	
	機外静圧(標準風量時)	m ³ /min	両吸込多翼遠心式(モータ直結) × 4
	電動機定格出力	Pa	P急: 18, 急: 15, 強: 12, 弱: 10
	エアフィルタ	W	0
	吹出ダクト接続口		70
	新鮮空気取入口		プラスチックネット(洗浄可能)
	運転調整		不可能
	遠方発停機機能		背面を利用して可能 操作(運転切換, 風量調整, タイマ, 換気) 室温調節(電子サーモスタット)表示(運転・点検用: LED, 液晶表示) 遠方発停入力用コネクタ(CNT)を保有(6P・室内基板上)
	加湿器		—(組込不可能)
加湿器		—(組込不可能)	
防振装置・防音・断熱材		送風用電動機: 防振ゴム, 外板: 吸音断熱材貼付	
室 外 ユ ニ ツ ト	外形寸法(高さ×幅×奥行)	mm	1300 × 970 × 370
	製品質量	kg	122
	圧縮機形式・台数		GTC5150MF40K × 1
	空気熱交換器		アルミフィン&銅チューブ式
	冷媒制御器		電子膨張弁
	冷媒封入量	kg	5.4(R410A)[配管30m分封入済]
	冷凍機油封入量	ℓ	1.45(M-MA32R)
	送風機形式・台数		軸流式(モータ直結) × 2
	電動機定格出力	m ³ /min	冷: 150, 暖: 145
	クランクケースヒータ	W	86 × 2
配 管 寸 法	低外気温時冷房運転制御機能	W	33
	霜除		室外送風用電動機制御により外気温-15℃~43℃で冷房運転可能 ⁽⁶⁾
	防振・防音装置		マイコン差温式デアイスによる逆サイクル方式 圧縮機: 防振ゴム, 吸音断熱材巻付
	冷媒配管(外径)	液管 ⁽⁶⁾ ガス管	mm
電 気 配 線	排水	mm ²	□ 8/□ 8 × 3本
	電源配線サイズ	A	60/60
	漏電しゃ断器(高調波対応品)	mm ²	50/50
	開閉器または配線用しゃ断器	mm ²	□ 5.5/□ 5.5
アース線サイズ	φmm又はmm ²		φ 1.6 × 3本 (~70m), □ 3.5 × 3本 (~120m)
設 計 法 定	室内外ユニット接続配線	MPa	高圧部: 4.15, 低圧部: 2.21
	設計圧力	トン	2.33(届出不要)
	法定冷凍能力		室内: IPX0, 室外: IP24
IPコード			冷房時フロスト防止, 過負荷保護, 吐出温度保護
保護装置			

- 注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量において JIS B8616:2006 および JRA4048:2006 条件により運転した値です。[~] は最小最大範囲幅を示します。
 (2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定(P急・急・強)としてください。
 (3) 能力および運転特性は室内ユニット3台と組合せて運転した場合の値です。室内ユニットの仕様は1台分を示します。
 (4) トリプル機用分岐管は下記を使用してください。
 ①各室内ユニットまでの配管長差が3m未満: DIS-TB1G
 ②各室内ユニットまでの配管長差が3m以上: DIS-WA1Gを1セット, DIS-WB1Gを1セット
 (5) 主管長が40mを超える場合は, 液管サイズを必ずφ 12.7としてください。
 (6) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合, フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売品)を取付けてください。
 (7) BEST計算用 室内送風機消費電力: 0.09kW × 3台

(b) ハイパーインバータシリーズ
 冷暖房兼用機(ヒータレス単相電源形)〔FDTSPV-HK〕

PJC001Z337 PJC001Z338

セット形式		FDTSPV404HK4	FDTSPV454HK4
項目	形式	室内：FDTSPVXP404 室外：FDCVP404HK	室内：FDTSPVXP454 室外：FDCVP454HK
パネル形式 (別売品)	標準仕様(直吹き)・オートスイング付 下がり天井仕様・オートスイングなし	TS-PSA-3AW TS-PNA-3AW	
リモートコントローラ		RC-DX1G, RC-D4G	
電源		単相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	3.6[1.7~4.0]	4.0[1.8~4.5]
	暖房能力	4.0[1.8~4.5]	4.5[2.1~5.0]
	定格冷房時の顕熱比	0.78	0.75
	運転電流	5.1	5.8
(1)運転特性	始動電流(最大電流)	5(16)	
	消費電力	0.900	1.05
	力率	冷: 88, 暖: 88	冷: 91, 暖: 93
	エネルギー消費効率	定格: 4.00, 中間: 5.31	定格: 3.81, 中間: 5.37
運転音	室内ユニット	P急: 42, 急: 40, 強: 38, 弱: 35	
	室外ユニット	46	
室内ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	本体: 220×1150×565, パネル: 35×1460×650	
	製品質量	本体: 27, 標準パネル: 6, 下がり天井パネル: 6	
	送風装置	アルミフィン&銅チューブ式 両吸込多翼遠心式(モータ直結)×4	
	機外静圧(標準風量時)	P急: 13, 急: 12, 強: 11, 弱: 9.5	
	電動機定格出力	0	
	エアコンフィルター	35	
	吹出ダクト接続口	ブラスタックネット(洗浄可能)	
	新鮮空気取入口	不可能	
	運転調整	背面を利用して可能 操作(運転切換, 風量調整, タイマ, 換気) 室温調節(電子サーモスタット) 表示(運転・点検用・LED, 液晶表示)	
	遠方発停用機能	遠方発停入力用コネクタ(CNT)を保有(6P: 室内基板上)	
加湿器	補助電気ヒータ	-(組込不可能)	
	加湿器	-(組込不可能)	
防振装置・防音・断熱材	送風用電動機: 防振ゴム, 外板: 吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	640×800(+71)×290	
	製品質量	47	
	冷却装置	RMT5113MCE2×1 アルミフィン&銅チューブ式 電子膨張弁	
	冷媒封入量	1.8(R410A)[配管30m分封入済]	
	冷凍機油封入量	0.45(M-MA68)	
	送風装置	軸流式(モータ直結)×1	
	電動機定格出力	33	
	クランクケースヒータ	34	
	低外気温時冷房運転制御機能	20	
	除霜	室外送風用電動機制御により外気温-15℃~43℃で冷房運転可能 ^{*)} マイコン差温式デアイスによる逆サイクル方式	
配管寸法	冷媒配管(外径)	圧縮機: 防振ゴム, 吸音断熱材巻付 φ6.35(フレア接続) φ12.7(フレア接続)	
	排水口	〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ	φ2.0/φ2.0×2本	
	漏電しゃ断器(高調波対応品)	30/30	
	開閉器または配線用しゃ断器	20/20	
	アース線サイズ	φ1.6/φ1.6	
室内外ユニット接続配線		φ1.6×3本	
設計法定冷凍能力	圧力	高圧部: 4.15, 低圧部: 2.21	
IPコード		0.35(届出不要) 0.40(届出不要)	
保護装置		室内: IPX0, 室外: IPX4 冷房時 Frost 防止, 過負荷保護, 吐出温度保護	

注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量において JIS B8616:2006 および JRA4048:2006 条件により運転した値です。[~] は最小最大範囲幅を示します。
 (2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定(P急・急・強)としてください。
 (3) 外気温が-5℃以下で冷房運転を行う場合、フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売品)を取付けてください。
 (4) BEST 計算用 室内送風機消費電力: 0.04kW

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTSPV-HK〕

セット形式		FDTSPV504HK4	FDTSPV564HK4		
項目	形式	室内：FDTSPV504 室外：FDCVP504HK	室内：FDTSPV564 室外：FDCVP564HK		
パネル形式 (別売品)	標準仕様(直吹き)・オートスイング付 下がり天井仕様・オートスイングなし	TS-PSA-3AW TS-PNA-3AW			
リモートコントローラ		RC-DX1G, RC-D4G			
電源		単相 200V 50/60Hz			
(1)能力	冷房能力	定格	4.5[2.1~5.0]	5.0[2.3~5.6]	
		中間	2.1	2.3	
	暖房能力	定格標準	5.0[2.3~5.6]	5.6[2.6~6.3]	
		中間	2.3	2.6	
定格低温	5.6	5.6			
定格冷房時の顕熱比		0.79	0.71		
(1)運転	運転電流	冷房	6.9	7.2	
		暖房	6.9	8.5	
特性	消費電力	始動電流(最大電流)		5(16)	
		冷房	定格	1.28	1.35
			中間	0.395	0.425
		暖房	定格標準	1.29	1.60
中間	0.425		0.465		
定格低温	2.30	2.35			
力率		冷：93, 暖：93	冷：94, 暖：94		
エネルギー消費効率	冷房	定格：3.52, 中間：5.32	定格：3.70, 中間：5.41		
	暖房	定格：3.88, 中間：5.41	定格：3.50, 中間：5.59		
通年エネルギー消費効率		5.1	5.0		
運転音	室内ユニット	P急：44, 急：41, 強：38, 弱：35	P急：45, 急：42, 強：39, 弱：35		
	室外ユニット	冷：48, 暖：49	冷：49, 暖：50		
室内ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	mm		本体：220×1150×565, パネル：35×1460×650	
	製品質量	kg		本体：27, 標準パネル：6, 下がり天井パネル：6 本体：28, 標準パネル：6, 下がり天井パネル：6	
	空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
	送風機形式・台数			両吸込多翼遠心式(モータ直結)×4	
	機外静圧(標準風量時)	m³/min		P急：14.5, 急：12.5, 強：11, 弱：9.5	
	電動機定格出力	Pa		0	
	エアコンフィルタ	W		50	
	吹出ダクト接続口			プラスチックネット(洗浄可能)	
	新鮮空気取入口			不可能	
	運転調整			背面を利用して可能 操作(運転切換, 風量調整, タイマ, 換気)	
	遠方発停用機能			室温調節(電子サーモスタット) 表示(運転・点検用・LED, 液晶表示) 遠方発停入力用コネクタ(CNT)を保有(6P・室内基板上)	
	加湿器			—(組込不可能)	
加湿器			—(組込不可能)		
防振装置・防音・断熱材			送風用電動機：防振ゴム, 外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	mm		640×800(+71)×290	
	製品質量	kg		47	
	圧縮機形式・台数			RMT5113MCE2×1	
	空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
	冷媒制御器			電子膨張弁	
	冷媒封入量	kg		1.8(R410A)[配管30m分封入済]	
	冷凍機油封入量	ℓ		0.45(M-MA68)	
	送風機形式・台数			軸流式(モータ直結)×1	
	電動機定格出力	m³/min		冷：38, 暖：33	
	クランクケースヒータ	W		34	
	低外気温時冷房運転制御機能			20	
	除霜			室外送風用電動機制御により外気温-15℃~43℃で冷房運転可能 ⁽⁴⁾	
防振・防音装置			マイコン差温式デアイスによる逆サイクル方式 圧縮機：防振ゴム, 吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管(外径)	液管	mm	φ6.35(フレア接続)	
	ガス管			φ12.7(フレア接続)	
電気配線	排水口			〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
	電源配線サイズ	φmm		φ2.0/φ2.0×2本	
	漏電しゃ断器(高調波対応品)	A		30/30	
	開閉器または配線用しゃ断器			20/20	
アース線サイズ	φmm		φ1.6/φ1.6		
室内外ユニット接続配線	φmm		φ1.6×3本		
設計圧力	MPa		高圧部：4.15, 低圧部：2.21		
法定冷凍能力	トン		0.44(届出不要) 0.50(届出不要)		
IPコード			室内：IPX0, 室外：IPX4		
保護装置			冷房時 Frost 防止, 過負荷保護, 吐出温度保護		

注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量において JIS B8616:2006 および JRA4048:2006 条件により運転した値です。[~] は最小最大範囲幅を示します。
 (2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定(P急・急・強)としてください。
 (3) 外気温が-5℃以下で冷房運転を行う場合、フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売品)を取付けてください。
 (4) BEST 計算用 室内送風機消費電力：0.06kW

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTSPV-HK〕

セット形式		FDTSPV634HK4	FDTSPV804HK4	
項目	形式	室内：FDTSVXP634 室外：FDCVP634HK	室内：FDTSVXP804 室外：FDCVP804HK	
パネル形式 (別売品)	標準仕様(直吹き)・オートスイング付 下がり天井仕様・オートスイングなし	TS-PSA-3AW TS-PNA-3AW		
リモートコントローラ		RC-DX1G, RC-D4G		
電源		単相 200V 50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格	5.6[2.6~6.3]	7.1[3.2~8.0]
		中間	2.6	3.2
	暖房能力	定格標準	6.3[2.9~8.0]	8.0[3.6~10.0]
		中間	2.9	3.6
定格低温	6.0	7.8		
定格冷房時の顕熱比		0.72	0.70	
(1)運転	運転電流	冷房	8.8	13.6
		暖房	9.9	12.3
	始動電流(最大電流)		5(16)	5(19)
		冷房	1.67	2.60
消費電力	冷房	定格標準	0.490	0.635
		中間	1.89	2.35
	暖房	定格低温	0.530	0.673
力率		2.23	3.03	
性能	エネルギー消費効率	冷房	冷：95, 暖：95	
	通年エネルギー消費効率	冷房	冷：96, 暖：96	
		暖房	冷：96, 暖：96	
	年間エネルギー消費効率		定格：3.35, 中間：5.31	定格：2.73, 中間：5.04
運転音	室内ユニット		定格：3.33, 中間：5.47	定格：3.40, 中間：5.35
	室外ユニット	P急：48, 急：42, 強：39, 弱：35	4.9	4.8
室内ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	mm	本体：220×1150×565, パネル：35×1460×650	
	製品質量	kg	本体：28, 標準パネル：6, 下がり天井パネル：6	
	空気熱交換器		アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置		両吸込多翼遠心式(モータ直結)×4	
	機外静圧(標準風量時)	m³/min	P急：16, 急：12.5, 強：11, 弱：9.5	P急：18, 急：15, 強：12, 弱：10
	電動機定格出力	Pa	0	
	工アフィルタ	W	70	
	吹出ダクト接続口		プラスチックネット(洗浄可能)	
	新鮮空気取入口		不可能	
	運転調整		背面を利用して可能	
	遠方発停用機能		操作(運転切換, 風量調整, タイマ, 換気)	
	加湿器		室温調節(電子サーモスタット) 表示(運転・点検用・LED, 液晶表示)	
補助電気ヒータ		遠方発停入力用コネクタ(CNT)を保有(6P:室内基板上)		
加湿器		-(組込不可能)		
加湿器		-(組込不可能)		
防振装置・防音・断熱材		送風用電動機：防振ゴム, 外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	mm	640×800(+71)×290	750×880(+88)×340
	製品質量	kg	47	64
	圧縮機形式・台数		RMT5113MCE2×1	RMT5118MCE1×1
	空気熱交換器		アルミフィン&銅チューブ式	
	冷媒制御器		電子膨張弁	
	冷媒封入量	kg	1.8(R410A)[配管30m分封入済]	3.3(R410A)[配管30m分封入済]
	冷凍機油封入量	ℓ	0.45(M-MA68)	0.675(M-MA68)
	送風装置		軸流式(モータ直結)×1	
	電動機定格出力	m³/min	冷：38, 暖：41	冷：60, 暖：50
	クランクケースヒータ	W	34	86
低外気温時冷房運転制御機能		20		
霜除		室外送風用電動機制御により外気温-15℃~43℃で冷房運転可能 ⁽³⁾		
防振・防音装置		マイコン差温式デアイスによる逆サイクル方式		
配管寸法	冷媒配管(外径)	mm	φ6.35(フレア接続)	φ9.52(フレア接続)
	排水口		φ12.7(フレア接続)	φ15.88(フレア接続)
	電源配線サイズ	φmm又はmm²	[室内] VP25の排水管の接続可能 [室外] 内径φ20mmの排水穴×5個(80形3個)	
	漏電しゃ断器(高調波対応品)		φ2.0/φ2.0×2本	□5.5/□5.5×2本
電気配線	開閉器または配線用しゃ断器	A	30/30	30/30
	アース線サイズ	φmm	20/20	30/30
	室内外ユニット接続配線	φmm	φ1.6/φ1.6 φ1.6×3本	
設計圧力	MPa	高圧部：4.15, 低圧部：2.21		
法定冷凍能力	トン	0.55(届出不要)		
IPコード		0.73(届出不要)		
保護装置		室内：IPX0, 室外：IPX4		
		室内：IPX0, 室外：IP24		
		冷房時フロスト防止, 過負荷保護, 吐出温度保護		

注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量において JIS B8616:2006 および JRA4048:2006 条件により運転した値です。[~] は最小最大範囲幅を示します。
 (2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定(P急・急・強)としてください。
 (3) 外気温が-5℃以下で冷房運転を行う場合、フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売品)を取付けてください。
 (4) BEST 計算用 室内送風機消費電力：0.08kW(80形：0.09kW)

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDTSPV-H〕

セット形式		FDTSPV404H4	FDTSPV454H4	
項目	形式	室内：FDTSVXP404 室外：FDCVP404H	室内：FDTSVXP454 室外：FDCVP454H	
パネル形式 (別売品)	標準仕様(直吹き)・オートスイング付 下がり天井仕様・オートスイングなし	TS-PSA-3AW TS-PNA-3AW		
リモートコントローラ		RC-DX1G, RC-D4G 3相 200V 50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格	3.6[1.7~4.0]	4.0[1.8~4.5]
		中間	1.7	1.8
	暖房能力	定格標準	4.0[1.8~4.5]	4.5[2.1~5.0]
		中間	1.8	2.1
定格冷房時の顕熱比		0.78	0.75	
(1)運転	運転電流	冷房	3.4	3.8
		暖房	3.5	4.2
	消費電力	5(12)		
		冷房	定格	0.900
中間			0.320	0.335
暖房	定格標準	0.950	1.17	
特性	力率	中間	0.325	0.390
		定格低温	1.61	1.62
	率	冷：76, 暖：78		冷：80, 暖：80
	エネルギー消費効率	冷房	定格：4.00, 中間：5.31	
運転音	室内ユニット	dB(A)		P急：42, 急：40, 強：38, 弱：35
	室外ユニット			46
室内ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	mm	本体：220×1150×565, パネル：35×1460×650	
	製品質量	kg	本体：27, 標準パネル：6, 下がり天井パネル：6	
	空気熱交換器		アルミフィン&銅チューブ式	
	送風機形式・台数		両吸込多翼遠心式(モータ直結)×4	
	機外静圧(標準風量時)	Pa	P急：13, 急：12, 強：11, 弱：9.5	
	電動機定格出力	W	0	
	エアフィルタ		35	
	吹出ダクト接続口		プラスチックネット(洗浄可能)	
	新鮮空気取入口		不可能	
	運転調整		背面を利用して可能 操作(運転切換, 風量調整, タイマ, 換気) 室温調節(電子サーモスタット) 表示(運転・点検用・LED, 液晶表示) 遠方発停入力用コネクタ(CNT)を保有(6P・室内基板上)	
加熱器	補助電気ヒータ		-(組込不可能)	
	加湿器		-(組込不可能)	
防振装置・防音・断熱材		送風用電動機：防振ゴム, 外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	mm	640×800(+71)×290	
	製品質量	kg	45	
	圧縮機形式・台数		RMT5113MCE2×1	
	空気熱交換器		アルミフィン&銅チューブ式	
	冷媒制御器		電子膨張弁	
	冷媒封入量	kg	1.8(R410A)[配管30m分封入済]	
	冷凍機油封入量	ℓ	0.45(M-MA68)	
	送風機形式・台数		軸流式(モータ直結)×1	
	電動機定格出力	W	33	
	クランクケースヒータ	W	34	
低外気温時冷房運転制御機能		20		
霜除		室外送風用電動機制御により外気温-15℃~43℃で冷房運転可能 ^①		
防振・防音装置		マイコン差温式デアイスによる逆サイクル方式 圧縮機：防振ゴム, 吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管(外径)	液管 ガス管	mm	φ6.35(フレア接続) φ12.7(フレア接続)
	排水口			[室内] VP25の排水管の接続可能 [室外] 内径φ20mmの排水穴×5個
電気配線	電源配線サイズ	φmm	φ1.6/φ1.6×3本	
	漏電しゃ断器(高調波対応品)	A	15/15	
	開閉器または配線用しゃ断器		15/15	
	アース線サイズ	φmm	φ1.6/φ1.6	
室内外ユニット接続配線	φmm	φ1.6×3本		
設計法定冷凍能力	MPa	高圧部：4.15, 低圧部：2.21		
IPコード	トン	0.35(届出不要)		
保護装置		室内：IPX0, 室外：IPX4 冷房時 Frost 防止, 過負荷保護, 吐出温度保護		

注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量において JIS B8616:2006 および JRA4048:2006 条件により運転した値です。[~] は最小最大範囲幅を示します。
 (2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定(P急・急・強)としてください。
 (3) 外気温が-5℃以下で冷房運転を行う場合、フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売品)を取付けてください。
 (4) BEST 計算用 室内送風機消費電力：0.04kW

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDTSPV-H〕

セット形式		FDTSPV504H4	FDTSPV564H4	
項目	形式	室内：FDTSPV504 室外：FDCVP504H	室内：FDTSPV564 室外：FDCVP564H	
パネル形式 (別売品)	標準仕様(直吹き)・オートスイング付 下がり天井仕様・オートスイングなし	TS-PSA-3AW TS-PNA-3AW		
リモートコントローラ		RC-DX1G, RC-D4G		
電源		3相 200V 50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格	4.5[2.1~5.0]	5.0[2.3~5.6]
		中間	2.1	2.3
	暖房能力	定格標準	5.0[2.3~5.6]	5.6[2.6~6.3]
		中間	2.3	2.6
定格冷房時の顕熱比		0.79	0.92	
(1)運転	運転電流	冷房	4.5	4.6
		暖房	4.5	5.4
特性	消費電力	冷房	1.27	1.35
		中間	0.388	0.425
		暖房	1.28	1.60
		定格低温	0.415	0.465
性能	エネルギー消費効率	冷房	冷：81, 暖：82	冷：85, 暖：86
		中間	定格：3.54, 中間：5.41	定格：3.70, 中間：5.41
		暖房	定格：3.91, 中間：5.54	定格：3.50, 中間：5.59
		年間	5.2	5.0
運転音	室内ユニット	P急：44, 急：41, 強：38, 弱：35		
	室外ユニット	冷：48, 暖：49		
室内ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	本体：220×1150×565, パネル：35×1460×650		
	製品質量	本体：27, 標準パネル：6, 下がり天井パネル：6 本体：28, 標準パネル：6, 下がり天井パネル：6		
	送風機形式・台数	アルミフィン&銅チューブ式 両吸込多翼遠心式(モータ直結)×4		
	機外静圧(標準風量時)	P急：14.5, 急：12.5, 強：11, 弱：9.5		
	電動機定格出力	0		
	エアコンフィルタ	50		
	吹出ダクト接続口	プラスチックネット(洗浄可能)		
	新鮮空気取入口	不可能		
	運転調整	背面を利用して可能 操作(運転切換, 風量調整, タイマ, 換気)		
	遠方発停用機能	室温調節(電子サーモスタット) 表示(運転・点検用・LED, 液晶表示) 遠方発停入力用コネクタを保有(6P・室内基板上)		
	加湿器	-(組込不可能)		
	加湿器	-(組込不可能)		
防振装置・防音・断熱材	送風用電動機：防振ゴム, 外板：吸音断熱材貼付			
室外ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	640×800(+71)×290		
	製品質量	45		
	圧縮機形式・台数	RMT5113MCE2×1		
	冷却装置	アルミフィン&銅チューブ式 電子膨張弁		
	冷媒封入量	1.8(R410A)[配管30m分封入済]		
	冷凍機油封入量	0.45(M-MA68)		
	送風機形式・台数	軸流式(モータ直結)×1		
	電動機定格出力	冷：38, 暖：33	38	
	クランクケースヒータ	34		
	低外気温時冷房運転制御機能	20		
配管寸法	冷媒配管(外径)	室外送風用電動機制御により外気温-15℃~43℃で冷房運転可能 ⁽³⁾ マイコン差温式デアイスによる逆サイクル方式		
	液管	φ6.35(フレア接続)		
	ガス管	φ12.7(フレア接続)		
	排水口	〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ	φ1.6/φ1.6×3本		
	漏電しゃ断器(高調波対応品)	15/15		
	開閉器または配線用しゃ断器	15/15		
	アース線サイズ	φ1.6/φ1.6		
設計法定冷凍能力	室内外ユニット接続配線	φ1.6×3本		
	圧力	MPa 高圧部：4.15, 低圧部：2.21		
IPコード	冷房時 Frost 防止	0.44(届出不要)		
	過負荷保護, 吐出温度保護	0.50(届出不要)		
保護装置		室内：IPX0, 室外：IPX4		

注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量において JIS B8616:2006 および JRA4048:2006 条件により運転した値です。[~] は最小最大範囲幅を示します。
 (2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定(P急・急・強)としてください。
 (3) 外気温が-5℃以下で冷房運転を行う場合、フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売品)を取付けてください。
 (4) BEST 計算用 室内送風機消費電力：0.06kW

冷暖房兼用機（ヒータレス形）〔FDTSPV-H〕

セット形式		FDTSPV634H4	FDTSPV804H4	
項目	形式	室内：FDTSVXP634 室外：FDCVP634H	室内：FDTSVXP804 室外：FDCVP804H	
パネル形式 (別売品)	標準仕様(直吹き)・オートスイング付 下がり天井仕様・オートスイングなし	TS-PSA-3AW TS-PNA-3AW		
リモートコントローラ		RC-DX1G, RC-D4G		
電源		3相 200V 50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格	5.6[2.6~6.3]	7.1[3.2~8.0]
		中間	2.6	3.2
	暖房能力	定格標準	6.3[2.9~8.0]	8.0[3.6~10.0]
		中間	2.9	3.6
定格冷房時の顕熱比		0.72	0.70	
(1)運転	運転電流	冷房	5.4	8.3
		暖房	6.1	7.5
	始動電流(最大電流)		5(12)	5(13)
			1.66	2.59
消費電力	冷房	定格	0.490	0.630
		中間	1.88	2.34
	暖房	中間	0.530	0.670
力	率		2.23	3.03
性能	エネルギー消費効率	冷房	冷：89, 暖：89	
	年間エネルギー消費効率	冷房	冷：90, 暖：90	
		暖房	冷：2.74, 中間：5.08	
	通年エネルギー消費効率		冷：3.42, 中間：5.37	
運転音	室内ユニット	P急：48, 急：42, 強：39, 弱：35		
	室外ユニット	P急：50, 急：46, 強：41, 弱：36 冷：51, 暖：48		
室内ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	mm 本体：220×1150×565, パネル：35×1460×650		
	製品質量	kg 本体：28, 標準パネル：6, 下がり天井パネル：6		
	空気熱交換器	アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	両吸込多翼遠心式(モータ直結)×4		
	機外静圧(標準風量時)	Pa P急：16, 急：12.5, 強：11, 弱：9.5 P急：18, 急：15, 強：12, 弱：10		
	電動機定格出力	W 70		
	エアコンユニット	ブラッシュネット(洗浄可能)		
	吹出ダクト接続口	不可能		
	新鮮空気取入口	背面を利用して可能		
	運転調整	操作(運転切換, 風量調整, タイマ, 換気) 室温調節(電子サーモスタット) 表示(運転・点検用・LED, 液晶表示) 遠方発停入力用コネクタ(CNT)を保有(6P・室内基板上)		
加湿器	-(組込不可能)			
加湿器	-(組込不可能)			
防振装置・防音・断熱材	送風用電動機：防振ゴム, 外板：吸音断熱材貼付			
室外ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	mm 640×800(+71)×290	750×880(+88)×340	
	製品質量	kg 45	64	
	圧縮機形式・台数	RMT5113MCE2×1 RMT5118MCE1×1		
	空気熱交換器	アルミフィン&銅チューブ式		
	冷媒制御器	電子膨張弁		
	冷媒封入量	kg 1.8(R410A)[配管30m分封入済]	3.3(R410A)[配管30m分封入済]	
	冷凍機油封入量	ℓ 0.45(M-MA68)	0.675(M-MA68)	
	送風装置	軸流式(モータ直結)×1		
室内ユニット	風量	m³/min 冷：38, 暖：41	冷：60, 暖：50	
	電動機定格出力	W 34 86		
	クランクケースヒータ	W 20		
	低外気温時冷房運転制御機能	室外送風用電動機制御により外気温-15℃~43℃で冷房運転可能 ⁽³⁾		
霜除	マイコン差温式デアイスによる逆サイクル方式			
防振・防音装置	圧縮機：防振ゴム, 吸音断熱材巻付			
配管寸法	冷媒配管(外径)	mm φ6.35(フレア接続) φ9.52(フレア接続)		
	ガス管	φ12.7(フレア接続) φ15.88(フレア接続)		
排水口	〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個(80形：3個)			
電気配線	電源配線サイズ	φ1.6/φ1.6×3本 φ2.0/φ2.0×3本		
	漏電しゃ断器(高調波対応品)	A 15/15 30/30		
	開閉器または配線用しゃ断器	15/15 20/20		
	アース線サイズ	φmm φ1.6/φ1.6		
室内外ユニット接続配線	φmm φ1.6×3本			
設計法定冷凍能力	MPa	高圧部：4.15, 低圧部：2.21		
IPコード	トン	0.55(届出不要) 0.73(届出不要)		
保護装置		室内：IPX0, 室外：IPX4 室内：IPX0, 室外：IP24		
		冷房時フロスト防止, 過負荷保護, 吐出温度保護		

注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量において JIS B8616:2006 および JRA4048:2006 条件により運転した値です。[~] は最小最大範囲幅を示します。
 (2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定(P急・急・強)としてください。
 (3) 外気温が-5℃以下で冷房運転を行う場合、フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売品)を取付けてください。
 (4) BEST 計算用 室内送風機消費電力：0.08kW(80形：0.09kW)

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）（FDTSVP-HKP）

セット形式		形式		FDTSVP804HKP4	
項目				室内：FDTSVXP404	室外：FDCVP804HK
パネル形式 (別売品)	標準仕様(直吹き)・オートスイング付			TS-PSA-3AW	
	下がり天井仕様・オートスイングなし			TS-PNA-3AW	
リモートコントローラ				RC-DX1G, RC-D4G	
電				単相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格	中間	7.1[3.2~8.0]	
		定格標準	中間	3.2	
	暖房能力	定格標準	中間	8.0[3.6~10.0]	
		定格低温	中間	3.6	
定格冷房時の顕熱比				0.77	
(1)運	運転電流	冷房	暖房	11.2	
		始動電流(最大電流)		11.5	
特	消費電力	冷房	定格	2.16	
			中間	0.600	
		暖房	定格標準	2.12	
			中間	0.700	
定格低温				3.23	
性	力		率	%	
	エネルギー消費効率		冷房	冷：96，暖：92	
	冷房		中間	定格：3.29，中間：5.33	
	暖房		中間	定格：3.77，中間：5.14	
通年エネルギー消費効率				4.9	
運	室内ユニット			dB(A)	
	室外ユニット			P急：42，急：40，強：38，弱：35	
				冷：51，暖：48	
室内ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)		mm	本体：220×1150×565，パネル：35×1460×650	
	製品質量		kg	本体：27，標準パネル：6，下がり天井パネル：6	
	空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
	送風形式・台数			両吸込多翼遠心式(モータ直結)×4	
	機外静圧(標準風量時)		m³/min	Pa	
	電動機定格出力		W	P急：13，急：12，強：11，弱：9.5	
	工アフィルタ			0	
	吹出ダクト接続口			35	
	新鮮空気取入口			プラスチックネット(洗浄可能)	
	運転調整			不可能	
室外ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)		mm	750×880(+88)×340	
	製品質量		kg	64	
	圧縮機形式・台数			RMT5118MCE1×1	
	空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
	冷媒制御器			電子膨張弁	
	冷媒封入量		kg	3.3(R410A)[配管30m分封入済]	
	冷凍機油封入量		ℓ	0.675(M-MA68)	
	送風形式・台数			軸流式(モータ直結)×1	
	電動機定格出力		m³/min	冷：60，暖：50	
	クランクケースヒータ		W	86	
低外気温時冷房運転制御機能			20		
霜除			室外送風用電動機制御により外気温-15℃~43℃で冷房運転可能 ⁽⁵⁾		
防振・防音装置			マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
配管寸法	冷媒配管(外径)	液管	mm	室内分岐管：φ9.52(フレア接続)，室外主管：φ9.52(フレア接続)	
	排水口	ガス管	mm	室内分岐管：φ12.7(フレア接続)，室外主管：φ15.88(フレア接続)	
電気配線	電源配線サイズ		mm²	□5.5/□5.5×2本	
	漏電しゃ断器(高調波対応品)		A	30/30	
	開閉器または配線用しゃ断器		A	30/30	
	アース線サイズ		φmm	φ1.6/φ1.6	
室内外ユニット接続配線		φmm	φ1.6×3本		
設計	圧力	MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.21		
法定	冷凍能力	トン	0.73(届出不要)		
IP	コード		室内：IPX0，室外：IP24		
保護	装置		冷房時フロスト防止，過負荷保護，吐出温度保護		

注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量において JIS B8616：2006 および JRA4048：2006 条件により運転した値です。[~] は最小最大範囲幅を示します。
 (2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定(P急・急・強)としてください。
 (3) 能力および運転特性は室内ユニット2台と組合せて運転した場合の値です。室内ユニットの仕様は1台分を示します。
 (4) ツイン機の分岐配管は必ず分岐管セットDIS-WA1G(別売品)を使用して接続してください。
 (5) 外気温が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフロアダプタおよび防雪フード(別売品)を取付けてください。
 (6) BEST 計算用 室内送風機消費電力：0.04kW×2台

冷暖房兼用機(ヒータレス形)ツイン形(室内ユニット:2台, 室外ユニット:1台) [FDTSPV-HP]

セット形式		形式		FDTSPV804HP4	
項目				室内: FDTSPVXP404	室外: FDCVP804H
パネル形式 (別売品)	標準仕様(直吹き)・オートスイング付			TS-PSA-3AW	
	下がり天井仕様・オートスイングなし			TS-PNA-3AW	
リモートコントローラ				RC-DX1G, RC-D4G	
電源				3相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格	中間	7.1[3.2~8.0]	
		標準	低温	3.2	
	暖房能力	定格	中間	8.0[3.6~10.0]	
		標準	低温	3.6	
定格冷房時の顕熱比				0.77	
(1)運転	運転電流	冷房	暖房	6.5	
		始動電流(最大電流)		6.7	
特性	消費電力	冷房	定格	5(13)	
			中間	2.16	
	暖房	定格標準	0.600		
		中間	2.12		
力率				0.700	
エネルギー消費効率				3.63	
年間エネルギー消費効率				%	
室内ユニット				冷: 96, 暖: 91	
室外ユニット				定格: 3.29, 中間: 5.33	
運轉音				定格: 3.77, 中間: 5.14	
外形寸法(高さ×幅×奥行)		mm		4.9	
室内ユニット	製品質量			dB(A)	
	空気熱交換器			P急: 42, 急: 40, 強: 38, 弱: 35	
	送風機形式・台数			冷: 51, 暖: 48	
	機外静圧(標準風量時)	mm		本体: 220×1150×565, パネル: 35×1460×650	
	電動機定格出力	kg		本体: 27, 標準パネル: 6, 下がり天井パネル: 6	
	エアフィルタ	m³/min		アルミフィン&銅チューブ式	
	吹出ダクト接続口	Pa		両吸込多翼遠心式(モータ直結)×4	
	新鮮空気取入口	W		P急: 13, 急: 12, 強: 11, 弱: 9.5	
	運転調整			0	
	遠方発停機機能			35	
加湿器			プラスチックネット(洗浄可能)		
補助電気ヒータ			不可能		
加湿器			背面を利用して可能		
防振装置・防音・断熱材			操作(運轉切換, 風量調整, タイマ, 換気)		
室外ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	mm		室温調節(電子サーモスタット) 表示(運轉・点検用: LED, 液晶表示)	
	製品質量	kg		遠方発停入力用コネクタ(CNT)を保有(6P: 室内基板上)	
	圧縮機形式・台数			-(組込不可能)	
	空気熱交換器			-(組込不可能)	
	冷媒封入量	kg		送風用電動機: 防振ゴム, 外板: 吸音断熱材貼付	
	冷凍機油封入量	ℓ		750×880(+88)×340	
	送風機形式・台数			64	
	電動機定格出力	W		RMT5118MCE1×1	
	クランクケースヒータ			アルミフィン&銅チューブ式	
	低外気温時冷房運轉制御機能			電子膨張弁	
除霜			3.3(R410A)[配管30m分封入済]		
防振・防音装置			0.675(M-MA68)		
配管寸法	冷媒配管(外径)	mm		軸流式(モータ直結)×1	
	排水口			冷: 60, 暖: 50	
電気配線	電源配線サイズ	φmm		86	
	漏電しゃ断器(高調波対応品)	A		20	
	開閉器または配線用しゃ断器			20	
	アース線サイズ	φmm		φ1.6/φ1.6	
室内外ユニット接続配線			φ1.6×3本		
設計法定冷凍能力	MPa		高圧部: 4.15, 低圧部: 2.21		
IPコード			0.73(届出不要)		
保護装置			室内: IPX0, 室外: IP24		
				冷房時フロスト防止, 過負荷保護, 吐出温度保護	

- 注(1) 能力・運轉特性は適正冷媒量において JIS B8616:2006 および JRA4048:2006 条件により運轉した値です。[~] は最小最大範囲幅を示します。
 (2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定(P急・急・強)としてください。
 (3) 能力および運轉特性は室内ユニット2台と組合せて運轉した場合の値です。室内ユニットの仕様は1台分を示します。
 (4) ツイン機のみ分岐配管は必ず分岐管セットDIS-WA1G(別売品)を使用して接続してください。
 (5) 外気温度が-5℃以下で冷房運轉を行う場合、フレックスフロアダプタおよび防雪フード(別売品)を取付けてください。
 (6) BEST 計算用 室内送風機消費電力: 0.04kW×2台

冷暖房兼用機(ヒータレス形)ツイン形(室内ユニット:2台, 室外ユニット:1台) [FDTSPV-HP]

セット形式		形式		FDTSPV1124HP4		
項目				室内: FDTSPVXP564	室外: FDCV1124H	
パネル形式 (別売品)	標準仕様(直吹き)・オートスイング付	TS-PSA-3AW				
	下がり天井仕様・オートスイングなし	TS-PNA-3AW				
リモートコントローラ		RC-DX1G, RC-D4G				
電源		3相 200V 50/60Hz				
(1)能力	冷房能力	定格	10.0[3.0~11.2]			
		中間	4.5			
	暖房能力	定格標準	11.2[3.5~14.3]			
		中間	5.1			
定格冷房時の顕熱比		0.69				
(1)運転	運転電流	冷房	8.7			
		暖房	8.8			
	始動電流(最大電流)		5(23)			
特性	消費電力	冷房	定格	2.84		
			中間	0.850		
		暖房	定格標準	2.80		
			中間	0.950		
	定格低温		4.18			
	力率		冷: 94, 暖: 92			
エネルギー消費効率	冷房		定格: 3.52, 中間: 5.29			
	暖房		定格: 4.00, 中間: 5.37			
通年エネルギー消費効率			5.1			
運転音	室内ユニット		dB(A) P急: 45, 急: 42, 強: 39, 弱: 35			
	室外ユニット		冷: 48, 暖: 49			
室内ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	mm	本体: 220×1150×565, パネル: 35×1460×650			
	製品質量	kg	本体: 28, 標準パネル: 6, 下がり天井パネル: 6			
	空気熱交換器		アルミフィン&銅チューブ式			
	送風形式・台数		両吸込多翼遠心式(モータ直結)×4			
	機外静圧(標準風量時)	m³/min	P急: 14.5, 急: 12.5, 強: 11, 弱: 9.5			
	電動機定格出力	Pa	0			
	エアコンフィルタ	W	50			
	吹出ダクト接続口		プラスチックネット(洗浄可能)			
	新鮮空気取入口		不可能			
	運転調整		背面を利用して可能 操作(運転切換, 風量調整, タイマ, 換気) 室温調節(電子サーモスタット) 表示(運転・点検用・LED, 液晶表示) 遠方発停入力用コネクタ(CNT)を保有(6P・室内基板上)			
加湿器		-(組込不可能)				
加湿器		-(組込不可能)				
防振装置・防音・断熱材		送風用電動機: 防振ゴム, 外板: 吸音断熱材貼付				
室外ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	mm	1300×970×370			
	製品質量	kg	103			
	圧縮機形式・台数		RMT5126MCE1×1			
	空気熱交換器		アルミフィン&銅チューブ式			
	冷媒制御器		電子膨張弁			
	冷媒封入量	kg	4.5(R410A)[配管30m分封入済]			
	冷凍機油封入量	ℓ	0.9(M-MA68)			
	送風形式・台数		軸流式(モータ直結)×2			
	電動機定格出力	m³/min	94			
	クランクケースヒータ	W	95×2			
低外気温時冷房運転制御機能		20				
霜除		室外送風用電動機制御により外気温-15℃~43℃で冷房運転可能 ⁽⁵⁾ マイコン差温式デアイスによる逆サイクル方式				
防振・防音装置		圧縮機: 防振ゴム, 吸音断熱材巻付				
配管寸法	冷媒配管(外径)	mm	室内分岐管: φ9.52(フレア接続), 室外主管: φ9.52(フレア接続) 室内分岐管: φ12.7(フレア接続), 室外主管: φ15.88(フレア接続)			
	排水口		〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個			
電気配線	電源配線サイズ	mm²	□5.5/□5.5×3本			
	漏電しゃ断器(高調波対応品)	A	30/30			
	開閉器または配線用しゃ断器		30/30			
	アース線サイズ	φmm	φ1.6/φ1.6			
室内外ユニット接続配線	φmm又はmm²	φ1.6×3本(~70m), □3.5×3本(~120m)				
設計法定冷凍能力	MPa	高圧部: 4.15, 低圧部: 2.21				
IPコード	トン	1.03(届出不要)				
保護装置		室内: IPX0, 室外: IPX4				
		冷房時 Frost 防止, 過負荷保護, 吐出温度保護				

注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量において JIS B8616:2006 および JRA4048:2006 条件により運転した値です。[~] は最小最大範囲を示します。
 (2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定(P急・急・強)としてください。
 (3) 能力および運転特性は室内ユニット2台と組合せて運転した場合の値です。室内ユニットの仕様は1台分を示します。
 (4) ツイン機のみ分岐配管は必ず分岐管セットDIS-WA1G(別売品)を使用して接続してください。
 (5) 外気温が-5℃以下で冷房運転を行う場合、フレックスフロアダプタおよび防雪フード(別売品)を取付けてください。
 (6) BEST 計算用 室内送風機消費電力: 0.06kW×2台

冷暖房兼用機(ヒータレス形)ツイン形(室内ユニット:2台, 室外ユニット:1台) [FDTSPV-HP]

セット形式		FDTSPV1404HP4	FDTSPV1604HP4	
項目	形式	室内: FDTSVXP714 室外: FDCVP1404H	室内: FDTSVXP804 室外: FDCVP1604H	
パネル形式 (別売品)	標準仕様(直吹き)・オートスイング付 下がり天井仕様・オートスイングなし	TS-PSA-3AW TS-PNA-3AW		
リモートコントローラ		RC-DX1G, RC-D4G 3相 200V 50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格	12.5[3.8~14.0]	14.0[4.2~16.0]
		中間	5.7	6.3
	暖房能力	定格標準	14.0[4.2~18.3]	16.0[4.8~20.3]
		中間	6.3	7.2
定格冷房時の顕熱比		0.69	0.65	
(1)運転特性	運転電流	冷房	11.8	15.1
		暖房	11.5	13.9
	消費電力	冷房	5(23)	
		定格標準	3.80	4.90
中間		1.20	1.35	
力	率	冷房	3.61	4.50
		暖房	1.20	1.39
	率	6.30	5.80	
	エネルギー消費効率	冷房	冷: 93, 暖: 91	
運	室内ユニット	冷房	冷: 94, 暖: 93	
		暖房	冷: 94, 暖: 93	
	室外ユニット	冷房	冷: 94, 暖: 93	
室内ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	mm	本体: 220×1150×565, パネル: 35×1460×650	
	製品質量	kg	本体: 28, 標準パネル: 6, 下がり天井パネル: 6	
	空気熱交換器		アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置		両吸込多翼遠心式(モータ直結)×4	
	風量	m³/min	P急: 17, 急: 15, 強: 12, 弱: 10	P急: 18, 急: 15, 強: 12, 弱: 10
	機外静圧(標準風量時)	Pa	0	
	電動機定格出力	W	70	
	エアコンフィルタ		プラスチックネット(洗浄可能)	
	吹出ダクト接続口		不可能	
	新鮮空気取入口		背面を利用して可能	
室外ユニット	運転調整		操作(運転切換, 風量調整, タイマ, 換気)	
	遠方発停用機能		室温調節(電子サーモスタット) 表示(運転・点検用・LED, 液晶表示)	
	加温補助電気ヒータ		遠方発停入力用コネクタ(CNT)を保有(6P・室内基板上)	
	加湿器		-(組込不可能)	
	加湿器		-(組込不可能)	
	防振装置・防音・断熱材		送風用電動機: 防振ゴム, 外板: 吸音断熱材貼付	
	外形寸法(高さ×幅×奥行)	mm	1505×970×370	
	製品質量	kg	114	
	圧縮機形式・台数		RMT5134MCE1×1	
	空気熱交換器		アルミフィン&銅チューブ式	
冷媒封入量	kg	電子膨張弁 4.9(R410A)[配管30m分封入済]		
冷凍機油封入量	ℓ	0.9(M-MA68)		
送風装置		軸流式(モータ直結)×2		
風量	m³/min	94	冷: 94, 暖: 105	
電動機定格出力	W	95×2		
クランクケースヒータ	W	20		
低外気温時冷房運転制御機能		室外送風用電動機制御により外気温-15℃~43℃で冷房運転可能 ⁽⁵⁾		
除霜		マイコン差温式デアイスによる逆サイクル方式		
防振・防音装置		圧縮機: 防振ゴム, 吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管(外径)	mm	室内分岐管: φ9.52(フレア接続), 室外主管: φ9.52(フレア接続)	
	排水口		室内分岐管: φ15.88(フレア接続), 室外主管: φ15.88(フレア接続)	
電気配線	電源配線サイズ	mm²	□5.5/□5.5×3本	
	漏電しゃ断器(高調波対応品)	A	30/30	
	開閉器または配線用しゃ断器	A	30/30	
	アース線サイズ	φmm	φ1.6/φ1.6	
室内外ユニット接続配線	φmm又はmm²	φ1.6×3本(~70m), □3.5×3本(~120m)		
設計法定冷凍能力	MPa	高圧部: 4.15, 低圧部: 2.21		
IPコード		室内: IPX0, 室外: IPX4		
保護装置		冷房時フロスト防止, 過負荷保護, 吐出温度保護		

注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量において JIS B8616:2006 および JRA4048:2006 条件により運転した値です。[~] は最小最大範囲幅を示します。
 (2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定(P急・急・強)としてください。
 (3) 能力および運転特性は室内ユニット2台と組合せて運転した場合の値です。室内ユニットの仕様は1台分を示します。
 (4) ツイン機の分岐配管は必ず分岐管セットDIS-WA1G(別売品)を使用して接続してください。
 (5) 外気温が-5℃以下で冷房運転を行う場合、フレックスフロアダプタおよび防雪フード(別売)を取付けてください。
 (6) BEST 計算用 室内送風機消費電力: 0.09kW×2台

冷暖房兼用機(ヒータレス形)トリプル形(室内ユニット:3台, 室外ユニット:1台)〔FDTSPV-HT〕

セット形式		形式		FDTSPV1604HT4		
項目				室内: FDTSPVXP504	室外: FDCV1604H	
パネル形式 (別売品)	標準仕様(直吹き)・オートスイング付			TS-PSA-3AW		
	下がり天井仕様・オートスイングなし			TS-PNA-3AW		
リモートコントローラ				RC-DX1G, RC-D4G		
(1)能力	冷房能力	定格	14.0	14.0[4.2~16.0]		
		中間	6.3			
	暖房能力	定格標準	16.0	16.0[4.8~20.3]		
		中間	7.2			
定格冷房時の顕熱比			0.70			
(1)運転	運転電流	冷房	14.7			
		暖房	13.1			
	始動電流(最大電流)			5(23)		
	消費電力	冷房	定格	4.78		
中間			1.35			
暖房		定格標準	4.24			
		中間	1.36			
		定格低温	6.14			
特性	力率			冷: 94, 暖: 93		
	エネルギー消費効率	冷房	2.93	2.93, 中間: 4.67		
		暖房	3.77	3.77, 中間: 5.29		
	通年エネルギー消費効率			4.7		
運転音	室内ユニット	dB(A)		P急: 44, 急: 41, 強: 38, 弱: 35		
	室外ユニット			冷: 50, 暖: 54		
室内ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)		mm	本体: 220×1150×565, パネル: 35×1460×650		
	製品質量		kg	本体: 27, 標準パネル: 6, 下がり天井パネル: 6		
	空気熱交換器形式・台数			アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	送風機外静圧(標準風量時)		Pa	両吸込多翼遠心式(モータ直結)×4	
		電動機定格出力		W	P急: 14.5, 急: 12.5, 強: 11, 弱: 9.5	
	工アフィルタ			0		
	吹出ダクト接続口			50		
	新鮮空気取入口			プラスチックネット(洗浄可能)		
	運転調整			不可能		
	遠方発停機機能			背面を利用して可能		
加温加湿器	補助電気ヒータ			操作(運転切換, 風量調整, タイマ, 換気)		
	加湿器			室温調節(電子サーモスタット) 表示(運転・点検用・LED, 液晶表示)		
	加湿器			遠方発停入力用コネクタ(CNT)を保有(6P・室内基板上)		
	加湿器			-(組込不可能)		
防振装置・防音・断熱材			-(組込不可能)			
			送風用電動機: 防振ゴム, 外板: 吸音断熱材貼付			
室外ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)		mm	1505×970×370		
	製品質量		kg	114		
	冷却装置	圧縮機形式・台数			RMT5134MCE1×1	
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	4.9(R410A)[配管30m分封入済]	
	冷凍機油封入量		ℓ	0.9(M-MA68)		
	送風装置	送風機形式・台数			軸流式(モータ直結)×2	
		電動機定格出力		W	冷: 94, 暖: 105	
	クランクケースヒータ		W	95×2		
低外気温時冷房運転制御機能			20			
霜除			室外送風用電動機制御により外気温-15℃~43℃で冷房運転可能 ⁽⁵⁾			
防振・防音装置			マイコン差温式デアイスによる逆サイクル方式			
			圧縮機: 防振ゴム, 吸音断熱材巻付			
配管寸法	冷媒配管(外径)	液管	mm	室内分岐管: φ9.52(フレア接続), 室外主管: φ9.52(フレア接続)		
	排水口	ガス管		室内分岐管: φ12.7(フレア接続), 室外主管: φ15.88(フレア接続)		
電気配線	電源配線サイズ		mm ²	〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個		
	漏電しゃ断器(高調波対応品)			□5.5/□5.5×3本		
	開閉器または配線用しゃ断器		A	30/30		
	アース線サイズ		φmm	30/30		
室内外ユニット接続配線		φmm又はmm ²	φ1.6/φ1.6			
設計法定	計圧力		MPa	φ1.6×3本(~70m), □3.5×3本(~120m)		
	冷凍能力		トン	高圧部: 4.15, 低圧部: 2.21		
IPコード	保護装置			1.76(届出不要)		
				室内: IPX0, 室外: IPX4		
					冷房時 Frost 防止, 過負荷保護, 吐出温度保護	

- 注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量において JIS B8616:2006 および JRA4048:2006 条件により運転した値です。[~] は最小最大範囲幅を示します。
 (2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定(P急・急・強)としてください。
 (3) 能力および運転特性は室内ユニット3台と組合せて運転した場合の値です。室内ユニットの仕様は1台分を示します。
 (4) トリプル用分岐管は, 下記を使用してください。
 ①各室内ユニットまでの配管長差が3m未満: DIS-TA1G
 ②各室内ユニットまでの配管長差が3m以上: DIS-WA1G を2セット
 (5) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合, フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売品)を取付けてください。
 (6) BEST 計算用 室内送風機消費電力: 0.06kW×3台

冷暖房兼用機(ヒータレス形)トリプル形(室内ユニット:3台, 室外ユニット:1台)〔FDTSVP-HT〕

セット形式		形式		FDTSVP2243HTG4	
項目	標準仕様(直吹き)・オートスイング付	室内: FDTSVXP804 室外: FDCVP2243HG			
パネル形式 (別売品)	下がり天井仕様・オートスイングなし	TS-PSA-3AW TS-PNA-3AW			
リモートコントローラ		RC-DX1G, RC-D4G			
電源		3相 200V 50/60Hz			
(1)能力	冷房能力	定格	中間	20.0[7.0~22.4]	
		標準	低温	9.0	
	暖房能力	定格	標準	22.4[7.6~28.0]	
		低温		10.1	
定格冷房時の顕熱比			0.68		
(1)運転	運転電流	冷房	暖房	23.0 19.9	
	始動電流(最大電流)	5(33)			
特性	消費電力	冷房	定格	中間	7.05
			標準	低温	2.12
		暖房	標準	中間	5.99
力率				冷: 88, 暖: 87	
エネルギー消費効率	冷房	暖房	定格: 2.84, 中間: 4.25		
通年エネルギー消費効率			定格: 3.74, 中間: 4.88		
運転音	室内ユニット	P急: 50, 急: 46, 強: 41, 弱: 36			
	室外ユニット	58			
室内ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	本体: 220×1150×565, パネル: 35×1460×650			
	製品質量	本体: 28, 標準パネル: 6, 下がり天井パネル: 6			
	空気熱交換器	アルミフィン&銅チューブ式			
	送風形式・台数	両吸込多翼遠心式(モータ直結)×4			
	機外静圧(標準風量時)	P急: 18, 急: 15, 強: 12, 弱: 10			
	電動機定格出力	0			
	エアフィルタ	70			
	吹出ダクト接続口	プラスチックネット(洗浄可能)			
	新鮮空気取入口	不可能			
	運転調整	背面を利用して可能 操作(運転切換, 風量調整, タイマ, 換気) 室温調節(電子サーモスタット) 表示(運転・点検用・LED, 液晶表示) 遠方発停入力用コネクタ(CNT)を保有(6P・室内基板上)			
加湿器	加湿補助電気ヒータ	-(組込不可能)			
	加湿器	-(組込不可能)			
防振装置・防音・断熱材	送風用電動機: 防振ゴム, 外板: 吸音断熱材貼付				
室外ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	1675×1080×480			
	製品質量	203			
	圧縮機形式・台数	GTC5150MG40K×1			
	空気熱交換器	アルミフィン&銅チューブ式			
	冷媒制御器	電子膨張弁			
	冷媒封入量	9.7(R410A)[配管30m分封入済]			
	冷凍機油封入量	1.45(M-MA32R)			
	送風形式・台数	軸流式(モータ直結)×2			
	電動機定格出力	220			
	クランクケースヒータ	144×2			
低外気温時冷房運転制御機能	33				
除霜	室外送風用電動機制御及び圧縮機制御により外気温-15℃~43℃で冷房運転可能 ⁽⁶⁾ マイコン差温式デアイスによる逆サイクル方式				
防振・防音装置	圧縮機: 防振ゴム, 吸音断熱材巻付				
配管寸法	冷媒配管(外径)	液管 ⁽⁶⁾	ガス管	室内分岐管: φ9.52(フレア接続), 室外主管: φ9.52(フレア接続) 室内分岐管: φ15.88(フレア接続), 室外主管: φ25.4(ろう付接続) (室内) VP25の排水管の接続可能 [室外] 内径φ20mmの排水穴×4個	
	排水口	□14.0/□14.0×3本			
電気配線	電源配線サイズ	mm ²			
	開閉器または配線用しゃ断器	A			
	漏電しゃ断器(高調波対応品)	60/60 50/50			
アース線サイズ	mm ²				
室内外ユニット接続配線	φmm又はmm ²				
設計法定冷凍能力	MPa				
IPコード	MPa				
保護装置	高圧部: 4.15, 低圧部: 2.21 2.24(届出不要) 室内: IPX0, 室外: IP24 冷房時 Frost 防止, 過負荷保護, 吐出温度保護				

- 注(1) 能力・運転特性は適正冷媒量において JIS B8616:2006 および JRA4048:2006 条件により運転した値です。[~] は最小最大範囲を示します。
 (2) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定(P急・急・強)としてください。
 (3) 能力および運転特性は室内ユニット3台と組合せて運転した場合の値です。室内ユニットの仕様は1台分を示します。
 (4) トリプル用分岐管は, 下記を使用してください。
 ①各室内ユニットまでの配管長差が3m未満: DIS-TB1G
 ②各室内ユニットまでの配管長差が3m以上: DIS-WA1G を1セット, DIS-WB1G を1セット
 (5) 液配管の圧力損失により能力ダウンが大きくなる場合がありますので, 片道配管長が60m以上の主管の液管サイズはφ12.7を推奨します。
 (6) 外気温が-5℃以下で冷房運転を行う場合, フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売)を取付けてください。
 (7) BEST 計算用 室内送風機消費電力: 0.09KW×3台

(2) 使用範囲

(a) セゾンインバータシリーズ

室外ユニット形式		シングル機	ツイン機	トリプル機	
項目		404	803	1603	2243
		454	1123		
		504	1403		
		564	1603		
		634			
		803			
室内吸込空気温度	冷房時 暖房時	詳細は使用温度範囲（27 ページ）をご覧ください。			
室外吸込空気温度	冷房時 暖房時				
適用地域	ヒートポンプ機(暖房運転を考慮して)日最低気温が12～3月の冬期4ヶ月間の平均値で0℃DB以上であって降雪の多くない地域。降雪地域では、防雪フード(オプション)を組付け使用してください。				
設置場所	外形図に据付スペースに関する制限を記載しております。 室内ユニットの据付は、床面から2.5m以上としてください。				
室内ユニット雰囲気・湿度 ⁽²⁾	露点温度28℃以下、相対湿度80%以下				
冷媒配管の断熱	相対湿度が70%を越える天井内等では、厚さ20mm以上の断熱が必要になります。				
ドレン配管の断熱	相対湿度が70%を越える天井内等では、厚さ10mm以上の断熱が必要になります。				
冷媒配管の片道配管長(実長) ⁽³⁾⁽⁴⁾	50m以下			70(40)m以下	
室内・外ユニットの高さの差	30m以下 (室外ユニットが下の場合:15m以下)				
分岐後の室内ユニット間の配管長さの差	—	10m以下			
室内ユニットの高さの差	—	0.5m以下			
圧縮機の 発停頻度	1サイクル時間 停止時間	7分以上(停止～停止/始動～始動) 3分以上			
電源電圧	電圧変動	定格電圧200V±10%以内			
	始動時の電圧降下	定格電圧200Vの15%			
	相間アンバランス	3%以内			

注(1) 次のような場所への設置は行わないでください。

- 調理場や機械工場など、油の飛沫や油煙、タバコ・蒸気・湿気の立ち込める場所。
- 可燃性ガスの漏れる恐れがある場所。
- 硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリ等、機器に影響する物質の発生・滞留するところ。
- 海岸地帯の潮風が直接当たる場所。
- 化粧品、特殊なスプレーを頻繁に使用するところ。
- 電磁波・高周波の発生する機器の近く。
- カーボン繊維や金属分・粉およびパウダー等が浮遊する場所。
- 煙突の煙がかかる場所。
- 標高1000m以上の場所。
- 洗たく室等 水が掛かる場所。
室内ユニットは水の浸入に対する保護はしていません。
- ツイン、トリプル仕様の場合、同じ室外ユニットに接続されている室内ユニットは、間仕切りのない同一の部屋に設置し、空調負荷が同一となる条件で使用してください。
- 車両・船舶等移動するものへの設置。
- 積雪の多い所。
- ワイヤレス仕様で使われる場合、受信部に影響のある光線が飛び交うところ。

(2) 雰囲気温湿度が上記の値を超える場合は外板の断熱材のポリウレタンホーム(t10以上)を追加してください。

(3) () 内数値は2243形で液管サイズφ9.52の場合を示します。

(4) 片道配管長の下限は、3m以上としてください。

(b) ハイパーインバータシリーズ

室外ユニット形式		シングル機		ツイン機		トリプル機	
		404 454 504 564 634	804	804	1124 1404 1604	1604	2243
項目							
室内吸込空気温度	冷房時 暖房時	詳細は使用温度範囲（次ページ）をご覧ください。					
室外吸込空気温度	冷房時 暖房時						
適用地域		ヒートポンプ機（暖房運転を考慮して）日最低気温が12～3月の冬期4ヶ月間の平均値で0℃DB以上であって降雪の多くない地域。降雪地域では、防雪フード（オプション）を組付け使用してください。					
設置場所		外形図に据付スペースに関する制限を記載しております。 室内ユニットの据付は、床面から2.5m以上としてください。					
室内ユニット雰囲気温度・湿度 ⁽²⁾		露点温度28℃以下、相対湿度80%以下					
冷媒配管の断熱		相対湿度が70%を越える天井内等では、厚さ20mm以上の断熱が必要になります。					
ドレン配管の断熱		相対湿度が70%を越える天井内等では、厚さ10mm以上の断熱が必要になります。					
冷媒配管の片道配管長(実長) ⁽³⁾⁽⁴⁾		50m以下	70m以下	100m以下	120(60)m以下		
室外ユニットの高さの差		30m以下 (室外ユニットが下の場合:15m以下)					
第1分岐後の室内ユニット間の配管長さの差		—		10m			
室内ユニットの高さの差		—		0.5m			
圧縮機の発停頻度	1サイクル時間	7分以上(停止～停止/始動～始動)					
	停止時間	3分以上					
電源電圧	電圧変動	定格電圧200V±10%以内					
	始動時の電圧降下	定格電圧200Vの15%					
	相間アンバランス	3%以内					

注(1) 次のような場所への設置は行わないでください。

- 調理場や機械工場など、油の飛沫や油煙、タバコ・蒸気・湿気の立ち込める場所。
- 可燃性ガスの漏れる恐れがある場所。
- 硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリ等、機器に影響する物質の発生・滞留するところ。
- 海岸地帯の潮風が直接当たる場所。
- 化粧品、特殊なスプレーを頻繁に使用するところ。
- 電磁波・高周波の発生する機器の近く。
- カーボン繊維や金属分・粉およびパウダー等が浮遊する場所。
- 煙突の煙がかかる場所。
- 標高1000m以上の場所。
- 洗たく室等 水が掛かる場所。
室内ユニットは水の浸入に対する保護はしていません。
- ツイン、トリプル仕様の場合、同じ室外ユニットに接続されている室内ユニットは、筒仕切りのない同一の部屋に設置し、空調負荷が同一となる条件で使用してください。
- 車両・船舶等移動するものへの設置。
- 積雪の多い所。
- ワイヤレス仕様で使われる場合、受信部に影響のある光線が飛び交うところ。

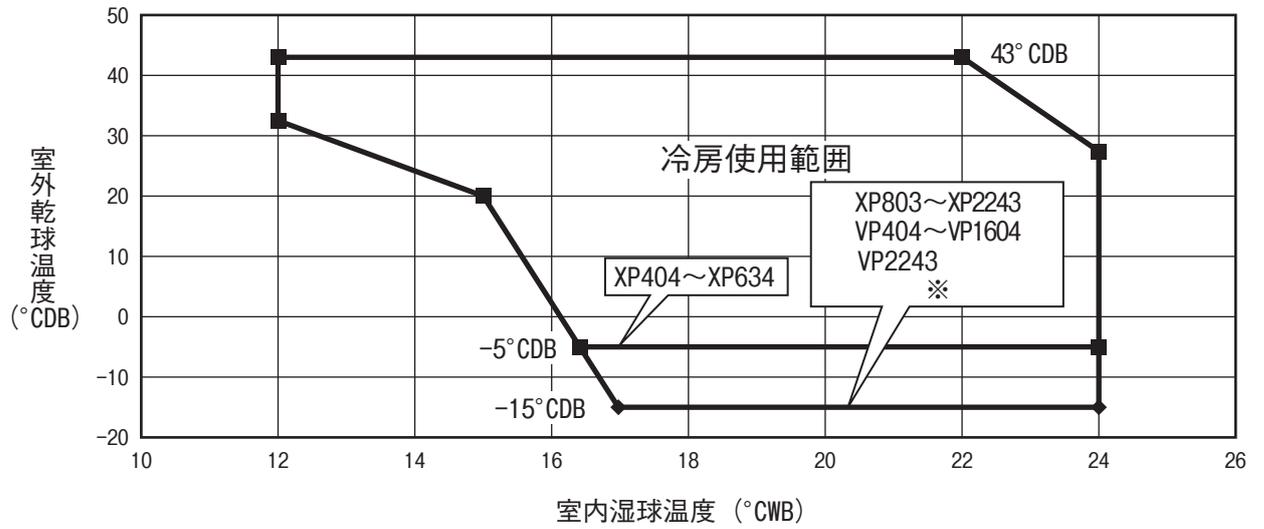
(2) 雰囲気温度湿度が上記の値を超える場合は外板の断熱材のポリウレタンフォーム(t10以上)を追加してください。

(3) () 内数値は2243形で液管サイズφ9.52の場合を示します。

(4) 片道配管長の下限は、3m以上としてください。

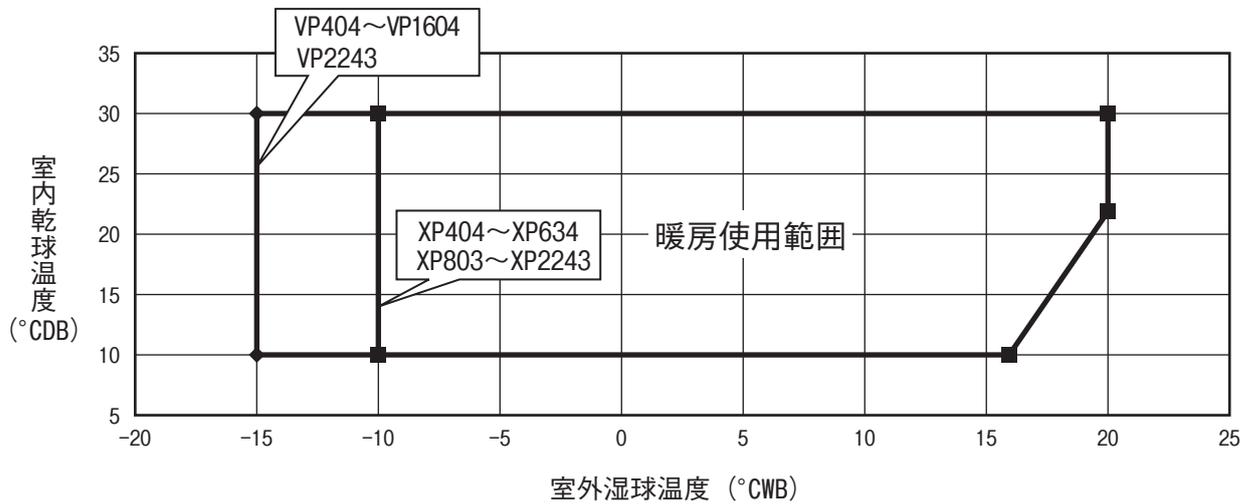
■使用温度範囲

• 冷房運転



注(1) ※ -5°C以下で使用する場合は、防雪フード（オプション）を組み付けてください。（80～224形のみ）

• 暖房運転



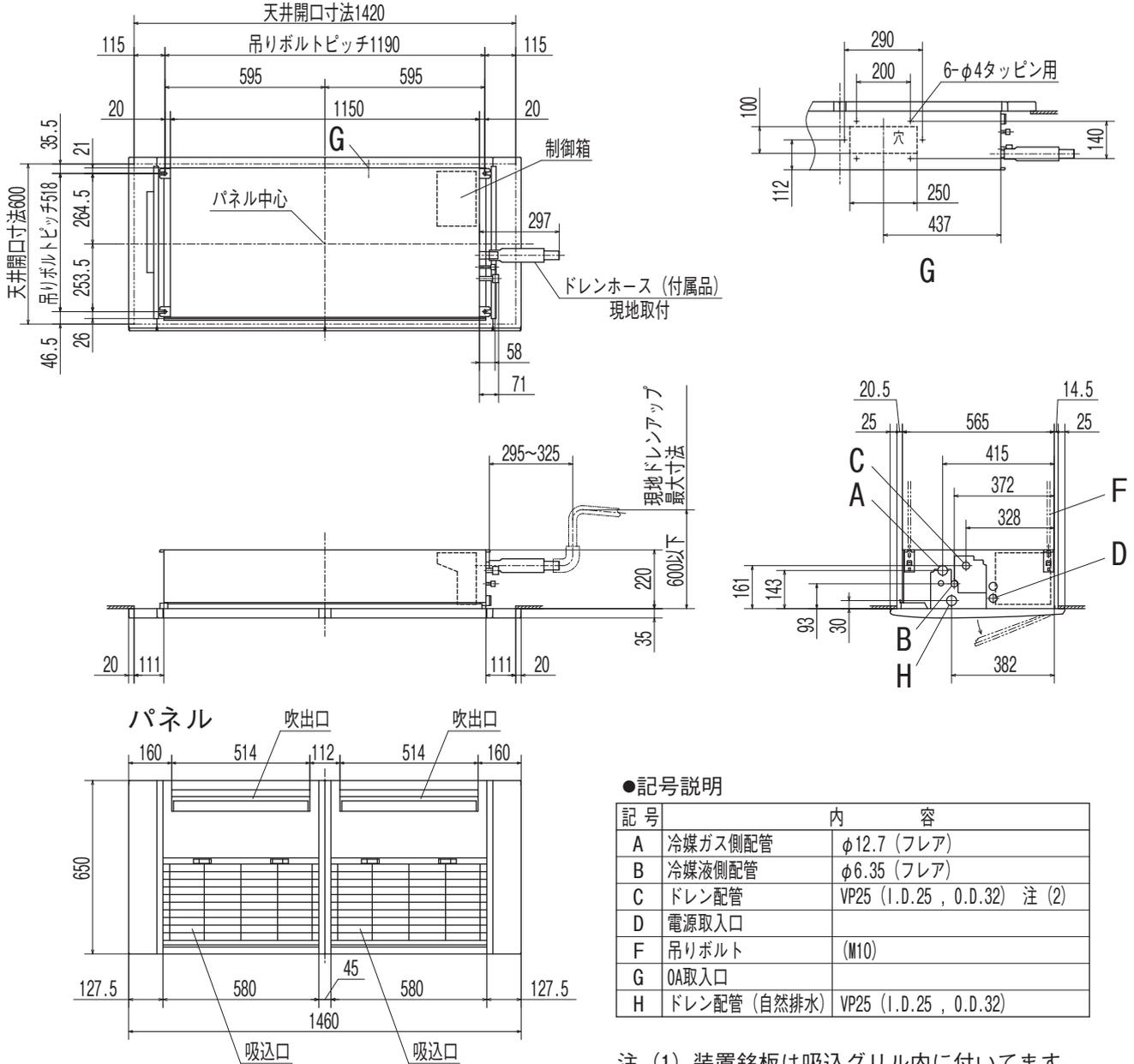
■ユニットの風量を妨げる様な場所、室外ユニットに強風・他のユニット吹出風が当たる場所に設置された場合、冷房・暖房能力の減少、制御により連続運転をしない範囲が発生します。

(3) 外形図

(a) 天井埋込仕様(直吹き)

FDTSVXP404, 454, 504, 564, 634

注(1) 404~564ユニットをツイン、トリプルに使用する場合は、分岐管セットに付属している異径継手を用いて分岐配管(分岐部~室内ユニット)の液管サイズをφ9.52としてください。

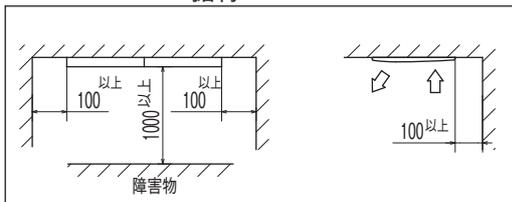


●記号説明

記号	内 容	
A	冷媒ガス側配管	φ12.7 (フレア)
B	冷媒液側配管	φ6.35 (フレア)
C	ドレン配管	VP25 (I.D.25, O.D.32) 注(2)
D	電源取入口	
F	吊りボルト	(M10)
G	OA取入口	
H	ドレン配管 (自然排水)	VP25 (I.D.25, O.D.32)

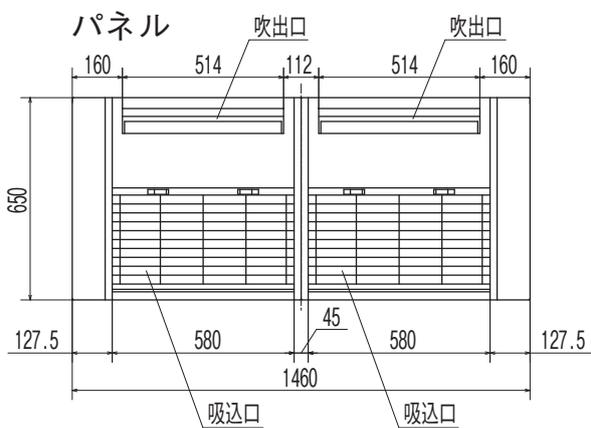
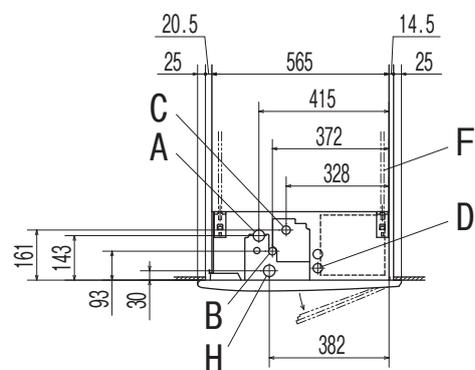
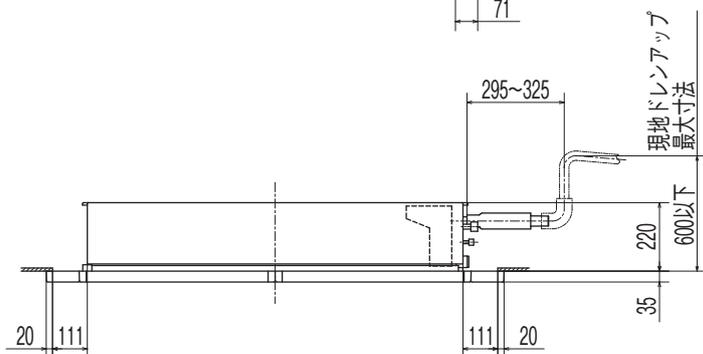
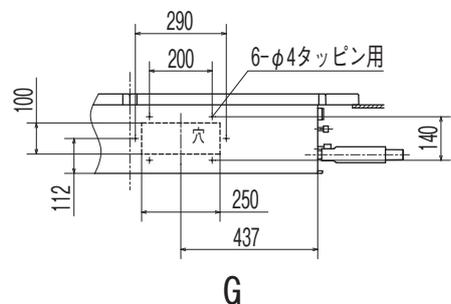
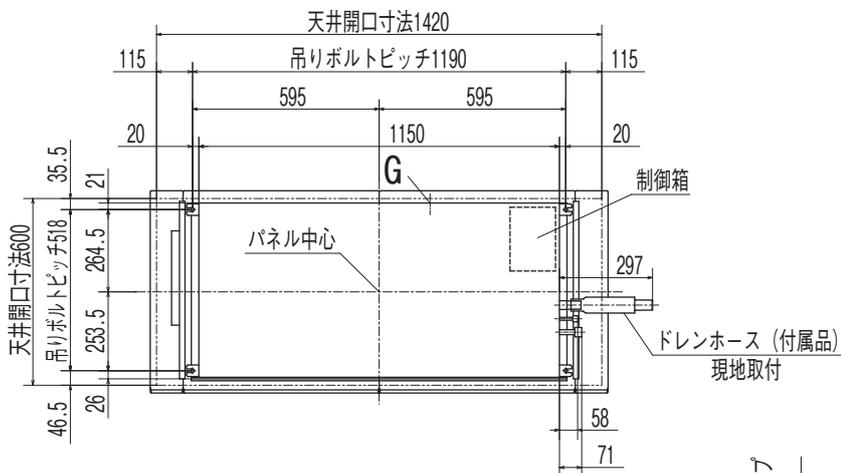
注(1) 装置銘板は吸込グリル内に付いてます。
 (2) VP25用接続ソケットを現地手配してください。

据付スペース



隣接設置の場合は、ユニット間を4000以上離してください。

PJC001Z339

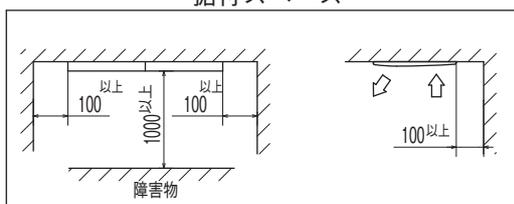


●記号説明

記号	内 容
A	冷媒ガス側配管 $\phi 15.88$ (フレア)
B	冷媒液側配管 $\phi 9.52$ (フレア)
C	ドレン配管 VP25 (I.D.25, O.D.32) 注 (2)
D	電源取入口
F	吊りボルト (M10)
G	OA取入口
H	ドレン配管 (自然排水) VP25 (I.D.25, O.D.32)

注 (1) 装置銘板は吸込グリル内に付いてます。
 (2) VP25用接続ソケットを現地手配してください。

据付スペース



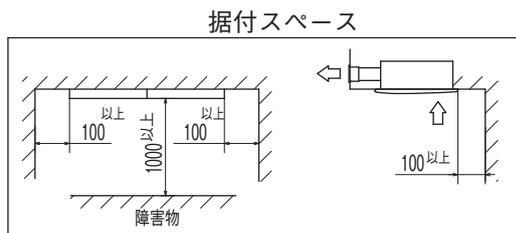
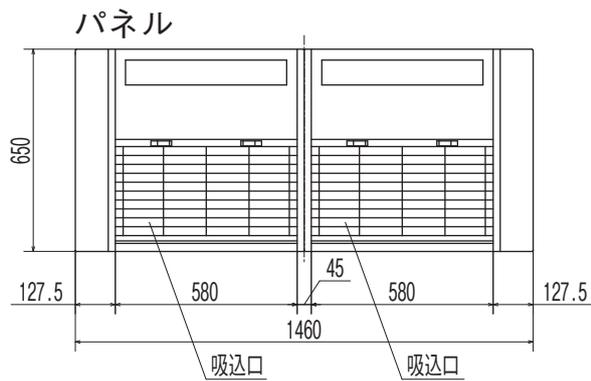
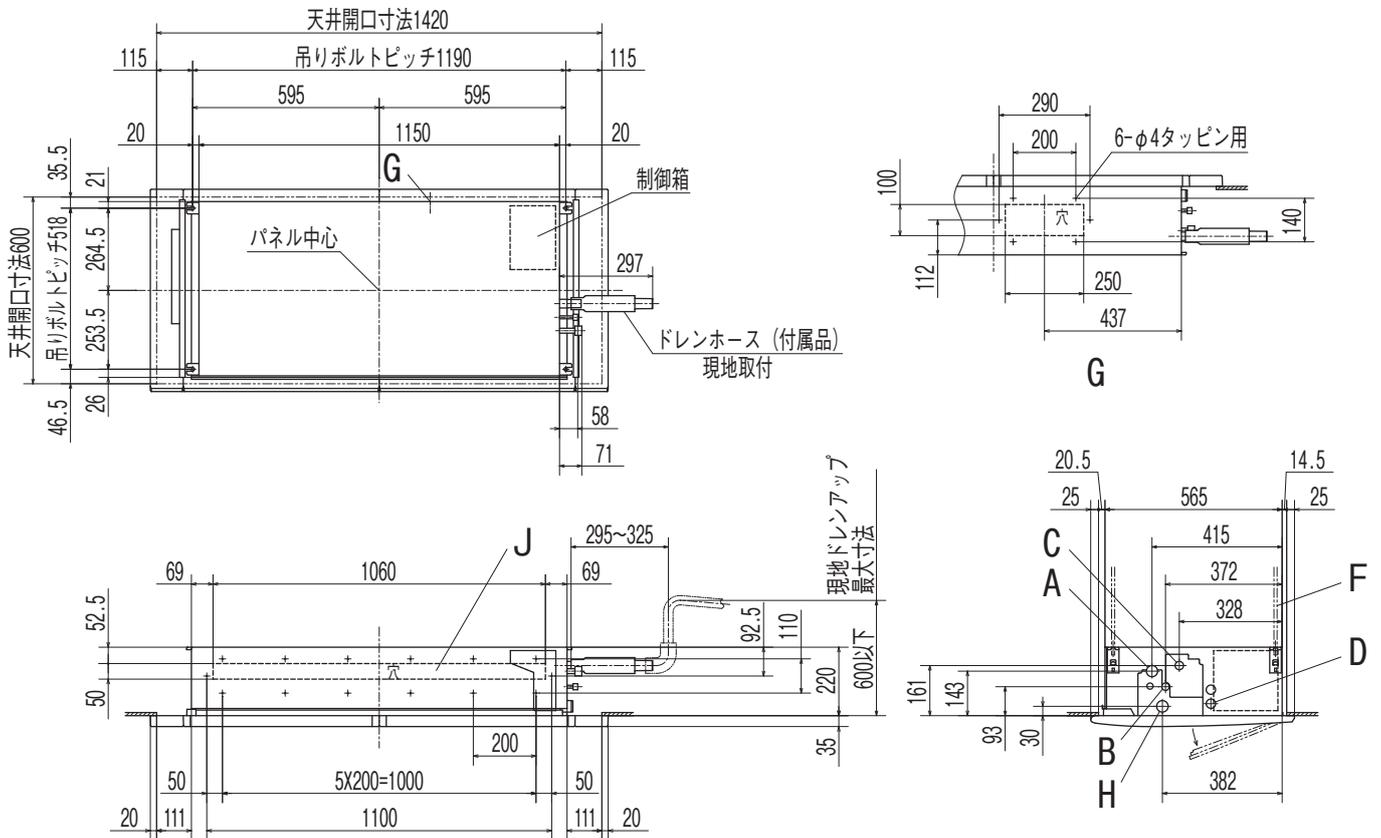
隣接設置の場合は、ユニット間を4000以上離してください。

PJC001Z339

(b) 下がり天井仕様

FDTSVXP404, 454, 504, 564, 634

注(1) 403~564ユニットをツイン、トリプルに使用する場合は、分岐管セットに付属している異径継手を用いて分岐配管(分岐部~室内ユニット)の液管サイズをφ9.52としてください。



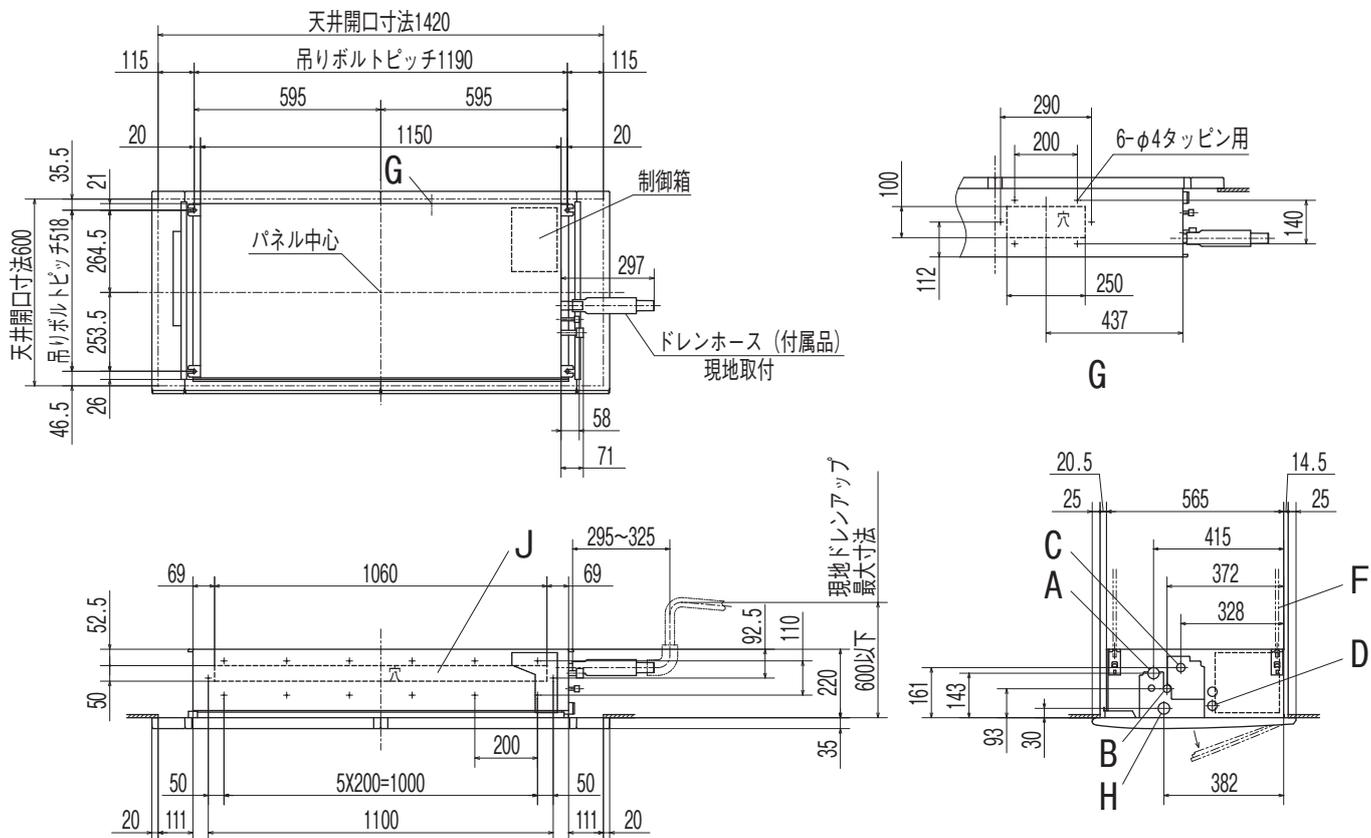
隣接設置の場合は、ユニット間を4000以上離してください。

記号	内 容	
A	冷媒ガス側配管	φ12.7 (フレア)
B	冷媒液側配管	φ6.35 (フレア)
C	ドレン配管	VP25 (I.D.25, O.D.32) 注(2)
D	電源取入口	
F	吊りボルト	(M10)
G	OA取入口	
H	ドレン配管 (自然排水)	VP25 (I.D.25, O.D.32)
J	下り天井設置時吹出口	

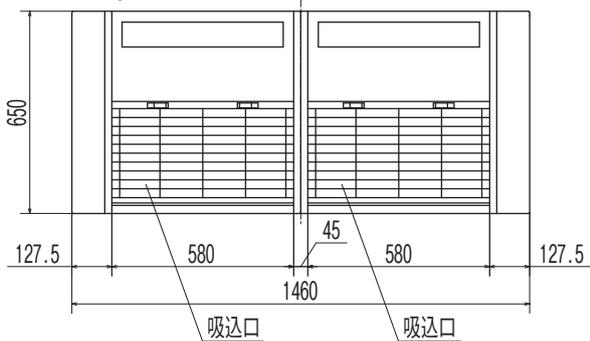
注 (1) 装置銘板は吸込グリル内に付いてます。
 (2) VP25用接続ソケットを現地手配してください。

PJC001Z340

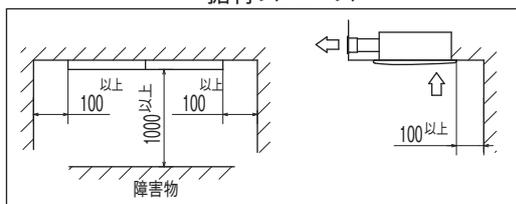
FDTSVXP714, 804,



パネル



据付スペース



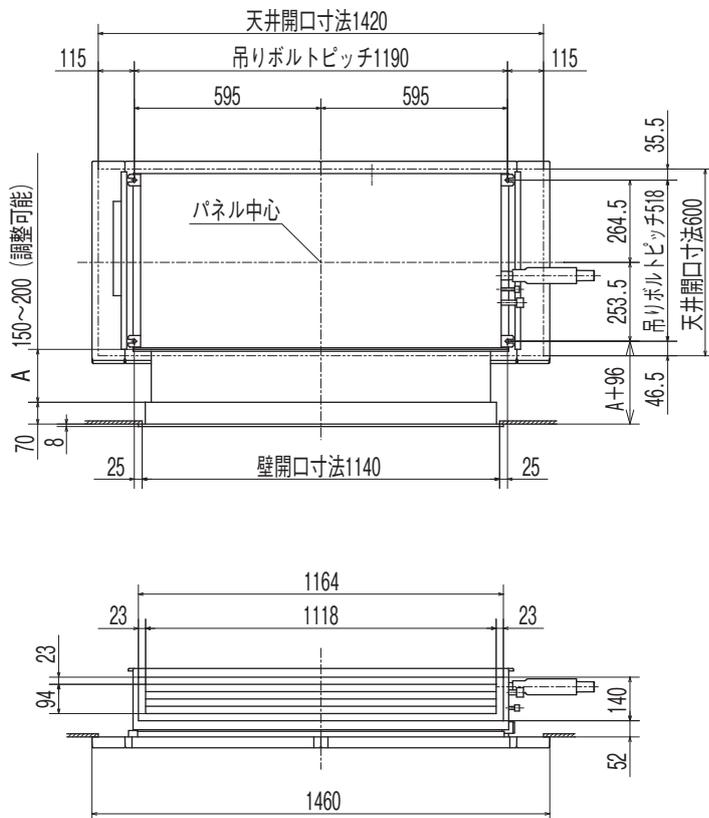
隣接設置の場合は、ユニット間を4000以上離してください。

記号	内 容	
A	冷媒ガス側配管	φ15.88 (フレア)
B	冷媒液側配管	φ9.52 (フレア)
C	ドレン配管	VP25 (I.D.25, O.D.32) 注 (2)
D	電源取入口	
F	吊りボルト	(M10)
G	OA取入口	
H	ドレン配管 (自然排水)	VP25 (I.D.25, O.D.32)
J	下り天井設置時吹出口	

注 (1) 装置銘板は吸込グリル内に付いています。
 (2) VP25用接続ソケットを現地手配してください。

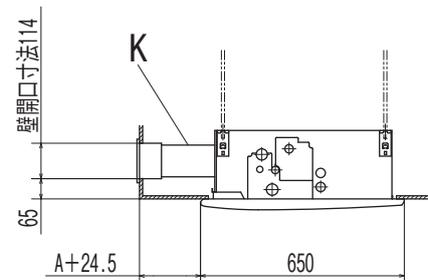
PJC001Z340

●吹出グリル取付図



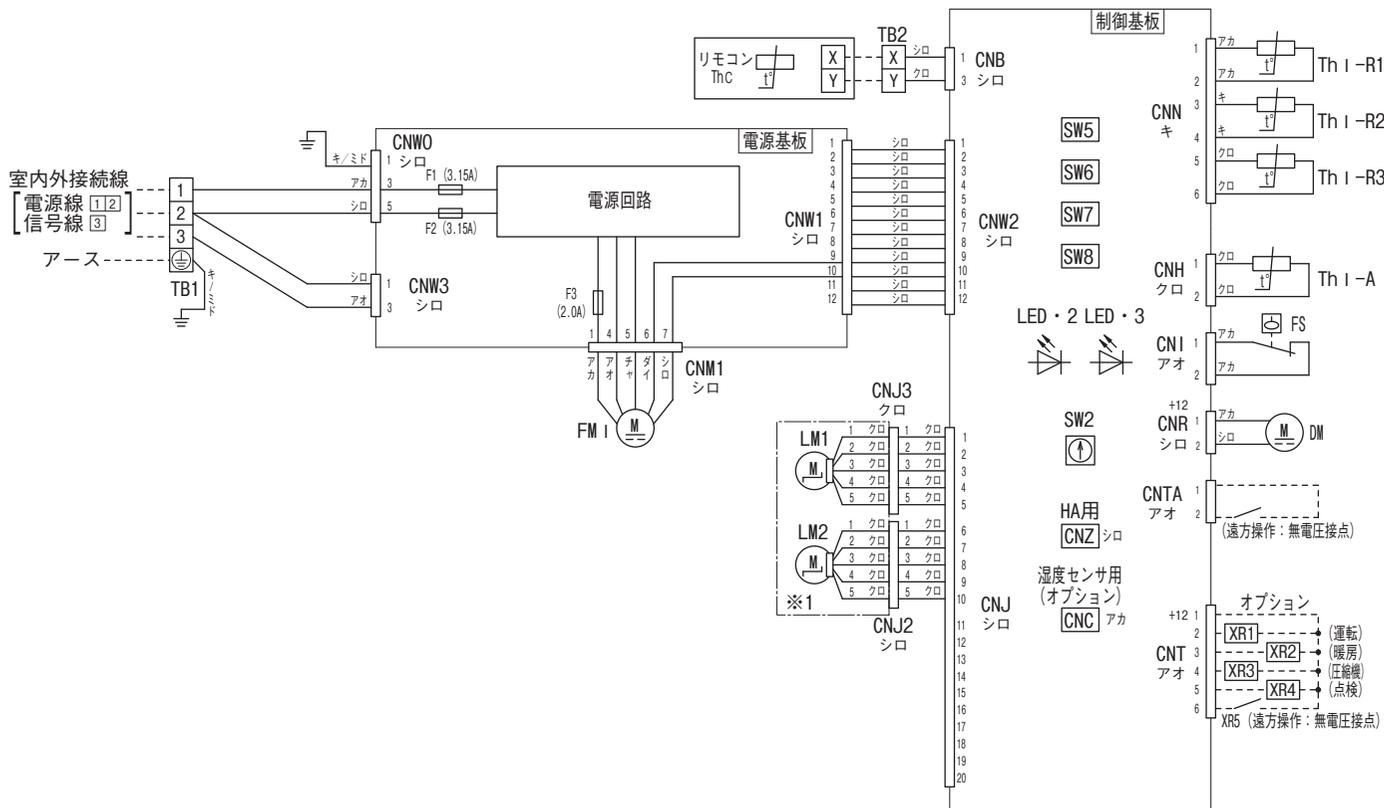
本図は下記オプション部品を組合わせた場合を示す。

K	下がり天井用吹出グリル (含む吹出しグリル・ダクト)	三菱重工空調システム HA06241
---	-------------------------------	-----------------------



PJC001Z340

FDTSVXP404,454,504,564,634,714,804



●記号説明

CNB~Z	コネクタ (□印)
DM	ドレンモータ
F1~3	ヒューズ
FM1	ファンモータ
FS	フロートスイッチ
LED・2	表示灯 (緑・マイコン正常表示)
LED・3	表示灯 (赤・点検表示)
LM1,2	ルーバモータ
SW2	リモコン通信アドレス設定
SW5	プル・ララル機 親/子設定
SW6	機種容量切替
SW7-1	運転チェック・ドレン試運転
SW7-3	パワフルモード 有効/無効
SW8-1	SC熱交搭載機制御
TB1	端子台 (電源) (□印)
TB2	端子台 (通信) (□印)
Thc	リモコン付属サーミスタ
Th1-A	吸込温度センサ
Th1-R1,2,3	熱交温度センサ

- 記事 1.----は現地配線を示します。
 2.TB1は強電用端子台 (室内外接続線), TB2は弱電用端子台 (リモコン線) です。
 3.室内外接続線は、室外機配線図をご覧ください。
 4.リモコン配線は0.3mm² X2心を使用してください。
 5.リモコン配線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。
 6.下がり天井設置仕様では、※1箇所はありません。

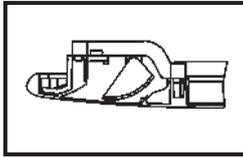
PJC001Z343
PJC001Z344

(5) 気流分布

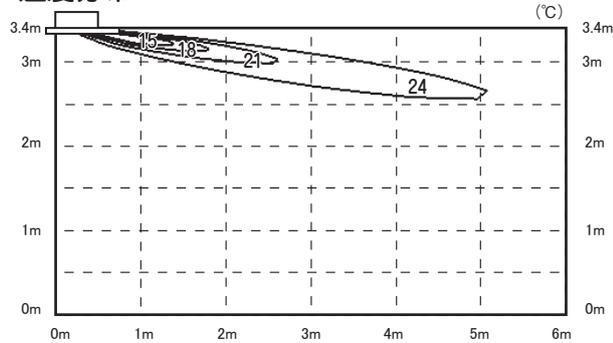
FDTSVXP404,454

(a) 冷房 風量：P急

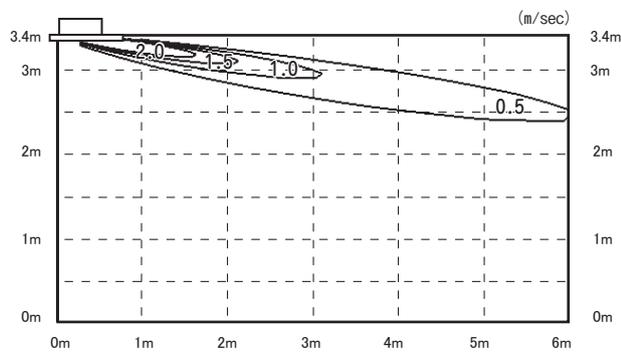
ルーバ位置



温度分布

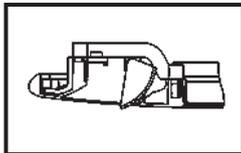


風速分布

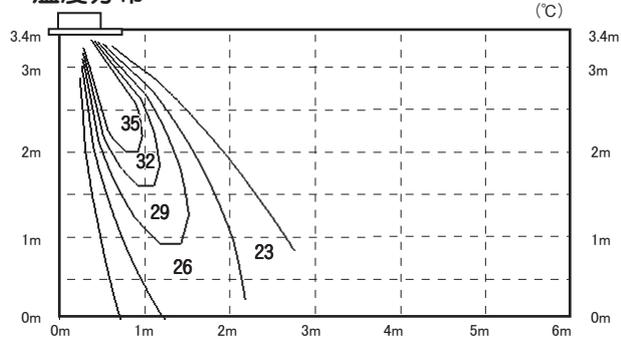


(b) 暖房 風量：P急

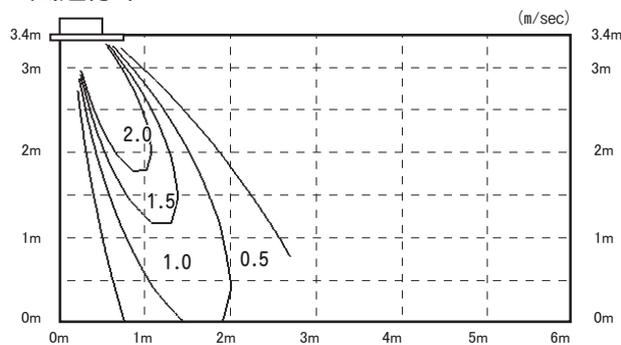
ルーバ位置



温度分布



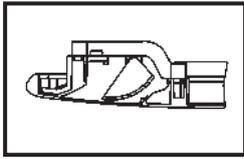
風速分布



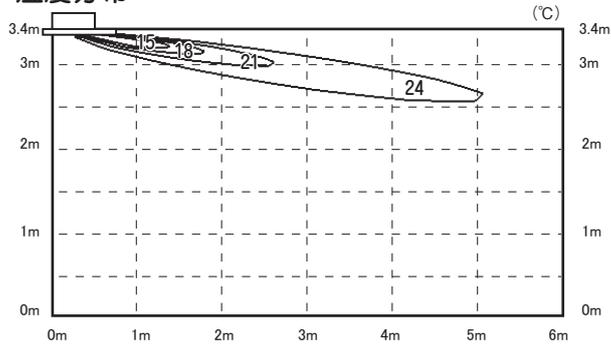
FDTSVXP504,564

(a) 冷房 風量：P急

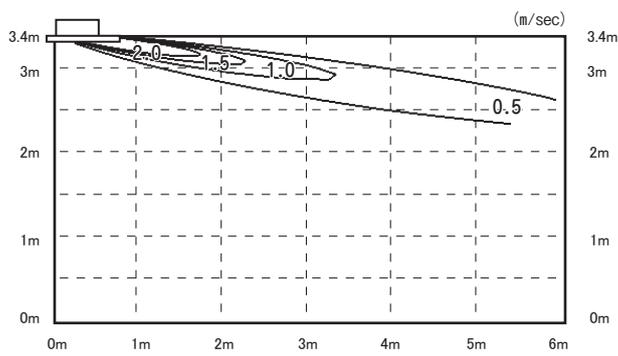
ルーバ位置



温度分布

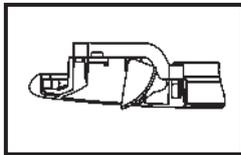


風速分布

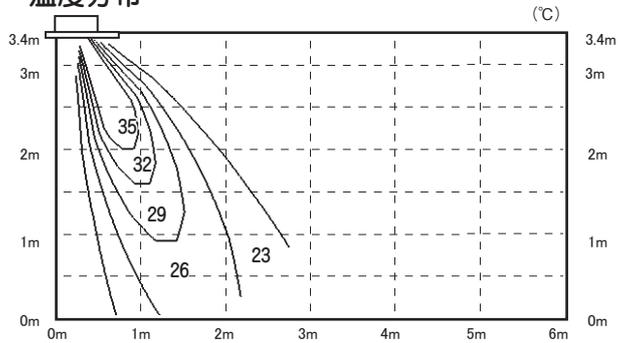


(b) 暖房 風量：P急

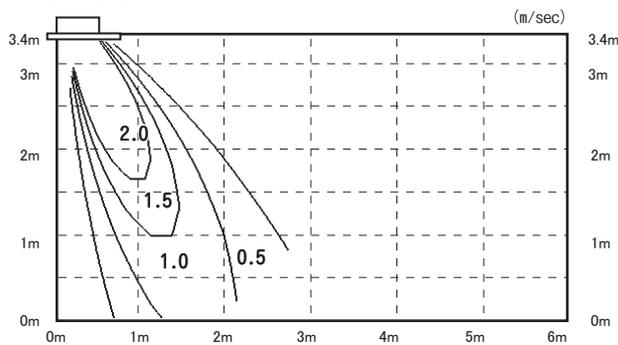
ルーバ位置



温度分布



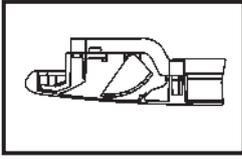
風速分布



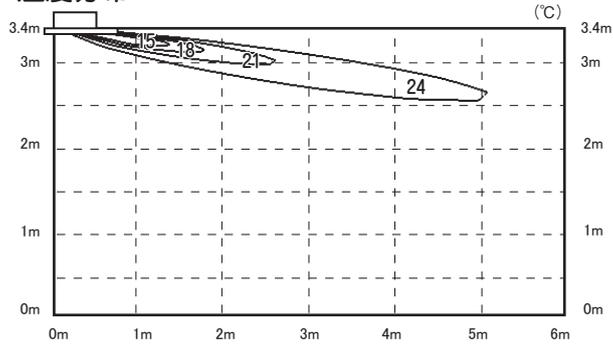
FDTSVXP634

(a) 冷房 風量：P急

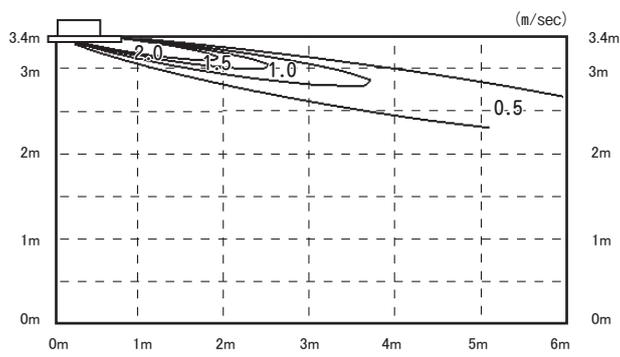
ルーバ位置



温度分布

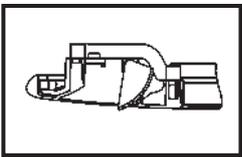


風速分布

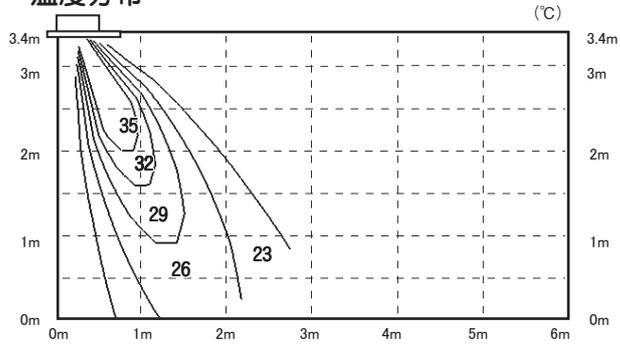


(b) 暖房 風量：P急

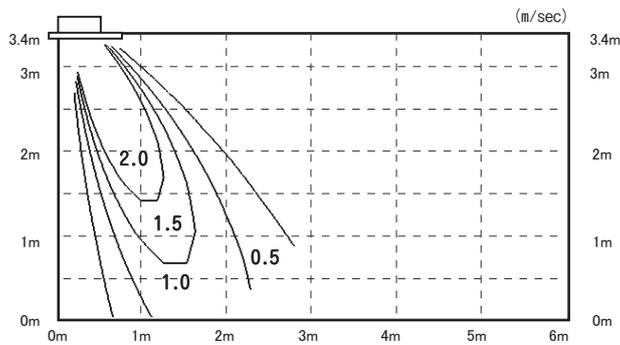
ルーバ位置



温度分布



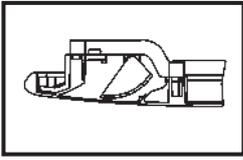
風速分布



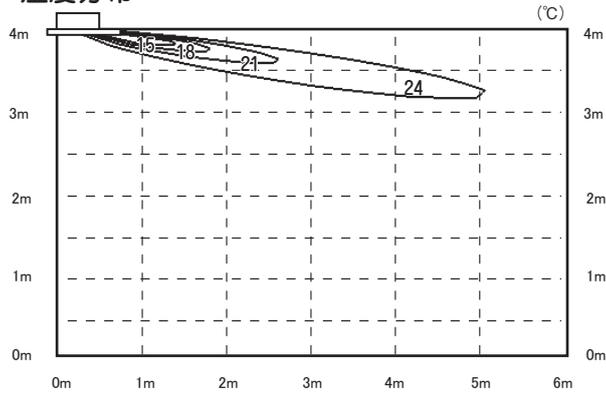
FDTSVXP714

(a) 冷房 風量：P急

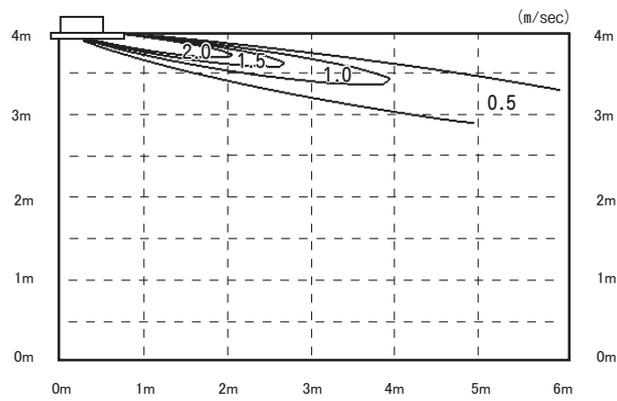
ルーバ位置



温度分布

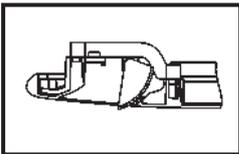


風速分布

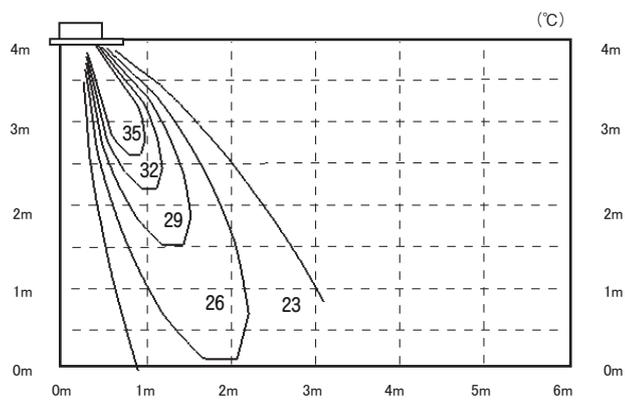


(b) 暖房 風量：P急

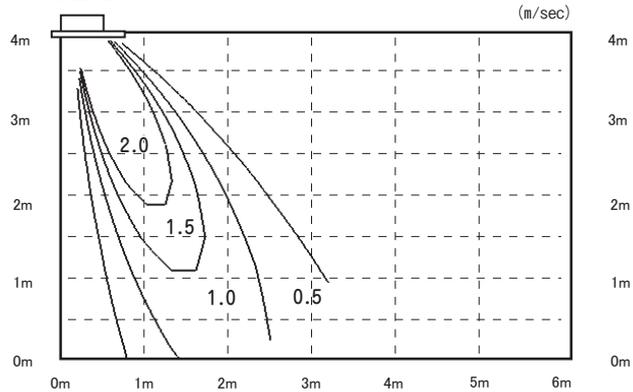
ルーバ位置



温度分布

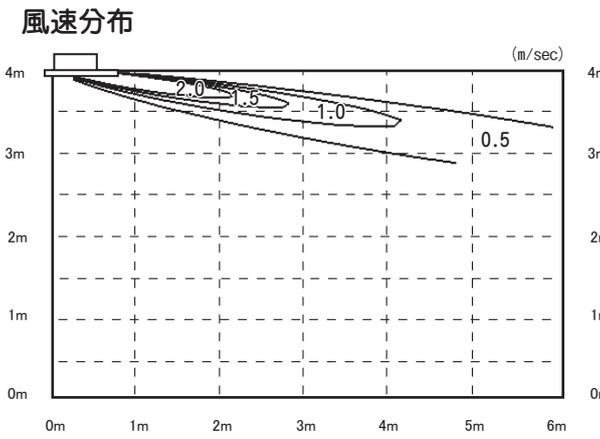
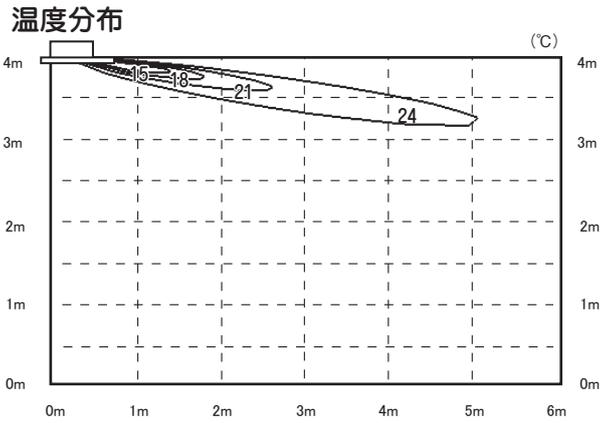
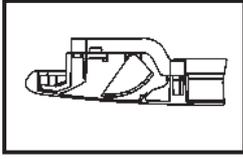


風速分布

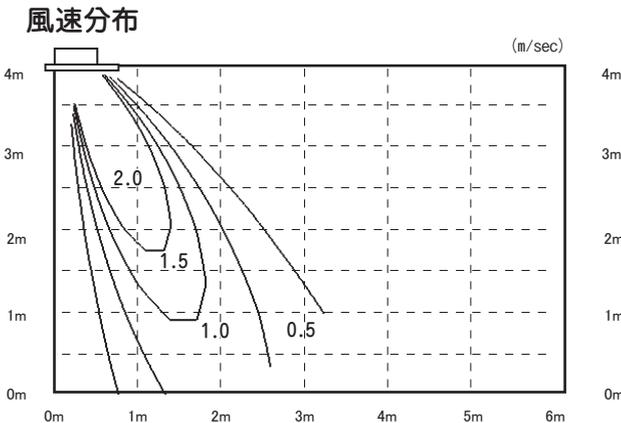
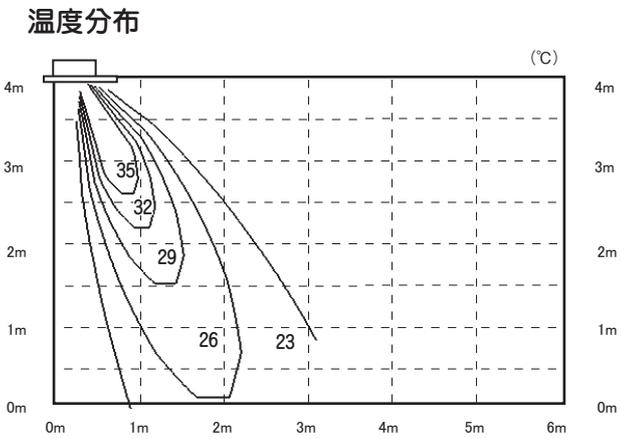
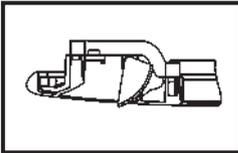


FDTSVXP804

(a) 冷房 風量：P急
ルーバ位置



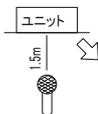
(b) 暖房 風量：P急
ルーバ位置



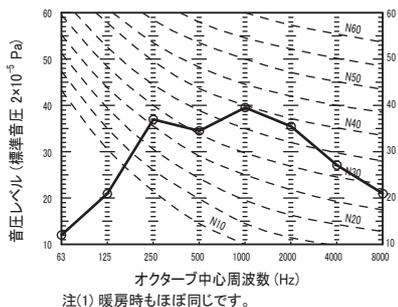
(6) 運 転 音

運転音は、JIS規格に準拠し、反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据え付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け表示値より大きくなるのが普通です。

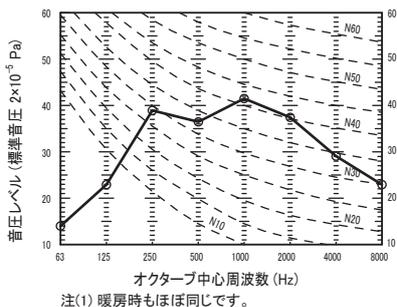
(測定条件:JIS-B8616・冷房 測定場所:無響室)
 (マイク位置:ユニット中央下方1.5m)



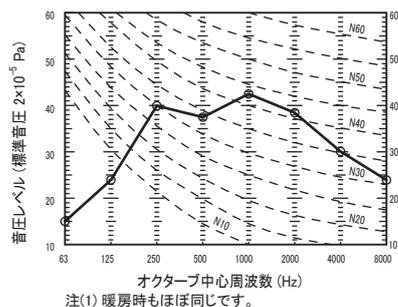
FDTSVXP404, 454



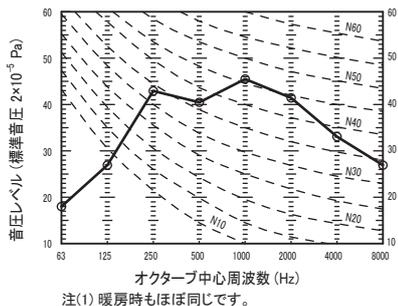
FDTSVXP504



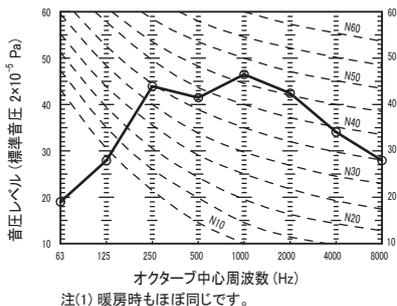
FDTSVXP564



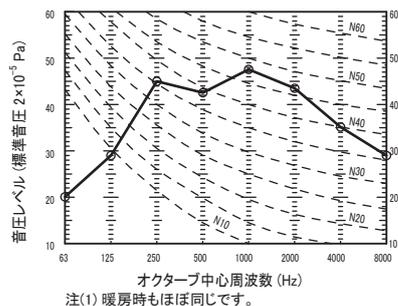
FDTSVXP634



FDTSVXP714

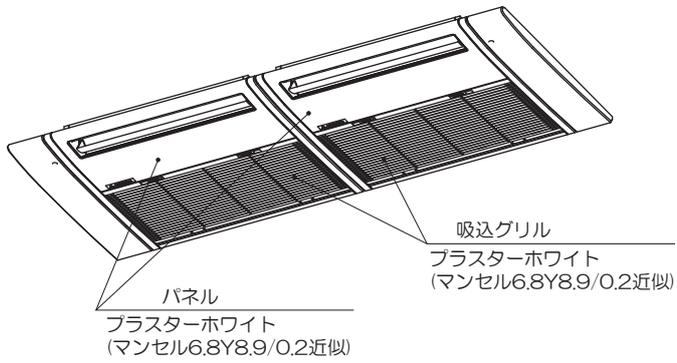


FDTSVXP804

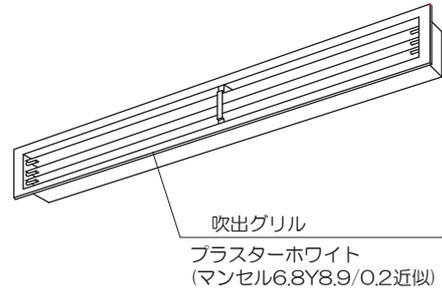


(7) 塗装色

(a) パネル



(b) 下がり天井用吹出グリル



(8) 電源・配線仕様

(a) 電源仕様（電気特性についてはそれぞれの形式の仕様をご覧ください。）

(i) セゾンインバータシリーズ

ヒータレス冷暖房機

■单相200V機

《標準仕様》

項目 (単位) 形式	電源容量 (KVA)	漏電しゃ断器 定格容量	開閉器		配線用しゃ断器 定格電流(A)	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
			開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
FDTSP404HK4 室内FDTSVXP404 室外FDCXP404HK	1.5	20A, 30mA, 0.1sec以下	30	20	20	φ2.0mm×2	22m	φ1.6mm×3	φ1.6mm	M5
FDTSP454HK4 室内FDTSVXP454 室外FDCXP454HK	1.7									
FDTSP504HK4 室内FDTSVXP504 室外FDCXP504HK	1.9									
FDTSP564HK4 室内FDTSVXP564 室外FDCXP564HK	2.3									
FDTSP634HK4 室内FDTSVXP634 室外FDCXP634HK	2.7									
FDTSP803HKG4 室内FDTSVXP804 室外FDCXP803HKG	3.5	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	5.5mm ² ×2	31m			

■三相200V機

《標準仕様》

項目 (単位) 形式	電源容量 (KVA)	漏電しゃ断器 定格容量	開閉器		配線用しゃ断器 定格電流	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
			開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
FDTSP404H4 室内FDTSVXP404 室外FDCXP404H	1.7	15A, 30mA, 0.1sec以下	15	15	15	φ1.6mm×3	21m	φ1.6mm×3	φ1.6mm	M5
FDTSP454H4 室内FDTSVXP454 室外FDCXP454H	2.0									
FDTSP504H4 室内FDTSVXP504 室外FDCXP504H	2.1									
FDTSP564H4 室内FDTSVXP564 室外FDCXP564H	2.5									
FDTSP634H4 室内FDTSVXP634 室外FDCXP634H	2.9									
FDTSP803HG4 室内FDTSVXP804 室外FDCXP803HG	3.8	20A, 30mA, 0.1sec以下	30	20	20	φ2.0mm×3	31m			

〔備考〕 共通

- (1) 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は、内線規程により配線太さを見直してください。
 (2) シングル機を複数台制御する時は、電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。

■单相200V機

《ツイン仕様》

形式	項目 (単位)	電源容量 (KVA)	漏電しゃ断器 定格容量	開閉器		配線用しゃ断器 定格電流	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
FDTSP803HKG4 室内:FDTSVXP404 室外:FDCXP803HKG		3.0	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	5.5mm ² ×2	31m	φ1.6mm×3	φ1.6mm	M5

■三相200V機

《ツイン仕様》

形式	項目 (単位)	電源容量 (KVA)	漏電しゃ断器 定格容量	開閉器		配線用しゃ断器 定格電流	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
FDTSP803HPG4 室内:FDTSVXP404 室外:FDCXP803HG		3.3	20A, 30mA, 0.1sec以下	30	20	20	φ2.0mm×3	31m	φ1.6mm×3	φ1.6mm	M5
FDTSP1123HPG4 室内:FDTSVXP564 室外:FDCXP1123HG		4.2	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	5.5mm ² ×3	49m			
FDTSP1403HPG4 室内:FDTSVXP714 室外:FDCXP1403HG		6.4						41m			
FDTSP1603HPG4 室内:FDTSVXP804 室外:FDCXP1603HG		8.5						30m			

■三相200V機

《トリプル仕様》

形式	項目 (単位)	電源容量 (KVA)	漏電しゃ断器 定格容量	開閉器		配線用しゃ断器 定格電流	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
FDTSP1603HTG4 室内:FDTSVXP504 室外:FDCXP1603HG		7.7	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	5.5mm ² ×3	30m	φ1.6mm×3	φ1.6mm	M5
FDTSP2243HTG4 室内:FDTSVXP804 室外:FDCXP2243HG		9.8	50A, 100mA, 0.1sec以下	60	50	50	8mm ² ×3	40m	φ1.6mm×3 (70mまで) 3.5mm ² ×3 (120mまで)	5.5mm ²	M6

〔備考〕 共通

- (1) 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は、内線規程により配線太さを見直してください。
 (2) シングル機を複数台制御する時は、電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。

(ii) ハイパーインバータシリーズ

ヒータレス冷暖房機

■单相200V機

《標準仕様》

項目 (単位) 形式	電源容量 (KVA)	漏電しゃ断器 定格容量	開閉器		配線用しゃ断器 定格電流	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
			開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
FDTSP404HK4 室内:FDTSVXP404 室外:FDCVP404HK	1.3	20A, 30mA 0.1sec以下	30	20	20	φ2.0mm×2	22m	φ1.6mm×3	φ1.6mm	M5
FDTSP454HK4 室内:FDTSVXP454 室外:FDCVP454HK	1.6									
FDTSP504HK4 室内:FDTSVXP504 室外:FDCVP504HK	1.7									
FDTSP564HK4 室内:FDTSVXP564 室外:FDCVP564HK	2.1									
FDTSP634HK4 室内:FDTSVXP634 室外:FDCVP634HK	2.4									
FDTSP804HK4 室内:FDTSVXP804 室外:FDCVP804HK	3.3	30A, 30mA 0.1sec以下	30	30	30	5.5mm ² ×2	31m			

■三相200V機

《標準仕様》

項目 (単位) 形式	電源容量 (KVA)	漏電しゃ断器 定格容量	開閉器		配線用しゃ断器 定格電流	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
			開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
FDTSP404H4 室内:FDTSVXP404 室外:FDCVP404H	1.5	15A, 30mA 0.1sec以下	15	15	15	φ1.6mm×3	21m	φ1.6mm×3	φ1.6mm	M5
FDTSP454H4 室内:FDTSVXP454 室外:FDCVP454H	1.8									
FDTSP504H4 室内:FDTSVXP504 室外:FDCVP504H	1.9									
FDTSP564H4 室内:FDTSVXP564 室外:FDCVP564H	2.3									
FDTSP634H4 室内:FDTSVXP634 室外:FDCVP634H	2.6									
FDTSP804H4 室内:FDTSVXP804 室外:FDCVP804H	3.5	20A, 30mA 0.1sec以下	30	20	20	φ2.0mm×3	31m			

【備考】共通

- (1) 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は、内線規程により配線太さを見直してください。
 (2) シングル機を複数台制御する時は、電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。

■单相200V機

《ツイン仕様》

項目 (単位) 形式	電源容量 (KVA)	漏電しゃ断器 定格容量	開閉器		配線用しゃ断器 定格電流	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
			開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
FDTSP804HKP4 室内:FDTSVXP404 室外:FDCVP804HK	2.8	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	5.5mm ² ×2	31m	φ1.6mm×3	φ1.6mm	M5

■三相200V機

《ツイン仕様》

項目 (単位) 形式	電源容量 (KVA)	漏電しゃ断器 定格容量	開閉器		配線用しゃ断器 定格電流	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
			開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
FDTSP804HP4 室内:FDTSVXP404 室外:FDCVP804H	2.8	20A, 30mA, 0.1sec以下	30	20	20	φ2.0mm×3	31m	φ1.6mm×3	φ1.6mm	M5
FDTSP1124HP4 室内:FDTSVXP564 室外:FDCVP1124H	3.7	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	5.5mm ² ×3	30m	φ1.6mm×3 (70mまで) 3.5mm ² ×3 (120mまで)		
FDTSP1404HP4 室内:FDTSVXP714 室外:FDCVP1404H	5.0									
FDTSP1604HP4 室内:FDTSVXP804 室外:FDCVP1604H	6.3									

■三相200V機

《トリプル仕様》

項目 (単位) 形式	電源容量 (KVA)	漏電しゃ断器 定格容量	開閉器		配線用しゃ断器 定格電流	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
			開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
FDTSP1604HT4 室内:FDTSVXP504 室外:FDCVP1604H	6.2	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	5.5mm ² ×3	30m	φ1.6mm×3 (70mまで) 3.5mm ² ×3 (120mまで)	φ1.6mm	M5
FDTSP2243HTG4 室内:FDTSVXP804 室外:FDCVP2243HG	9.6	50A, 100mA, 0.1sec以下	60	50	50	14mm ² ×3	54m		5.5mm ²	M6

〔備考〕共通

- (1) 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は、内線規程により配線太さを見直してください。
 (2) シングル機を複数台制御する時は、電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。

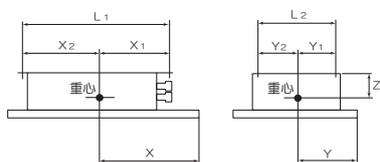
(9) 防振設計参考資料

(a) 耐震データ

形 式	製品外形寸法 ⁽¹⁾ 幅×奥行×高さ (mm)	⁽¹⁾ 製品質量 (kg)	重心位置 (mm) ⁽²⁾								
			幅方向				奥行方向				高さ
			X	X ₁	X ₂	L ₁	Y	Y ₁	Y ₂	L ₂	Z
FDTSVXP404	1460×650×255	33	655	520	670	1190	274.5	214	304	518	110
FDTSVXP454											
FDTSVXP504		34									
FDTSVXP564											
FDTSVXP634											
FDTSVXP714											
FDTSVXP804											

注(1) 上記は、標準仕様(直吹き)のパネル使用時を示します。

(2) L₁ (X₁, X₂), L₂ (Y₁, Y₂) 寸法は据付ボルトの位置を示します。



(b) 防振データ

形 式	項 目	送風機回転数 ⁽¹⁾ (min ⁻¹)
FDTSVXP404		995
FDTSVXP454		
FDTSVXP504		1140
FDTSVXP564		1170
FDTSVXP634		1278
FDTSVXP714		1345
FDTSVXP804		1412

注(1) P急運転時の数値を示します。

(10) 据付関連事項

PJC012D303

(a) 室内ユニットの据付

本説明書は、室内ユニットの据付方法を記載してあります。
 電気配線（室内）は、電気配線工事説明書をご覧ください。リモコンの取付方法は、リモコン付属の説明書をご覧ください。
 ワイヤレスキットの取付方法は、ワイヤレスキット付属の説明書をご覧ください。
 室外ユニットの据付方法、電気配線（室外）及び冷媒配管工事方法は、室外ユニットの付属の説明書をご覧ください。
 また、故障診断は、室内ユニットの結線銘板をご覧ください。
 本ユニットは必ずパネルを取付けてご使用ください。

安全上のご注意

- 据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、**△警告**、**△注意**、に区分していますが、誤った据付けをした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に**△警告**の欄にまとめて記載しています。しかし、**△注意**の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ここで使われる「図記号」の意味は右のとおりです。⊘ 絶対に行わない ⚠ 必ず指示に従い行う
- 据付工事完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、「安全上のご注意」や正しい使用方法・お手入れの仕方（エアフィルタの清掃、運転操作の仕方、温度調節の方法など）をお客様に説明してください。この据付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方に取扱説明書などをお渡しいただくよう依頼してください。

△警告

●据付けは、お買い上げの販売店又は専門業者に依頼する。 ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、ユニット落下によるケガの原因になります。	⚠
●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。 据付けに不備があると破裂・ケガの原因となり、また水漏れや感電・火災などの原因になります。	⚠
●小部屋に据付ける場合は万一冷媒が漏れても、限界濃度を超えない対策をする。(JRA GL-13) 限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据付ける。万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。	⚠
●設置工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。 当社指定の部品を使用しないと、ユニット落下、水漏れ、火災、感電などの原因になります。	⚠
●作業中に冷媒が漏れた場合は換気をする。 冷媒が火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。	⚠
●据付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。 強度が不足している場合は、ユニットの落下などにより、ケガの原因になります。	⚠
●台風などの強風、地震に備え、所定の据付工事を行う。 据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になります。	⚠
●エアコンの設置や移設の場合、冷凍サイクル内に指定冷媒（R410A）以外の空気などを入れない。 空気などが混入すると冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。	⊘
●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。 電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。	⚠
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。 接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。	⚠
●室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。 カバーの取付けが不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災、感電などの原因になります。	⚠
●据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する。 冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。	⚠
●配管、フレアナット、工具はR410A専用のものを使用する。 既存（R22）の部材を使用すると、機器の故障と同時に冷凍サイクルの破裂などの重大な事故の原因になります。	⚠
●フレアナットは、トルクレンチで指定の方法で締付ける。 フレアナットの締付け過ぎがあると、長期経過後フレアナットが割れ冷媒漏れの原因になります。	⚠
●ドレン配管はイオウ系ガス等有毒ガスの発生する排水溝に直接入れない。 室内に有毒ガスが侵入し、中毒や酸素欠乏になる恐れがあります。また、室内機を腐食させ、故障や冷媒漏れの原因になります。	⊘
●据付作業では圧縮機を運転する前に確実に冷媒配管を取付ける。 冷媒配管を取付けておらず、サービスバルブ開放状態で圧縮機を運転すると、空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。	⚠
●ポンプダウン作業では、サービスバルブを閉じた後配管を外す前に圧縮機を停止する。 圧縮機を運転したままサービスバルブ開放状態で冷媒配管をはずすと空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。	⚠
●オプション部品は、必ず当社指定の部品を使用する。また取り付けは専門業者に依頼する。 ご自分で取付けをされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。	⚠
●改修は絶対に行わない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。 修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。	⊘
●エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。 据付けに不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。	⚠
●室内ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ずOFFする。 点検・修理にあたって、電源ブレーカがONのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。	⚠
●パネルやガードを外した状態で運転しない。 機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。	⊘
●元電源を切った後に電気工事を行う。 感電、故障や動作不良の原因になります。	⚠

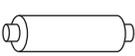
⚠注意

- アース（接地）を確実に行う。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電の原因になることがあります。 
- 漏電遮断器は必ず取り付け。
漏電遮断器が取り付けられていないと感電の原因になることがあります。 
- 正しい容量の全極遮断するブレーカ（漏電遮断器・手元開閉器（開閉器＋B種ヒューズ）・配線遮断器）を使用する。
不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。 
- 正しい容量のヒューズ以外は使用しない。
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。 
- 可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わない。
万一ガスがユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。 
- 腐食性ガス（亜硫酸ガスなど）、可燃性ガス（シンナー、ガソリンなど）の発生、滞留の可能性のある所、揮発性引火物を取扱う所での据付け、使用は行わない。
熱交の腐食、プラスチック部品の破損などの原因になることがあります。また可燃性ガスは発火の原因になることがあります。 
- 工事、点検、メンテナンス作業のための規定のスペースを確保してください。
スペースが不足する場合は、設置場所からの転落によるケガの原因になることがあります。 
- 洗濯室など、水の掛かる所では使用しない。
室内ユニットは水の浸入に対する保護はしておりません。水が掛かると感電、火災などの原因になることがあります。 
- 食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しない。
保存物の品質低下などの原因になることがあります。 
- 病院、通信事業所などの電磁波を発生する機器、高周波の発生する機器の近くでは据付け、使用しない。
インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤作動や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音など弊害の原因になることがあります。 
- 直射日光の当たる所にリモコンを設置しない。
リモコンの故障や変形の原因になることがあります。 
- 次の場所への据付けは避ける。
・可燃性ガスの漏れる恐れがある所
・硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリ・アンモニアなど、機器に影響する物質の発生する所
・油の飛沫や蒸気が多い所（調理場、機械工場など）
・高周波を発生する機械を使用する所
・海浜地区等塩分の多い所
性能を著しく低下させたり、部品が腐食、破損したりする原因になることがあります。
・煙突の煙がかかる所
・カーボン繊維や金属粉、パウダーなどが浮遊する所
・車両・船舶等移動するものへの設置
・化粧品、特殊なスプレーを頻繁に使用する所
・積雪の多い所
・標高1000m以上の所 
- 次の場所への室内機の据付けは避ける。（機種により異なる制限があるので、その指示に従うこと）。
・吸入口、吹出口に風の障害物がある所
・強度が不十分で振動が発生する所
・ワイヤレス機の場合、受光部に直接太陽光や強い光が当たらない所
・高周波に影響される機器のある所（TV およびラジオ等の近傍）
・ドレンの排水がとれない所
性能や機能等に影響をおよぼす原因になります。 
- エアコンの下部には、濡れて困るものは置かない。
湿度が80%以上の時や、ドレン排水が詰まった場合に、室内ユニットから露が滴し損害が生じることがあります。 
- 長期使用で傷んだままの据付け台を使用しない。
傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながり、ケガなどの原因になることがあります。 
- ユニット近くで溶接作業を行う場合は十分注意し、ユニット内へのスパッタの進入を防止する。
溶接作業時などに発生するスパッタがユニットにあたった場合、ドレンパンなどに損傷（ピンホール）をあたえ、水漏れなどの原因になることがあります。ユニット内へのスパッタの進入を防ぐため梱包状態のままとしておくか、覆いなどにより必ずカバーをしてください。 
- ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管する。
不確実な場合、屋内に浸水し、家財などを濡らす原因になることがあります。 
- GHP（ガスヒートポンプ）の場合、室外ユニットの排気ドレン管と室内ユニットの排水ドレン管は共用しない。
室内に有毒ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。 
- 冷媒配管工事終了後は窒素ガスによる気密試験を行い、漏れのないことを確認してください。
万一、狭い部屋に冷媒ガスが漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因となる場合があります。 
- ドレン配管は下り勾配（1/100以上）とし、途中山越えやトラップを作らない。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けない。
試運転時にドレン排水が確実に実行されていることを確認する。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保する。 
- 冷媒配管の断熱は結露しないように確実にを行う。
不完全な断熱施工を行うと配管など表面が結露して、露たれなどを発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になることがあります。 
- 室外ユニットは、小動物のすみかになるような場所に設置しない。
小動物が侵入して、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。
また、お客様に周辺をきれいに保つことをお願いしてください。 
- 製品の運搬は十分注意して行う。
20kg以上の製品は原則として2人以上で行ってください。PPバンドなど所定の位置以外をもって製品を動かさないで下さい。
素手でフィンなどに触れるとケガをしますので保護具をご使用ください。 
- 梱包材の処理は確実にを行う。
梱包材にクギなどの金属あるいは、木片などを使用していますので放置状態にしますとケガをすることがあります。 
- フィルタははずしたまま運転しない。
内部に油・ゴミなどが詰まり、故障の原因になることがあります。 
- 濡れた手でスイッチを操作しない。
感電の原因になることがあります。 
- 運転中の冷媒配管を素手で触れない。
運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状態により低温と高温になります。素手で触れると凍傷や、やけどになることがあります。 
- エアコンを水洗いしない。
感電の原因になることがあります。 
- 運転停止後、すぐに電源を切らない。
必ず5分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。 
- 電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。
火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。 

①据付のまえに

- 据付はこの据付け説明書に従って正しく行ってください。
- 次の項目を確認してください。
 - 機種・電源仕様
 - 配管・配線・小物部品
 - 付属品

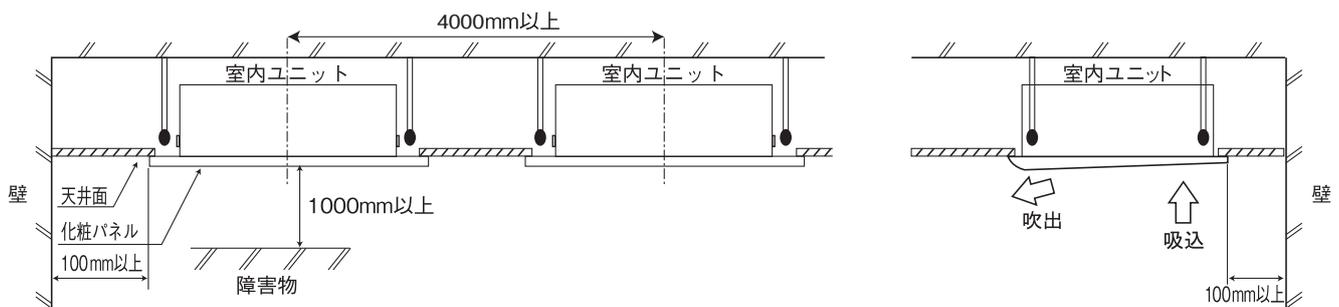
付属品

本体吊り込み用	冷媒配管用			ドレン配管用			
平座金 (M10)	パイプカバー (大)	パイプカバー (小)	バンド	パイプカバー (大)	パイプカバー (小)	ドレンホース	ホース クランプ
							
8個	1個	1個	4個	1個	1個	1個	1個
ユニット 吊下げ用	ガス管断熱用	液管断熱用	パイプカバー 固定用	ドレンソケット断熱用	ドレンソケット断熱用	ドレン配管 接続用	ドレンホース 取付用

②室内ユニットの据付場所の選定

- ①据付場所は、下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。
- ・冷風または温風が十分に行きわたる所。
据付高さが3mを超えると暖気が天井にこもりますので、サーキュレータの併設をご指導ください。
 - ・据付・サービス時の作業スペースが確保できる所。
 - ・ドレン排水が確実にできる所。ドレン勾配のとれる所。
 - ・吸込口、吹出口に風の障害のない所。火災報知器の誤作動しない所。ショートサーキットしない所。
 - ・侵入外気の影響のない所。
 - ・直射日光の当たらない所。
 - ・周囲の露点温度が28℃以下、相対湿度80%以下の所。
- 〔本ユニットはJIS露付条件にて試験を行い、不具合のないことを確認しておりますが、ユニット周囲が上記条件以上の高湿度・霧囲気の状態では水滴が落下する恐れがあります。そのような条件下で使用する可能性がある場合は、ユニット本体の全ておよび配管、ドレン配管にさらに10～20mmの断熱材を取付けてください。〕
- ・テレビ、ラジオより1m以上離れた所。(映像の乱れや雑音が生じることがあります。)
 - ・ユニット真下に食品・食器やパソコン・サーバー、医療機器など濡れて困るものを置かない所。
 - ・調理器具が発する熱の影響を受けない所。
 - ・フライヤーの真上など油・粉・蒸気などを直接吸込まない所。
 - ・蛍光灯、白熱灯よりできるだけ離れた所。
- ワイヤレス機種の場合、ワイヤレスリモコンでの正常な操作ができなくなることがあります。
- ②据付けようとする場所がユニット重量に耐えられるかどうかを検討し、危険と思われましたら板、桁等で補強して据付作業を行ってください。強度不足の場合は、ユニット落下によるケガの原因になります。
- ③ワイヤレス機種を2台以上据付ける場合は、混信による誤動作を防止するためユニット間を6m以上離してください。
- ④室内ユニットを隣接して設置する場合は、ユニット間距離を4m以上離して設置してください。

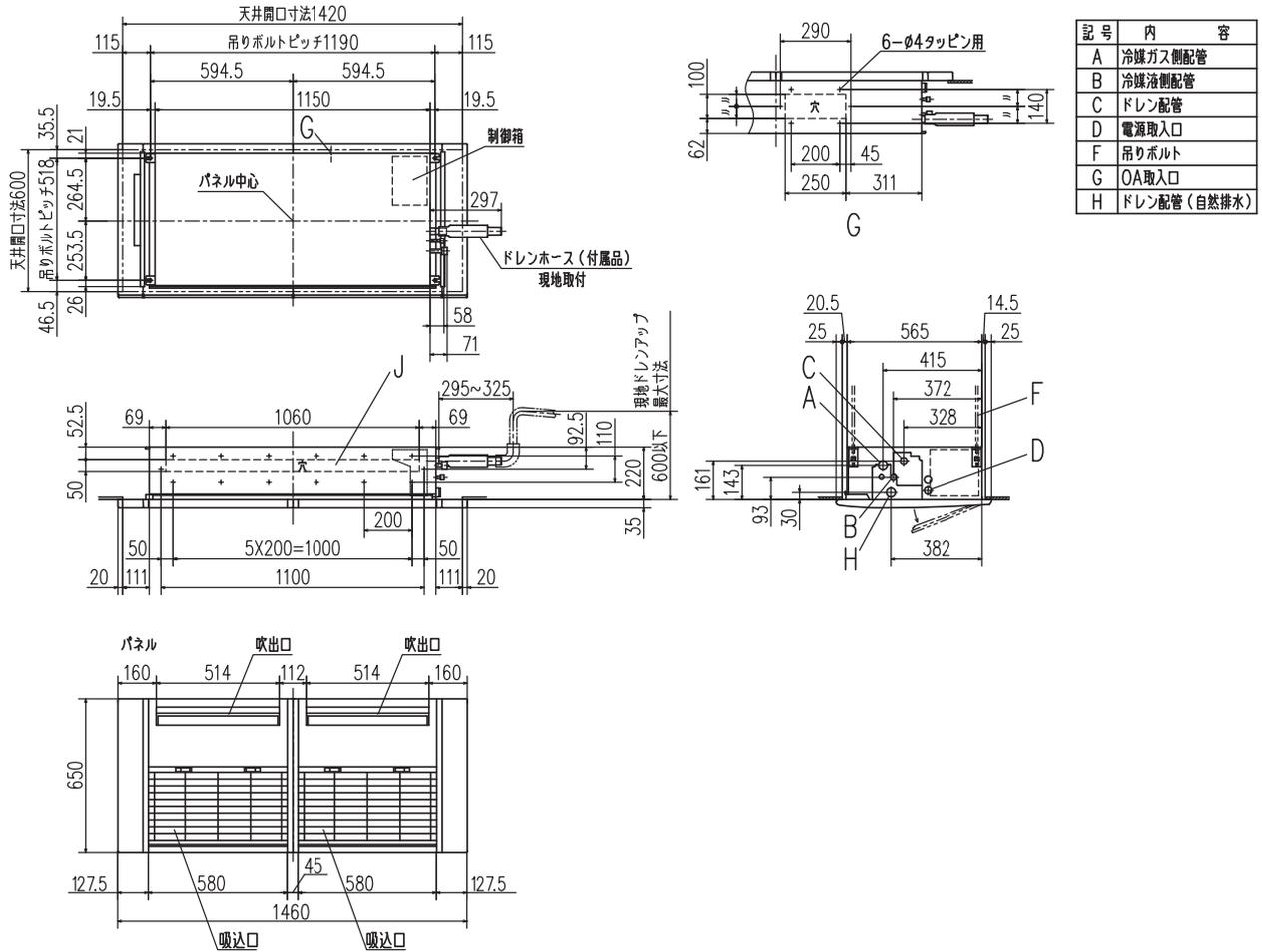
室内ユニット据付スペース



③据付け前の準備

- 吊りボルト長さが長くなる場合は耐震補強を実施してください。
 - システム天井（グリッド天井・ライン天井）の場合
 - 吊り長さ（吊りボルト長さ）500mm以上又は天井ふところ高さ700mm以上の場合に耐震ブレースを設置してください。
 - 強度が十分にある天井面に設置され直接スラブから吊り下げる場合
 - 吊り長さ（吊りボルト長さ）1000mm以上の場合に耐震ブレースを設置してください。
 - 吊りボルト・ナット・バネ座金（M10）を4組現地にて手配してください。

天井開口穴・吊りボルトピッチ・各配管の位置



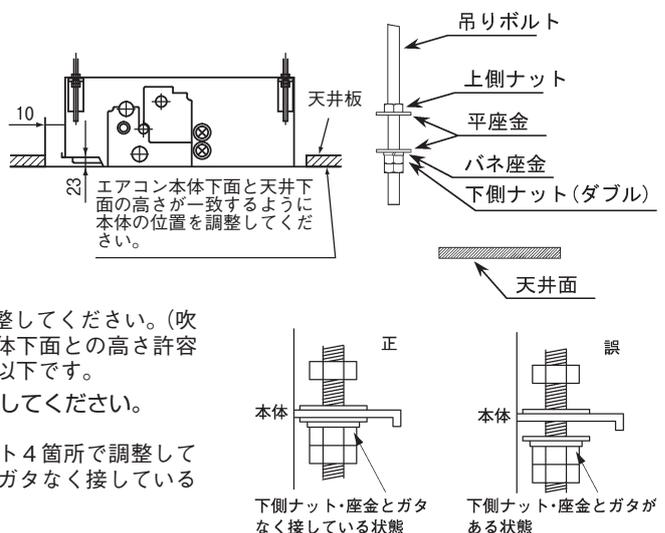
④室内ユニットの据付け

作業手順

1. 天井に1420×600の穴をあけてください。
2. 吊りボルト位置（1190×518）を決めてください。
3. 吊りボルトは、4本使用し、1本当り500Nの引抜き荷重に耐えられるよう固定してください。
4. 吊りボルト長さは、天井面より165mm程度上としてください。吊りボルトの下側ナット4箇所は天井面から217mm程度に仮止めし、上側ナット4箇所はユニット吊り込み及び高さ調整時に支障ないよう、下側ナットから十分距離をとった位置に仮止めし、ユニット本体を吊り込んで下さい。
5. ユニット下面と天井面が一致するようにユニット高さを調整してください。（吹出口部分は、天井裏に入ります。）天井下面とエアコン本体下面との高さ許容差は、天井下面に対し、エアコン本体下面が上方に5mm以下です。

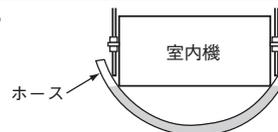
注意 エアコン本体が天井下面より下方にならないよう設置してください。

高さ調整は、上側ナット4箇所を緩めた状態で、下側ナット4箇所を調整してください。ユニット吊り金具4箇所が下側ナット・座金にガタなく接していることを確認してください。



④ ユニット据付のつづき

6. ユニット本体の水平度を確認してください。水平度は、水準器または透明ホースに水を入れたものを使用して確認してください。(ユニット両端での高さ許容差は3mm以内)
7. 高さ調整・水平度調整後、上側ナット4箇所を締め付けてユニットを固定してください。



ユニット据付時のお願い

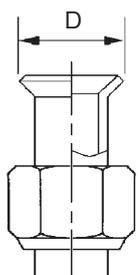
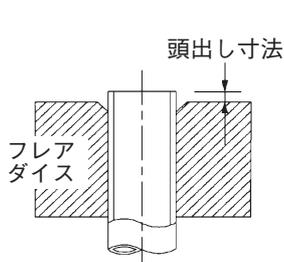
- 上側ナットで高さ調整を行わないでください。ユニット本体に無理な力がかかり変形し、パネルが組付けできなかつたり、ファン干渉音が発生するおそれがあります。
- ユニットは必ず水平に据付け、ユニット下面と天井面の高さを正しく設置してください。据付けに不備があると風漏れ、結露・水漏れ、騒音の原因になります。
- 化粧パネルと天井面、および化粧パネルとユニットとの接触部は確実に密着させてください。隙間があると風漏れ、結露・水漏れの原因になります。
- 化粧パネルをしばらくの間取付けられない場合、またはユニットを据付け後に天井材を貼る場合は、ユニット内へほこりを入れない様注意してください。

⑤ 冷媒配管

冷媒配管時の注意事項

- 冷媒配管は、新規配管をご使用ください。フレアナットは、製品付属のもの又は JIS B 8607 2種適合品をご使用ください。既設配管再利用の可否及び洗浄方法については、室外ユニットの説明書又はカタログ・技術資料で確認すること。

- 1) 再利用する場合、フレアナットは流用せずユニットに付属のもの又は JIS B 8607 2種適合品を使用すること。
- 2) 再利用する場合、部分的に交換した新しい配管に、R410A 用のフレア加工をしてください。

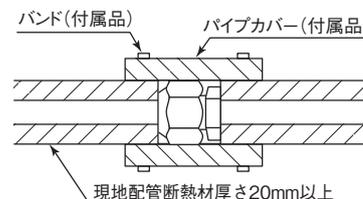


配管径 d mm	配管の 最小肉厚 mm	フレア加工 頭出し寸法 mm		フレア外径 D mm	フレアナット 締付けトルク N-m
		R410A 用	従来ツール		
6.35	0.8	0 ~ 0.5	0.7 ~ 1.3	8.9 ~ 9.1	14 ~ 18
9.52	0.8			12.8 ~ 13.2	32 ~ 42
12.7	0.8			16.2 ~ 16.6	49 ~ 61
15.88	1			19.3 ~ 19.7	68 ~ 72
19.05	1.2			23.6 ~ 24.0	100 ~ 120

- 冷媒配管は、リン脱酸銅合金継目無銅管 (C1220T、JIS H 3300) をご使用ください。また管の内外面は美麗であり、使用上有害な硫黄、酸化物、ゴミ、切粉等 (コンタミ) の付着がないことを確認してください。冷媒配管の内部にコンタミの付着があると冷凍機油劣化などの原因になります。
- R410A以外の冷媒は使用しないでください。R410A以外 (R22など) の冷媒を使用すると、冷凍機油劣化などの原因になります。また空気などが混入すると、異常高圧になり、破裂などの原因になります。
- 据付けに使用する配管は屋内に保管し、両端ともろう付けする直前までシールしてください。冷媒回路内に埃、ゴミ、水分が混入すると、油の劣化・圧縮機の故障の原因になります。
- 工具はR410A専用ツールを使用してください。

作業手順

1. 室内ユニットのフレアナット及びキャップを取外す。
※ユニットの配管端部のフレアナットは、必ずスパナで2丁掛けて外してください。(このときガスが出る場合がありますが、異常ではありません。)
- フレアナット飛びに注意してください。(内部に圧力がかかっている場合があります。)
2. 液管・ガス管をフレア加工し、冷媒配管を接続する。
※配管の曲げは4D以上の大きな半径で行い、曲げなおしを行わないでください。
また配管をねじったり、2/3D以下につぶしたりしないでください。
※フレア接続は、以下のように行ってください。
・ユニットの配管端部のフレアナットは、必ずスパナで2丁掛けて外してください。
・フレアナット接続時は、フレア中心を合わせ、最初手回しで3~4回転ねじ込み、2丁スパナ掛けで右表の締付力で締めてください。
3. 室内ユニットのフレア部は、ガス漏れチェック後、付属の継手用断熱材をかぶせ、両端を付属のバンドでしっかりと締付けてください。
● ガス側配管、液側配管とも断熱は完全に行ってください。
※配管は断熱しないと結露し水漏れします。
4. 冷媒は室外ユニットに充填されています。
室内および接続配管分の冷媒追加量については室外ユニットに付属の説明書をご覧ください。



注意
同一締付けトルクでも、ユニオンのねじ部に冷凍機油を塗布した場合は、ねじ部摺動摩擦力が下がることにより、軸方向分力が増加してフレアの応力腐食割れの原因となることがあるため、ユニオンねじ部、又はフレア外面への冷凍機油塗布は推奨しない。冷凍機油を塗布する場合は、フレア内面へのみとすること。

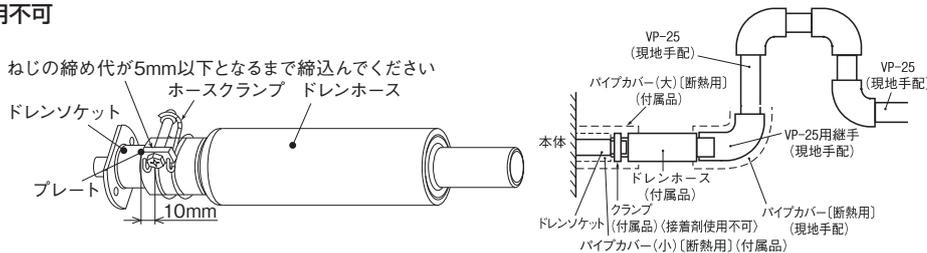
⑥ ドレン配管のつづき

ドレン配管時の注意事項

- ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管してください。
不確実な場合、屋内に浸水し、家財等を濡らす原因になることがあります。
- ドレン配管は、イオウ系ガスなど有害ガス及び可燃性ガスが発生する排水溝には、入れないでください。
室内に有害ガス及び可燃性ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。また熱交換器の腐食、異臭の原因になります。
- 接続部から水漏れのないように確実に施工してください。
- 水漏れが起らないように、断熱工事を確実に行ってください。
- 施工後、ドレンが排水されていることを、ユニットドレン口及びドレン配管最終出口部で確認してください。
- ドレン配管は、下り勾配（1/100以上）とし、途中山越えやトラップを作らないでください。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けないでください。
試運転時にドレン排水が確実にに行われていることを確認してください。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保してください。

作業手順

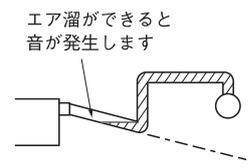
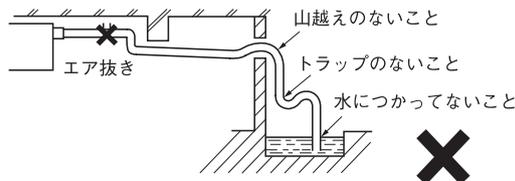
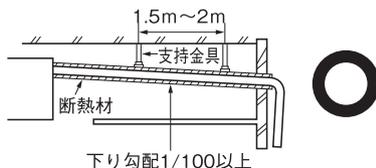
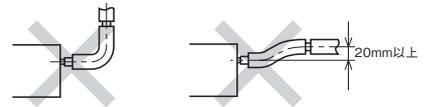
1. 付属のドレンホース（軟質塩ビ端）はソケット段差部まで確実に挿入してください。ホースクランプは、ホース先端部から10mm程度のところに取り付け、ねじの締め代が5mm以下となるまで締込んでください。
●接着剤使用不可



2. ドレンホース（硬質塩ビ端）に、VP-25用継手（現地手配）を接着・接続し、この継手に、VP-25（現地手配）を接着・接続してください。

※ドレン管は、市販の硬質塩ビパイプ一般管VP-25を使用してください。

- 接着剤は付属のドレンホース内部に流れ込まないようにしてください。
乾燥後、フレキシ部に力が加わった場合、フレキシ部が破損することがあります。
 - ドレンホースは、ユニットあるいはドレン配管の据付時の微小なズレを吸収するためのものです。故意に曲げたり、引っ張って使用された場合は、破損し、水漏れに至ることがあります。
3. ドレン配管は下り勾配（1/100以上）とし、途中山越えやトラップを作らないように施工してください。
●ドレン配管を接続する場合にユニット側の配管に力が加えないように注意して行い、できる限りユニット近傍で配管を固定してください。
●エア抜きは絶対に設けないでください。

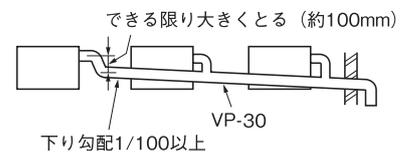


- 複数台のドレン配管の場合、本体ドレン出口より約100mm下に集合配管がくるようにしてください。また集合配管はVP-30以上を使用してください。

4. ドレン配管の断熱施工を行ってください。

●結露が発生し、水漏れをおこすおそれがありますので、ドレンソケット部および室内にある硬質塩ビパイプは確実に断熱してください。

※ドレンソケット部は、排水テスト実施後、付属のパイプカバー（小）をドレンソケット部に装着した後、付属のパイプカバー（大）にてパイプカバー（小）、クランプおよびドレンホースの一部を覆い、テープにより隙間のないように巻いてください。

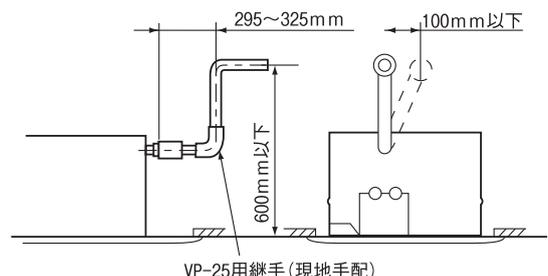


ドレンアップする場合

- ドレン配管の出口高さは、天井面より600mmまで高くすることができます。天井内に障害物などがある場合、エルボ等を用いて施工してください。この場合、ドレン配管を立ち上げるまでの距離が長いと、運転停止時におけるドレン逆流量が多くなり、オーバーフローのおそれがありますので、右図寸法内で処理願います。

ドレン排水テスト

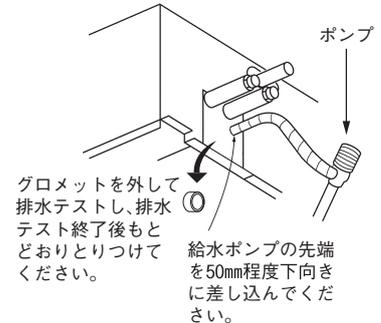
- ドレン配管工事後の完了後に、排水が確実にに行われていることを、接続部およびユニットのドレンパン部から水漏れのないことを確認してください。このとき、ドレンポンプのモータ音に異常がないことも確認してください。
- 暖房期の据付の際にも必ず実施してください。
- 新築の場合には天井を張る前に実施してください。



⑥ ドレン配管のつづき

作業手順

1. 配管貫通部カバーのグロメットを外し、給水ポンプなどを使用してドレンポンプなどの電気部品に水をかけないように、本体ドレンパンの中へ約1000cc注入してください。
2. ドレン排水が確実に行われること、ドレン配管接続部から水漏れのないことを確認してください。
ドレンポンプの回転音を確認しながら排水するかどうかをテストしてください。
ドレン排水の確認は、ドレンソケット部（透明）より確認できます。
3. 排水テスト後は、ドレンプラグを外して水抜きを行ってください。
水抜き確認後は、ドレンプラグを元通りにはめ込んでください。
4. 排水テスト後は、必ずグロメットを元通りはめこんでください。
5. 排水テスト後は、ドレン配管の断熱を本体部まで完全に行ってください。



ドレンポンプ運転方法

○電気配線工事が完了している場合

ドレンポンプの運転がリモコン（ワイヤード）操作により可能です。

運転操作方法は、電気配線工事説明書の「ドレンポンプ運転操作」をご覧ください。

○電気配線工事が完了していない場合

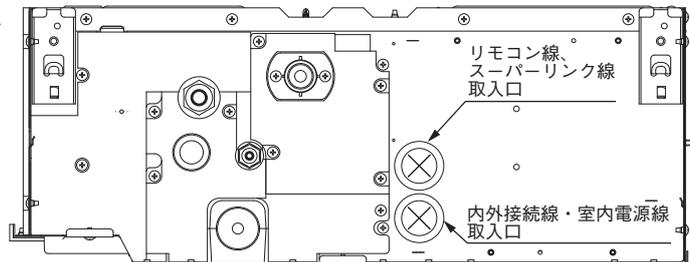
室内ユニット基板上的のSW7-1をONにし、かつ、基板上的のコネクタCNBを抜いた後、電源ON（端子台①、②へAC200V）すると、ドレンポンプのみ連続運転します。

ドレン排水確認後は、必ずSW7-1を元の状態（OFF）に戻し、かつ、基板上的のコネクタCNBを差し込んでください。

⑦ 電気配線取出し位置および電気配線接続

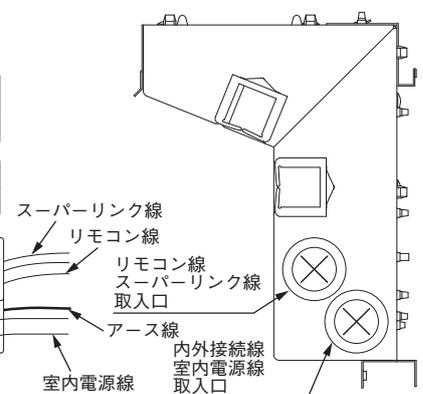
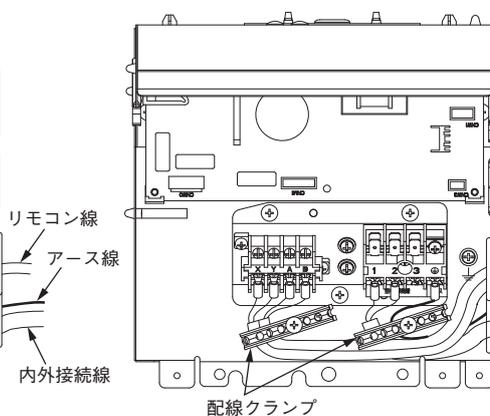
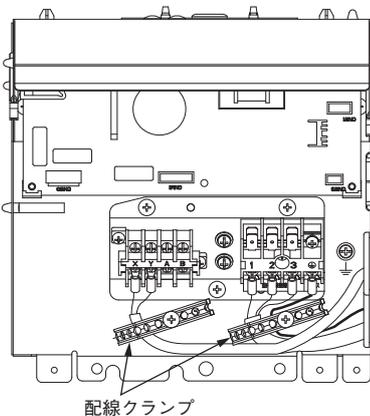
- 電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」及び電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定してください。
- 電源線と信号線は同一経路を通さないようにしてください。誤動作や故障の原因になることがあります。
- D種接地工事を必ず行ってください。
- 電気配線工事の詳細は、付属の電気配線工事説明書をご覧ください。

1. 電装箱の蓋（ねじ2本）を取り外してください。
2. 各配線をユニットの内に入れてください。
3. 配線を端子台に確実に接続してください。
4. 各配線を配線クランプで固定してください。
5. 電装箱の蓋を元通りねじ2本で取りつけてください。



シングル機の配線接続

マルチ機の配線接続



⑧ パネルの取付

- パネルは、電気配線工事完了後に、ユニット本体に取付けてください。
- パネルの取付方法は、63,67ページをご覧ください。

⑨ ユニット据付工事完了後のチェック項目

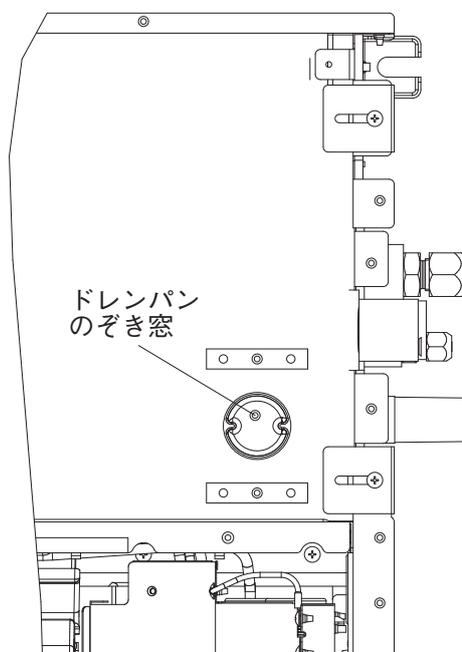
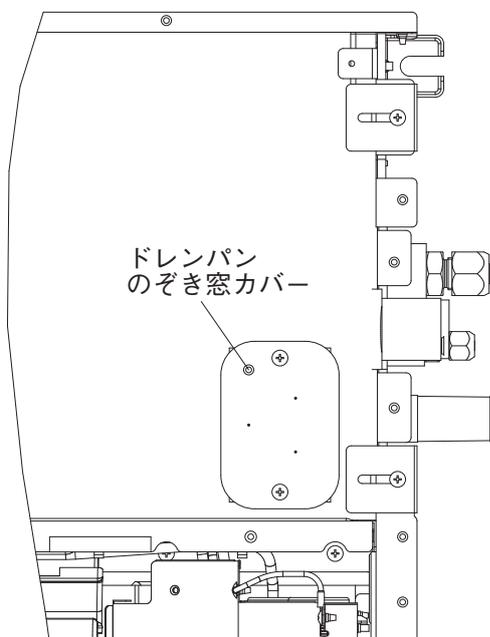
- ユニット・パネル据付工事、電気配線工事完了後、下記項目についてチェック願います。

チェック項目	不良だと…	チェック欄
室内外ユニットの取付けはしっかりしていますか。	落下、振動、騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない	
断熱は完全に行いましたか。	水漏れ	
ドレンはスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は本体の銘板と同じですか。	運転不能・焼損	
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
電線の太さは仕様どおりですか。	運転不能・焼損	
室内外ユニットの吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない	

⑩ ドレンパン汚れ確認 (メンテナンス)

ドレンパン汚れ確認方法

- ドレンパンを取外さずに、ドレンポンプ吸込口部のドレンパン汚れが確認できます。
1. パネルを取外してください。
 2. ドレンパンののぞき窓カバーを取外してください。
 3. のぞき窓からドレンパンの汚れを確認してください。
汚れが多い場合は、ドレンパンを取外しドレンパンを清掃してください。
 4. 汚れ確認後、のぞき窓カバーを確実に装着してください。装着が不完全な場合結露・水漏れの原因となります。



(b) 電気配線工事

電気配線工事は電気設備技術基準及び内線規程に従い、電力会社の認定工事店で行ってください。

安全上のご注意

- 作業前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく作業してください。

安全のため必ずお守りください。

- 誤った作業、行為をしたときに生じる危害や損害を「**△警告**」と「**△注意**」に区分し、お守りいただく内容を「**図記号**」を使用し説明していますので、必ずお守りください。
- 「**△警告**」「**△注意**」の意味

△警告	守らないと、死亡または重大な障害にいたる危険性がある事項について説明しています。
△注意	守らないと、傷害や物的損害ある事項について説明しています。

- ここで使われる“**図記号**”の意味は右のとおりです。  絶対に行わない  必ず指示に従い行う
- 下記のことを必ず守ってください。守らないときは、感電による火災、感電又は過熱、ショートによる火災のおそれがあります。

△警告

- 電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。 
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。 
- 室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。
カバーの取付けが不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災や感電の原因になります。 
- 別売品は、必ず当社指定の部品を使用する。また、取付けは専門業者に依頼する。
ご自分で取付けをされ、不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。 
- 改修は絶対に行わない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。
修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。 
- エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。
据付けに不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。 
- 室内ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ずOFFする。
点検・修理にあたって、電源ブレーカがONのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。 
- 元電源を切った後に電気工事をする。
感電、故障や動作不良の原因になります。 

△注意

- アース（接地）を確実に行う。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。 
- 電源には必ず漏電遮断器（高調波対応品）を取付ける。
漏電遮断器が取付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。 
- 正しい容量の全極遮断するブレーカ（漏電遮断器・手元開閉器（開閉器＋B種ヒューズ）・配線遮断器）を使用する。
不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。 
- 正しい容量のヒューズ以外は使用しない。
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。 
- 電源配線は、電流容量に合った規格品の配線を使用する。
漏電や発熱・火災などの原因になることがあります。 
- 室内外接続用端子台および電源用端子台に単線とより線を併用しない。
また、異なったサイズの単線またはより線を併用しない。
端子台のねじゆるみや接触不良が生じ、発煙・発火の原因になることがあります。 
- 運転停止後、すぐに電源を切らない。
必ず5分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。 
- 電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。
火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。 

制御の切換

- 室内ユニットの制御内容を下記方法にて切換可能です。（は工場出荷時の設定）

スイッチNo.	制御内容	
SW2	室内アドレス(0-Fh)	
SW5-1	親/子切換(プル-ラール/子機設定)	
SW5-2		
SW6-1~4	機種容量	
SW7-1	ON	運転チェック・ドレンポンプ試運転
	OFF	通常運転

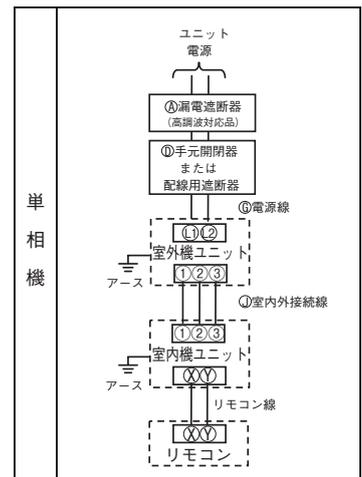
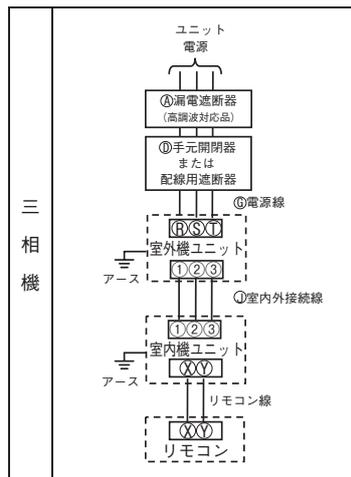
●シングル機の場合

①電源・室内外配線の接続

- 電気工事は電力会社の認定工事店で行ってください。本配線仕様は、下記に基づいて決定しています。
 - ①配線は銅線以外のものを使用しないでください。
 - ②電源は、室外ユニットへ接続してください。
- 配線の接続はねじの緩みのないように確実に行ってください。
- 電源は工事が完了するまで入れないでください。
- 専用の分岐回路を用い、他の機器と併用しないでください。併用した場合、電源ブレーカ落ちによる2次災害が生じる恐れがあります。
- 室内外接続線は必ず3心ケーブルを使用してください。詳細は室外ユニットに付属の据付説明書を参照ください。
- D種接地工事を必ず行ってください。
- 室内外接続線は途中接続しないでください。途中接続した場所に水が浸入すると、対地間絶縁不良や途中接続部の接触不良をまねき、通信異常の原因となります。(万一、途中接続する場合には、絶対に水が浸入しないような処置を行ってください。)
- 天井裏内の配線(電源・リモコン・室内外接続線)はネズミ等により、かじられ切断することもありますので、なるべく鉄管等の保護管内に通してください。
- ユニットの外部では、リモコン線と電源線が直接接触しないように施工してください。
- リモコン用端子台には、200V電源を絶対に接続しないでください。故障の原因となります。
- ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続
 - ①ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続は、制御箱内の電源側端子台、リモコン側端子台に接続してください。室内外接続線①②③は極性がありますので、必ず番号を合わせて接続してください。また、アース線は、電源側端子台アース端子に接続してください。
 - ②電源には必ず漏電遮断器を取付けてください。漏電遮断器は、インバータ回路用遮断器(三菱電機製NVCシリーズまたは、その同等品)を選定してください。
 - ③漏電遮断器が地絡保護専用の場合には、漏電遮断器と直列に手元開閉器(開閉器+B種ヒューズ)または、配線用遮断器が必要となります。
 - ④手元開閉器はユニットの近傍に設置ください。

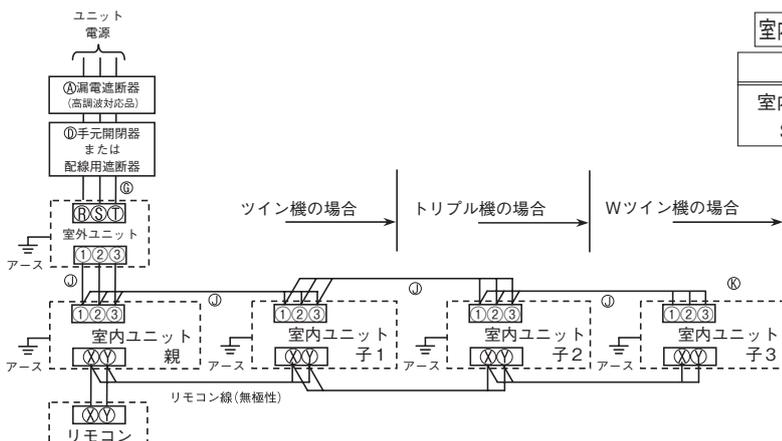
シングル機の結線

- ①電源の取り方は下表の接続パターンから選定し、行ってください。室内電源取り及び室内外別電源取りは原則できません。



ツイン・トリプル・Wツイン機の結線

- ①親・子室内ユニット間は端子台①②③及びⓧⓎの同一番号間を接続してください。
- ②室内基板上的ロータリスイッチSW2により、同一冷媒系統すべての室内ユニットを同一アドレスに設定してください。
- ③子室内ユニットは、室内基板上的アドレススイッチSW5-1、SW5-2により、子1～子3に設定してください。
- ④電源投入後、リモコンの「エアコンN」ボタンを押すと室内ユニットアドレスが表示されますので、▲▼ボタンで接続されている室内ユニットアドレスがリモコンに表示されることを、必ず確認してください。



室内ユニットの親・子設定方法 (工場出荷時「親」設定)

室内ユニット	親	子1	子2	子3
室内基板	SW5-1	OFF	OFF	ON
SW	SW5-2	OFF	ON	OFF
		ON	OFF	ON

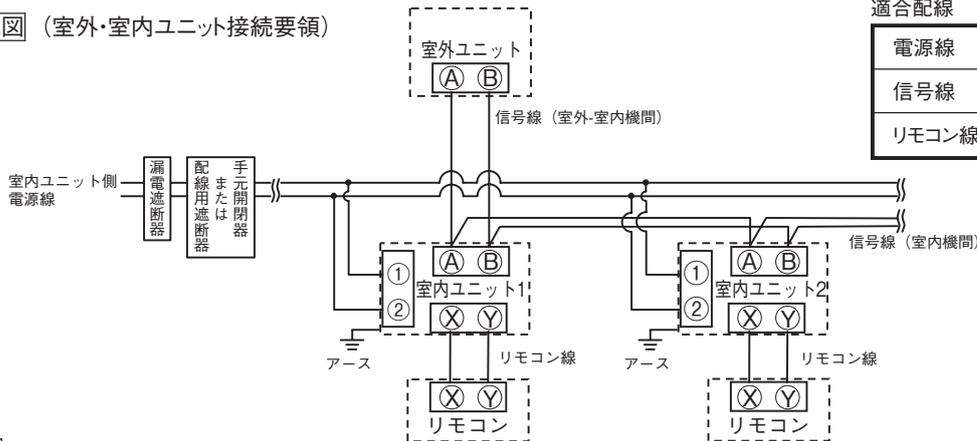
●マルチ機の場合

①電源・室内外配線の接続

- 機器毎に設定された過電流及び漏電遮断器（感度電流30mA）を設置してください。
- 専用の分岐回路を用い、他の機器と併用しないでください。併用した場合、電源ブレーカ落ちによる2次災害が生じる恐れがあります。
- D種接地工事を必ず行ってください。
- 室内ユニットに接続する電源線は3.5mm²まで使用可能です。5.5mm²以上の配線を使用する場合は、専用のプルボックスを使用し、室内ユニットへ分岐してください。
- ユニットの外部では、リモコン線と電源線が直接接触しないように施工してください。
- 天井裏内の配線（電源・リモコン・室内外接続線）はネズミ等により、かじられ切断することもありますので、なるべく鉄管等の保護管内に通してください。
- 信号側端子台に200V電源を絶対に接続しないでください。故障の原因となります。
- 信号線を途中接続する場合には、絶対に水が浸入しないような処置を行ってください。
- 配線の接続はねじの緩みのないように確実に行ってください。
- 電源は工事が完了するまで入れないでください。
- 電気工事は電力会社の認定工事店で行ってください。本配線仕様は、下記に基づいて決定しています。
 - ①配線は銅線以外のものを使用しないでください。
 - ②電源は、室外ユニット・室内ユニット各々別電源としてください。
 - ③電気ヒータ（別売品）は含んでおりません。

注：電気ヒータを組込む場合は、電源仕様・配線仕様および配線本数が異なりますので、ご注意ください。
 - ④同一系統内の室内ユニット電源は、必ず全て同時ON、同時OFFになるようにしてください。
 - ⑤信号線と電源線の接続を間違えますと全ての基板が焼損してしまいますので、ご注意ください。
- ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続
 - ①ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続は、制御箱の蓋を外し、電源側端子台、信号側端子台に番号を合わせて接続してください。また、アース線は、電源側端子台アース端子に接続してください。
 - ②電源には必ず漏電遮断器を取付けてください。漏電遮断器は、インバータ回路用遮断器（三菱電機製NVCシリーズまたは、その同等品）を選定してください。
 - ③漏電遮断器が地絡保護専用の場合には、漏電遮断器と直列に手元開閉器（開閉器+B種ヒューズ）または、配線用遮断器が必要となります。
 - ④手元開閉器はユニットの近傍に設置ください。

配線系統図（室外・室内ユニット接続要領）



電源仕様

①室内機電源仕様(②~④以外の機種)								
機種容量	漏電遮断器定格	開閉器容量	ヒューズ	電源線太さ	配線こう長	信号線	リモコン線	アース線
22-36形	15A 30mA 0.1sec	30A	15A	2.0mm ² ×2	298m	0.75~1.25mm ² ×2	0.3mm ² ×2心	2.0mm ²
45-56形					275m			
71-90形					179m			
112-280形					123m			
②高静圧ダクト、給気処理ユニット、加湿器付外気処理ユニット								
45-90形	15A 30mA 0.1sec	30A	15A	2.0mm ² ×2	149m	0.75~1.25mm ² ×2	0.3mm ² ×2心	2.0mm ²
112,140形					85m			
224,280形					28m			
③床置形システムパッケージ								
112形	15A 30mA 0.1sec	30A	15A	2.0mm ² ×2	51m	0.75~1.25mm ² ×2	0.3mm ² ×2心	2.0mm ²
140,160形					34m			
224,280形					32m			
224,280形	20A 30mA 0.1sec		20A	3.5mm ² ×2				
④全熱交換器付外気処理ユニット								
750, 1000形	15A 30mA 0.1sec	30A	15A	2.0mm ² ×2	48m	0.75~1.25mm ² ×2	0.3mm ² ×2心	2.0mm ²

注1. 配線こう長は、電圧降下2%とした場合を示します。上記の配線こう長を越える場合は、内線規程に従い、配線太さを見直してください。

注2. リモコン線の延長距離が100mを越える場合は、②リモコンの取付けに従い、配線太さを見直してください。

アドレス設定

アドレス設定は、(1) 手動アドレス設定、(2) 自動アドレス設定の2方法ができます。自動アドレス設定の場合、アドレス設定後、ワイヤードリモコンからアドレスの変更が可能です。設定方法は、室外ユニットに付属の説明書をご覧ください。

②リモコンの取付け（別売部品）

●次の位置へ取付けないでください。

- 直射日光の当たる所
- 発熱器具に近い所
- 湿気の多い所、水が飛散する所
- 取付面が発熱・結露する所
- 油の飛沫や蒸気が直接接触する所
- 取付面の凹凸がある所

リモコン取付・配線

①リモコンの取付けは、リモコン付属の説明書に従ってください。

②リモコン線は、 $0.3\text{mm}^2 \times 2$ 心の電線またはケーブルを使用してください。配線の被覆は1mm以上のものを使用してください。（現地手配）

③リモコン線の総延長は600mです。

延長距離が100mを超える場合は、下記サイズに変更してください。但し、リモコンケース内を通る配線は最大 0.5mm^2 以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズを変更してください。

100～200m以内・・・ $0.5\text{mm}^2 \times 2$ 心

300m以内・・・ $0.75\text{mm}^2 \times 2$ 心

400m以内・・・ $1.25\text{mm}^2 \times 2$ 心

600m以内・・・ $2.0\text{mm}^2 \times 2$ 心

④誤動作する場合がありますので、多芯ケーブルの使用は避けてください。

⑤リモコン線はアース（建物の鉄骨部分または金属など）からできるだけ離してください。

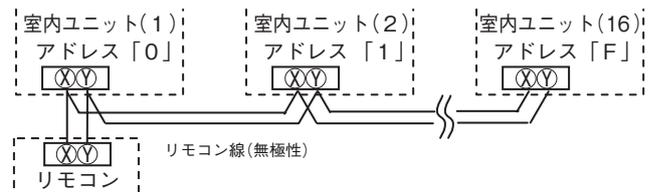
⑥リモコン線は確実にリモコンと室内ユニットの端子台に接続してください。（極性はありません）

1 リモコンによる複数台室内ユニット制御

①1つのリモコンで複数台のユニット（最大16台）をグループ制御できます。

同一モード、同一室温設定で運転します。

②グループ制御用に各室内ユニット間を2心のリモコン線にて渡り配線してください。



③室内基板上のロータリスイッチSW2により、リモコン通信アドレスを重複しないよう「0」～「F」に設定してください。

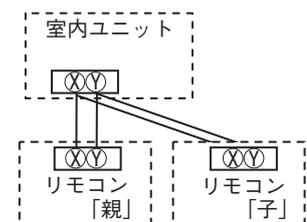
複数リモコン使用時の親子設定

室内1台（又は1グループ）に対して、最大2個までリモコンを接続できます。後操作優先で運転します。

ワイヤードリモコン2台、あるいはワイヤードリモコン+ワイヤレスキット、あるいはワイヤレスキット2台のいずれかの組合せができます。

1個を「親」に、残りを「子」に設定してください。

○注意 リモコンセンサ有効設定は親リモコンのみ可能です。親リモコンを室温検知させる位置に取付けてください。



③ リモコンからの操作・確認方法

ecoタッチリモコンから操作

1 リモコン系統内の接続ユニットの接続台数を確認します。
ツイン・トリプル・Wツイン接続の子機を確認します。

[メニュー]⇒[次頁]⇒[サービス・メンテナンス]⇒[パスワード]⇒[エアコンNo.表示]

2 リモコン系統内の接続ユニットの接続を個別に確認します。
ツイン・トリプル・Wツイン接続の親子機の確認はできません。

停止中、[メニュー]⇒[次頁]⇒[サービス・メンテナンス]⇒[パスワード]⇒[エアコンNo.表示]⇒[個別送風運転]

3 親子リモコン設定

[メニュー]⇒[次頁]⇒[リモコン設定]⇒[パスワード]⇒[リモコン親子設定]

4 運転データの確認方法

[メニュー]⇒[次頁]⇒[サービス・メンテナンス]⇒[パスワード]⇒[運転データ表示]

5 点検表示の確認方法

[メニュー]⇒[次頁]⇒[サービス・メンテナンス]⇒[パスワード]⇒[点検表示]

6 リモコンからの冷房試運転方法

[メニュー]⇒[次頁]⇒[据付設定]⇒[パスワード]⇒[試運転]⇒[冷房試運転]⇒[開始]

7 リモコンからのドレンポンプ試運転方法

[メニュー]⇒[次頁]⇒[据付設定]⇒[パスワード]⇒[試運転]⇒[ドレンポンプ試運転]⇒[運転]

ドット表示リモコンから操作

エアコンNo.ボタンを押すと室内アドレスが表示されますので、▲▼ボタンで接続されている室内アドレスを1台ずつ確認してください。

停止中、エアコンNo.ボタンを押すと室内アドレスが表示されますので、▲▼ボタンで接続されている室内アドレスを1台選択⇒[運転切換]を押すと送風運転します。

子リモコンの切換えスイッチ (SW1) を「子」に設定してください

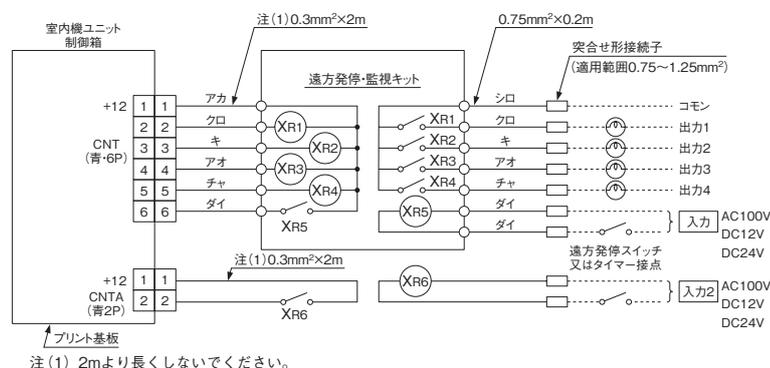
[点検]⇒運転データ表示▼⇒[セット]⇒データ確認中⇒室内機選択⇒▲▼ボタンで接続されている室内アドレスを1台選択⇒[セット]⇒データ確認中⇒▲▼データ選択

[点検]⇒運転データ表示▼⇒[▼]⇒エラーデータ表示▲⇒[セット]⇒データ確認中⇒データ表示

- ①[運転/停止]を押して、運転します。
- ②[運転切換]により、「冷房」を選択します。
- ③[試運転]を3秒以上押します。表示が、「冷房試運転▼」となります。
- ④「冷房試運転▼」の表示で、[セット]ボタンを押すと、冷房試運転を開始します。表示は、「冷房試運転」となります。

- ①[試運転]を3秒以上押します。表示が「冷房試運転▼」となります。
- ②[▼]を一度押し、「ドレンポンプ運転」を表示させます。
- ③[セット]を押すと、ドレンポンプ運転を開始します。表示：「セットで停止」

④ 室内基板CNTコネクタの機能



- XR1~4はDC12Vリレー (オムロン製LY2F相当品)
- XR5は、DC12、24Vまたは100Vリレー (オムロン製MY2F相当品)
- CNTコネクタ (現地側) メーカー、形式
コネクタ：モレックス製 5264-06
端子：モレックス製 5263T
- 遠方発停・監視キットを別売品にて準備しておりますのでご利用ください。
- CNTAコネクタは、FDT他に搭載仕様書で確認願います (現地側) メーカー、形式
コネクタ：日本圧着端子JST製 XAP02V-1-E
端子：日本圧着端子JST製 SXA-01T-P0.6

出力1	エアコン運転出力(エアコンON時XR1=ON)
出力2	暖房出力
出力3	サーモON出力(サーモON時XR3=ON)
出力4	エアコン点検出力(エアコン点検時XR4=ON)
入力	出荷時
	XR5 OFF⇒ON エアコン運転 XR5 ON⇒OFF エアコン停止
※現地切換により、機能・制御が変わります。	
入力2 ※ (FDT他)	出荷時
	XR6 OFF⇒ON エアコン運転 XR6 ON⇒OFF エアコン停止
現地切換により、機能・制御が変わります。	

※室内機能設定参照

⑤ リモコンからの操作・設定

A:ecoタッチリモコン付属の取扱説明書を参照してください。
 B:ecoタッチリモコン付属の据付工事説明書を参照してください。
 C:インターネットよりユーティリティソフトを配信中です。
 ○:ほぼ同等の機能設定・操作が可能です。
 △:類似の機能設定・操作が可能です。

設定および表示項目	詳細内容	eco タッチ	標準 リモコン
1. リモコンネットワーク			
1	複数室内機制御	○	○
2	親子リモコン設定	B	○
2. TOP画面・SW操作			
1	メニュー	A	
2	運転モード	A	○
3	設定温度	A	○
4	風向	A	○
5	風量	A	○
6	タイマー設定	A	○
7	運転/停止SW	A	○
8	ハイパワーSW	A	
9	省エネSW	A	
3. 省エネ設定			
1	切忘れ防止タイマー 管理者パスワード	A	△
2	ピークカットタイマー 管理者パスワード	A	
3	設定温度自動復帰 管理者パスワード	A	△
4. グリル昇降			
1	ラクリーナパネル制御 ラクリーナパネル組合せの場合	A	○
2	降下長設定 管理者パスワード	A	○
3	ダスト回収リセット お掃除パネル組合せの場合	A	
5. フリーフロー設定			
	フリーフロー設定	A	○
6. 換気			
1	換気 換気機器を組合せの場合	A	○

設定および表示項目	詳細内容	ECO タッチ	標準 リモコン
7. 見てみて			
見てみて	室内温度、室外温度、運転時間、消費電力量を表示します。 ●室内ユニット-室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。	A	
8. お掃除パネル設定	管理者パスワード	A	
1 お掃除自動設定	自動清掃の有効/休止を設定します。	A	
2 清掃時間帯設定	自動清掃を開始する時間帯を設定します。	A	
3 清掃間隔設定	自動清掃する最小の間隔を設定します。	A	
4 ダスト回収設定	ダストの回収時期を設定します。	A	
5 ブラシ清掃回数設定	ブラシの清掃回数を設定します。	A	
9. フィルターサインリセット		A	○
1 フィルターサイン解除	フィルターサインの解除を行います。	B	
2 次回清掃日の設定	次回清掃日の設定を行います。	A	
10. 初期設定			
1 時刻設定	現在の日付・時刻を設定および修正を行います。 ●80時間以内の停電の場合、バックアップ電源により時計は動き続けます。	A	△
2 時刻表示設定	時刻表示のあり/なし、12H/24H、AM/PM位置、を設定します。	A	
3 サマータイム補正	現在時刻に対し、+1時間の補正を行います。	A	
4 コントラスト調整	液晶の濃度の調整を行います。	A	
5 バックライト	バックライトの有効/無効、点灯時間を設定します。	A	
6 ブザー音	タッチパネル操作時のブザー音のあり/なしを設定します。	A	
11. タイマー設定		A	
1 時間入タイマー	停止後、運転させたい時間を設定します。 ●1~12時間の範囲を1時間単位で設定可能です。 ●運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	△
2 時間切タイマー	運転後、停止させたい時間を設定します。 ●1~12時間の範囲を1時間単位で設定可能です。	A	△
3 時刻入タイマー	運転開始時刻を設定します。 ●設定時刻は5分単位で設定可能です。 ●1回のみ/毎日の切替が可能です。 ●運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	△
4 時刻切タイマー	運転停止時刻を設定します。 ●設定時刻は5分単位で設定可能です。 ●1回のみ/毎日の切替が可能です。	A	△
5 タイマー設定内容確認	各タイマー設定内容を一覧できます。	A	
12. ウィークリータイマー設定			
1 ウィークリータイマー 管理者パスワード	1週間の入タイマーまたは切タイマーを設定します。 ●1日最大8パターンまで設定可能です。 ●設定時刻は5分単位で設定可能です。 ●休日設定により、無効設定も可能です。 ●運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	△ △ △ △
13. るす番運転			
1 るす番運転 管理者パスワード	お部屋を留守にする時、お部屋を高温/低温にならないように温度を保ちます。 ●外温と制御温度により冷房/暖房を行います。 ●設定温度、風量の設定が可能です。	A	

設定および表示項目	詳細内容	ECO タッチ	標準 リモコン
14.管理者設定	管理者パスワード	A	
1 操作制限設定	●操作の許可/禁止を設定します。 [運転/停止][設定温度切換][運転モード切換][風向切換] [風量切換][ハイパワー運転][省エネ運転][見てみて][タイマー設定] ●操作時の管理者パスワード要求を設定します。 [フリーフロー設定][グリル自動昇降][ウィークリータイマー設定]	A	△
2 室外静音タイマー	静音性を優先して運転する時間帯を設定します。 ●静音運転開始時刻と終了時刻を設定可能です。 ●設定時刻は1日1回、5分単位で設定可能です。	A	△
3 設定温度の範囲設定	設定温度範囲を制限します。 ●運転モードによる温度範囲の制限が可能です。	A	△
4 設定温度刻み切換	設定温度の刻み(0.5℃/1.0℃)を設定します。	A	
5 リモコン表示設定	リモコン名称、室内ユニット名称を登録します。 室温表示のあり/なしを設定します。 (点検コード表示)(暖房準備)(除霜運転中) (自動冷房/暖房)の表示のあり/なしを設定します。	A	○ △ ○
6 管理者パスワード変更	管理者パスワードの変更を行います。 管理者パスワードのリセットを行います。	A B	
15.据付設定	サービスパスワード	B	
1 据付日登録	据付日を登録した場合、点検日表示を行います。	B	
2 サービス情報登録	リモコンに連絡先を登録することができます。 ●連絡先名を全角5文字相当で登録できます。 ●連絡先TEL番号を13文字以内で登録できます。	B	
3 試運転	試運転の開始/停止を制御できます。		
冷房試運転	設定5℃ 30分間運転します。		○
ドレンポンプ試運転	ドレンポンプのみ運転します。	B	○
お掃除試運転	フィルター清掃 ブラシ清掃運転します。 お掃除パネル組合せの場合		
周波数固定運転	インバーターコンプレッサーの運転Hzを固定します。		○
4 グリル昇降操作設定	ラクリーナパネル操作を有効に設定します。 ラクリーナパネル組合せの場合	B	○
5 ダクト静圧補正	機外静圧補正機能付ダクト形室内ユニット組合せの場合に操作できます。 ●接続室内ユニット毎に個別に設定できます。	B	
6 自動アドレス変更	個別発停マルチシリーズ自動アドレス番号を変更することができます。	B	△
7 親室内機アドレス設定	個別発停マルチシリーズ 設定された親ユニットのみ運転モード変更を許可し、親を設定したユニットは親ユニットから送られた運転モードに従って運転します。親ユニットは、最大10台までの室内機運転モードを制御できます。	B	△
16.リモコン機能設定	サービスパスワード	B	
1 リモコン親子設定	リモコン親子設定の変更ができます。	B	○
2 リモコンセンサー	リモコンセンサーに切り替えるモードを設定できます。 冷房/暖房で切換可能です。	B	○
3 9 リモコンセンサー補正	リモコンセンサー検知温度を補正できます。冷房/暖房 別々に補正可能	B	△
4 12 運転モード選択	各運転モード毎に有効/無効を設定できます。	B	○
5 13 ファン速度	ファン速度選択が可能です。	B	○
6 14 外部入力設定	複数室内ユニットに接続されたCnT入力の適用範囲が設定されます。	B	○
7 15 換気設定	換気ユニット組合せ制御が設定できます。	B	○
8 16 ルーバー制御	[4位置停止]/[フリー停止]の切換ができます。	B	○
9 17 停電補償	停電復帰した場合の制御内容を設定できます。	B	○
10 18 設定温度自動設定	設定温度自動の有効/無効を選択できます。	B	
11 19 風量自動設定	風量自動の有効/無効を選択できます。	B	

設定および表示項目	詳細内容	eco タッチ	標準 リモコン
17.室内機能設定	サービスパスワード	B	
1 高天井設定	Hi風量の設定ができます。	B	○
2 フィルターサイン	フィルターサイン点灯タイマーの設定が換えられます。	B	○
3 外部入力設定	外部入力の制御内容を換えられます。	B	○
4 外部入力方式	外部入力の信号方式を換えられます。	B	○
5 外部入力2設定	外部入力2の制御内容を換えられます。	B	
6 外部入力2方式	外部入力2の信号方式を換えられます。	B	
7 暖房室温補正	暖房サーモ判定値を0～+3℃の範囲で変更できます。	B	△
8 吸込温度補正	吸込センサー検知温度を±2℃の範囲で補正できます。	B	△
9 暖房ファン制御	暖房サーモOFF時のファン制御を変更できます。	B	○
10 フロスト防止温度	冷房中室内ユニットの凍結防止制御の判定温度を変更できます。	B	○
11 フロスト防止制御	冷房中室内ユニットの凍結防止制御作動後のファンタップアップを変更できます。	B	○
12 ドレンポンプ運転	冷房・除湿以外の運転モードでのドレンポンプ運転範囲を設定できます。	B	○
13 冷房ファン残留運転	冷房停止・冷房サーモOFF後のファン残留運転を設定できます。	B	○
14 暖房ファン残留運転	暖房停止・暖房サーモOFF後のファン残留運転を設定できます。	B	○
15 暖房ファン間欠	暖房停止・暖房サーモOFFファン残留運転後のファン運転を設定できます。	B	○
16 送風サーモ運転	送風時のサーキュレータ運転を設定できます。	B	
17 外調機設定	マルチユニット外調機単独運転時の圧力制御を変更できます。	B	○
18 運転モード自動設定	運転モード自動の判定方法を3種類から選択できます。	B	
19 サーモ判定切換	サーモ判定を室外温度で補正することができます。	B	
20 風量自動切換	風量自動運転における自動切換範囲を設定できます。	B	
18.サービスメンテナンス	サービスパスワード	B	
1 エアコンNo.	リモコン1台に16台の室内ユニットを接続できます。個別送風運転で確認できます。	B	○
2 次回点検日	次回の点検日を登録することができます。点検日に連絡先の表示をします。	AB	
3 運転データ表示	室内ユニット+室外ユニットの運転データをモニターすることができます。	B	○
4 異常履歴表示	過去の異常履歴(点検コード・発生時間)を14件まで表示できます。	B	△
異常時運転データ表示	直前の異常発生時の運転データを表示できます。	B	
定期点検リセット	定期点検タイマーをリセットします。	B	○
5 お掃除パネル点検	お掃除パネルの詳細点検操作ができます。	B	
6 室内設定保存	接続室内ユニット基板設定内容をリモコンへバックアップすることができます。	B	
7 特殊操作	[室内アドレス消去][CPUリセット][初期化設定][タッチパネル調整]	B	△
19.困ったときは..			
1 連絡先表示	登録した連絡先・TEL番号を表示します。	A	
QRコード	QRコードでインターネット接続⇒点検コード内容を検索できます。		
2 サービスを依頼される前に	Q&A 19項目48パターン表示		
20.点検表示		A	△
点検表示確認	異常発生時の表示		
21.パソコン接続		C	
USB接続	ウィークリータイマー設定他、パソコンから一括設定ができます。		

(c) パネルの据付

(i) 天井埋込仕様(直吹き)

PJC012D300

安全上のご注意

- 据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、**△警告**、**△注意**、に区分していますが、誤った据付けをした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に**△警告**の欄にまとめて記載しています。しかし、**△注意**の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。**⊘ 絶対に行わない** **⓪ 必ず指示に従い行う**
- 据付工事完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、「安全上のご注意」や正しい使用方法・お手入れの仕方（エアフィルタの清掃、運転操作の仕方の方法など）をお客様に説明してください。この据付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方に取扱説明書などをお渡しいただくよう依頼してください。

△警告

- 据付けは、お買い上げの販売店又は専門業者に依頼する。
ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、ユニット落下によるケガの原因になります。 **⓪**
- 据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。
据付けに不備があると・ケガの原因となり、また水漏れや感電・火災などの原因になります。 **⓪**
- 設置工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。
当社指定の部品を使用しないと、水漏れ、火災、感電などの原因になります。 **⓪**
- 電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。 **⓪**
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。 **⓪**
- 室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。
カバーの取付けが不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災、感電などの原因になります。 **⓪**
- オプション部品は、必ず当社指定の部品を使用する。また取り付けは専門業者に依頼する。
ご自分で取付けをされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。 **⓪**
- 改修は絶対に行わない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。
修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。 **⊘**
- 室内ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ずOFFする。
点検・修理にあたって、電源ブレーカがONのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。 **⓪**
- パネルやガードを外した状態で運転しない。
機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。 **⊘**
- 元電源を切った後に電気工事を行う。
感電、故障や動作不良の原因になります。 **⓪**

① 据付のまえに

- ・据付はこの説明書に従って正しく行ってください。
- ・右図の付属品を確認してください。

付属品

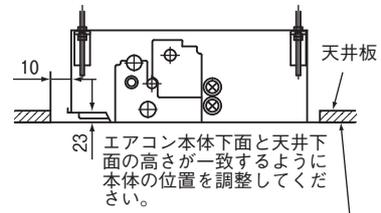
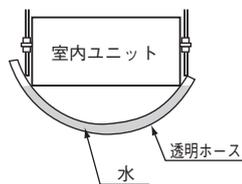
ボルト		右パネル4本、左パネル4本	パネル取付用
ねじ(M4 L=8mm)		右パネル2本、左パネル2本	チェーン取付用

② 本体の取付レベルの確認

- ・室内ユニット本体の据付説明書と共にお読みください。
- ・室内ユニット本体と天井材との取付レベルを確認してください。
室内ユニット下面と天井下面が一致するように室内ユニット高さを調整してください。
(吹出し口部分は天井裏に入ります。)
- ・天井下面と室内ユニット下面との高さの差は5mm以下としてください。

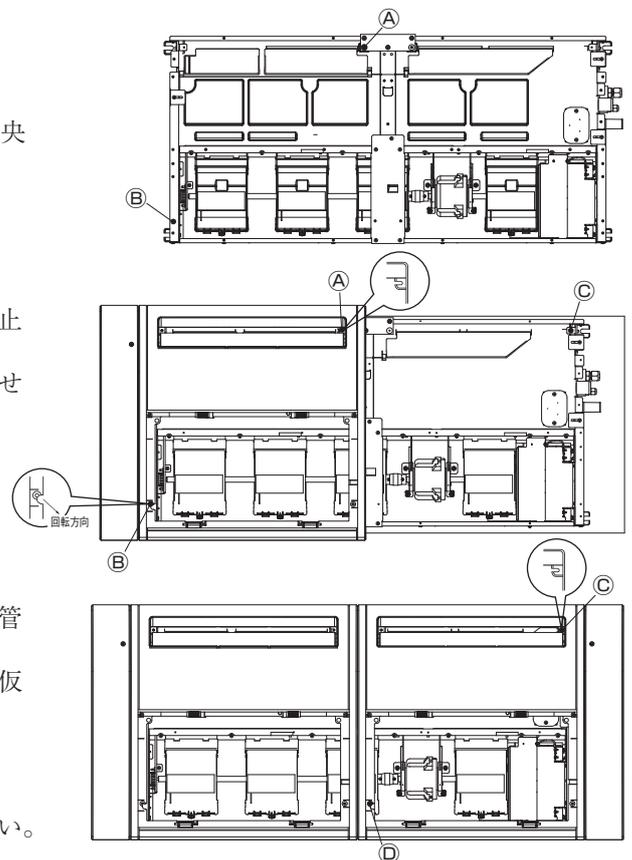
ご注意

室内ユニット本体が天井下面より下方にならないように設置してください。



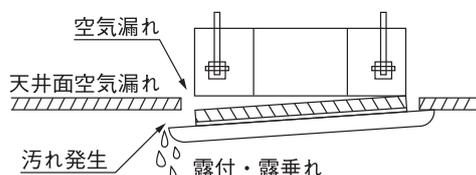
③ パネル取付

1. 左パネル付属のボルト4本のうち、2本を室内ユニットの中央吹出し側とその対角に5mm弱ねじこみます。(A●印)
2. 吸込みグリルを開け左パネルを2本のボルトにひっかけ、仮止めしてください。
仮止めは、先に(A●印)のボルトにパネルをひっかけ、回転させながら(B●印)をひっかけます。
3. 右パネル付属のボルト4本のうち、1本を室内ユニットの配管側に5mm弱ねじこみます。(C●印)
4. (C●印)のボルトにパネルをひっかけ、その対角(D●印)を仮締めします。
5. 右パネルと左パネルの隙間を調整しながら、仮締めしたボルト及び残りのボルト2本をしめつけてください。

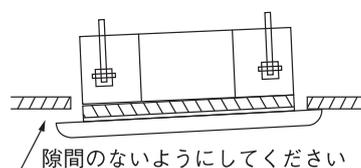


ご注意

・吊りボルトの締め込みが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に締め込んでください。



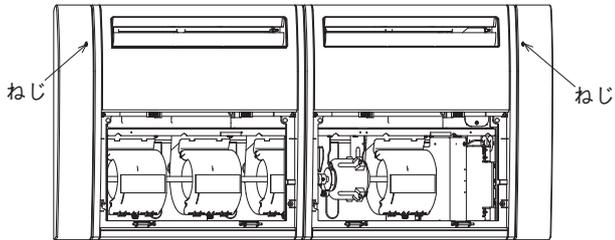
・吊りボルトを締め込んでも天井面と化粧パネルとの間に隙間ができる場合は、室内ユニット本体の高さを再調整してください。



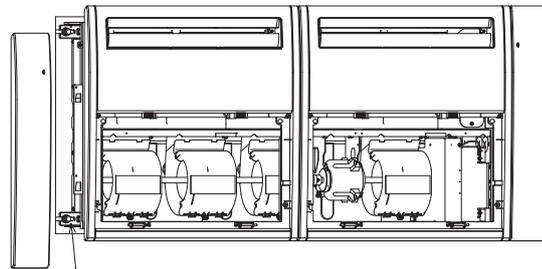
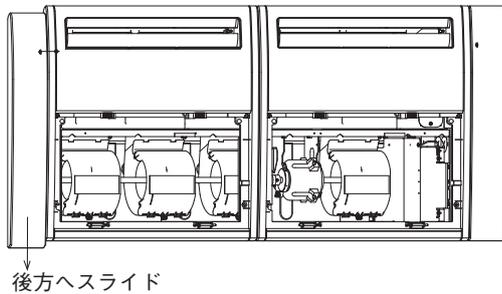
④ ユニット高さ調整方法

室内ユニット本体の水平度、ドレン配管などに影響がでない程度であれば化粧パネルを取り付けたまま室内ユニット本体の据付高さを微調整できます。

1. サイドパネルのねじを取り外してください。



2. サイドパネルを後方にスライドさせ、取り外ししてください。(左右共同様)



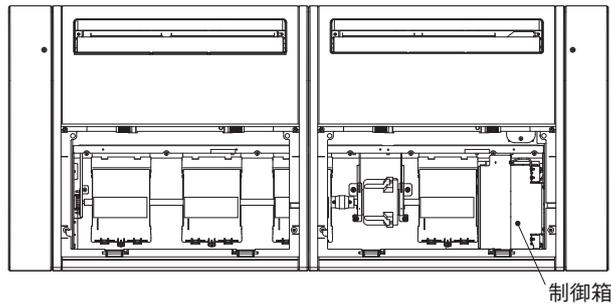
3. 据付高さ調整後は、サイドパネルを元通りに戻してください。

ご注意

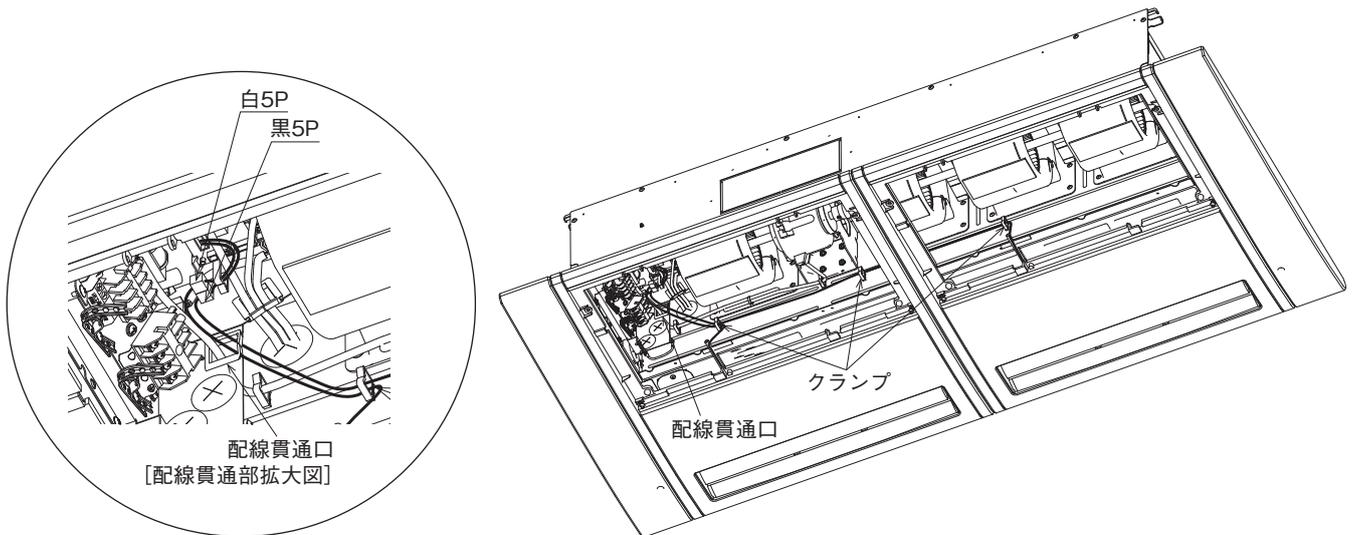
ユニット本体と天井材との高さは、パネル取付の際、パネルに無理な荷重がかからない高さにしてください。パネルが変形し破損の恐れがあります。

⑤ 電気配線

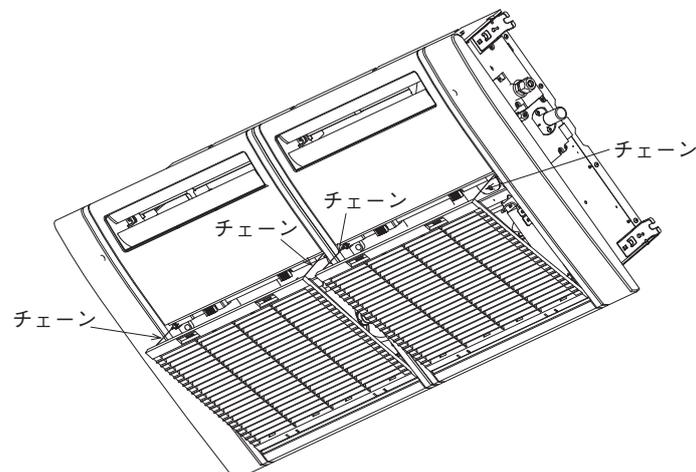
1. ねじ（2本）を外して、ユニット本体の制御箱の蓋を取り外してください。



2. ルーバモータ配線を室内ユニットのクランプに通してください。



3. 左パネルのルーバモータのコネクタ（黒5P）と右パネルのルーバモータコネクタ（白5P）を、それぞれ接続してください。
室内ユニット側のコネクタは、制御箱の中にあります。
コネクタは、色を合わせて接続してください。
4. コネクタ接続後、制御箱の配線の貫通口に、パネル側の配線を通してください。
コネクタは、制御箱内に入れてください。
5. 制御箱の蓋を閉めて、ねじ（2本）を締め付けてください。
6. 吸込みグリルについているチェーンを、パネル側にねじ（2本）で取り付けてください。
チェーンを取り付けるためのねじは、ボルトと同じ袋に入っています。



7. 吸込みグリルを閉めて完了です。

(ii) 下がり天井仕様

安全上のご注意

- 据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、**△警告**、**△注意**、に区分していますが、誤った据付けをした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に**△警告**の欄にまとめて記載しています。しかし、**△注意**の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ここで使われる「図記号」の意味は右のとおりです。**⊘** 絶対に行わない **⓪** 必ず指示に従い行う
- 据付工事完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、「安全上のご注意」や正しい使用方法・お手入れの仕方（エアフィルタの清掃、運転操作の仕方の方法など）をお客様に説明してください。この据付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方に取扱説明書などをお渡しいただくよう依頼してください。

⚠警告

- 据付けは、お買い上げの販売店又は専門業者に依頼する。
ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、ユニット落下によるケガの原因になります。 **⓪**
- 据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。
据付けに不備があると、ケガの原因となり、また水漏れや感電・火災などの原因になります。 **⓪**
- 設置工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。
当社指定の部品を使用しないと、水漏れ、火災、感電などの原因になります。 **⓪**
- 電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。 **⓪**
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。 **⓪**
- 室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。
カバーの取付けが不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災、感電などの原因になります。 **⓪**
- オプション部品は、必ず当社指定の部品を使用する。また取り付けは専門業者に依頼する。
ご自分で取付けをされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。 **⓪**
- 改修は絶対に行わない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。
修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。 **⊘**
- 室内ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ずOFFする。
点検・修理にあたって、電源ブレーカがONのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。 **⓪**
- パネルやガードを外した状態で運転しない。
機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。 **⊘**
- 元電源を切った後に電気工事を行う。
感電、故障や動作不良の原因になります。 **⓪**

① 据付のまえに

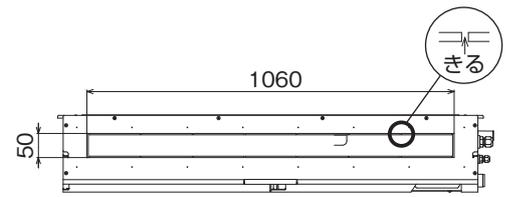
- ・据付はこの説明書に従って正しく行ってください。
- ・右図の付属品を確認してください。

付属品

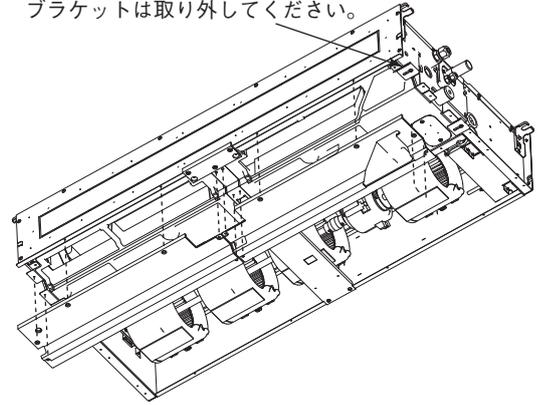
ボルト		右パネル4本、左パネル4本	パネル取付用
ねじ(M4 L=8mm)		右パネル2本、左パネル2本	チェーン取付用
ボトムプレート(左)		1個	
ボトムプレート(右)		1個	
ねじ(M4 L=8mm)		6本	ボトムプレート取付用

② 室内ユニットの据付準備

1. 室内ユニットの前面外側のインシュレーションのスリットに合わせて、ナイフなどで切り込みを入れます。
2. ハーフブランキング部をニッパー等で切断し、切り取ります。
3. ドレンパンを取り外してください。
4. 室内ユニット内側のインシュレーションを切り取り、穴を開けます。
5. 室内ユニット内にごみが残っていないか確認し、ドレンパンをもとにもどしてください。
6. ボトムプレート (右)(左) を付属のねじで取り付けます。
その際、吹出口横にあるドレンパン抑えブラケットは取り外してください。



ドレンパンおさえ
ブラケットは取り外してください。



③ 吹出しダクト・吹出しグリルの取り付け

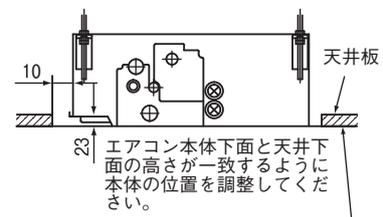
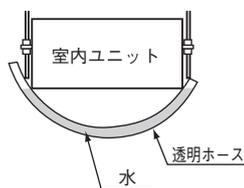
1. 吹出しダクト・吹出しグリル (オプション) に付属の据付説明書に従って、取付を行ってください。

④ 本体の取付レベルの確認

- ・ 室内ユニット本体の据付説明書と共にお読みください。
- ・ 室内ユニット本体と天井材との取付レベルを確認してください。
室内ユニット下面と天井面が一致するように室内ユニット高さを調整してください。
(吹出し口部分は天井裏に入ります。)
- ・ 天井下面と室内ユニット下面との高さの差は、5mm以下としてください。

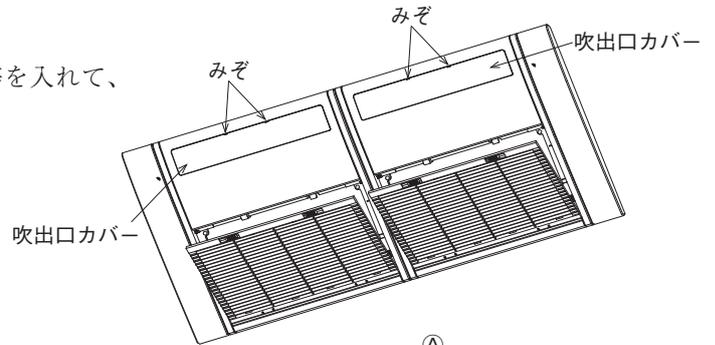
ご注意

室内ユニット本体が天井下面より下方にならないように設置してください。

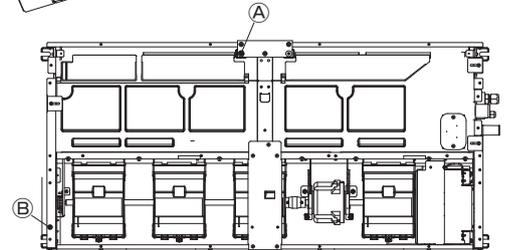


⑤ パネル取付

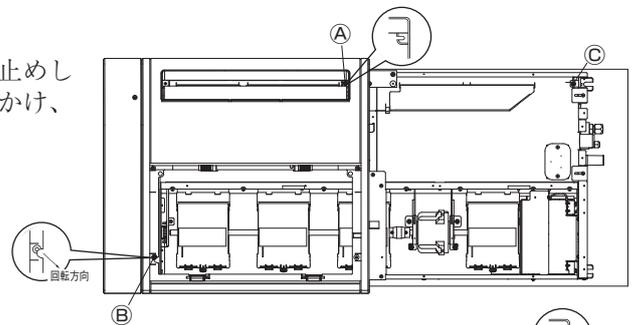
1. パネル吹出し口のカバーの溝に、マイナスドライバー等を入れて、カバーをパネルから取り外してください。



2. 左パネル付属のボルト4本のうち、2本を室内ユニットの中央吹出し側とその対角に5mm弱ねじこみます。(A●印)

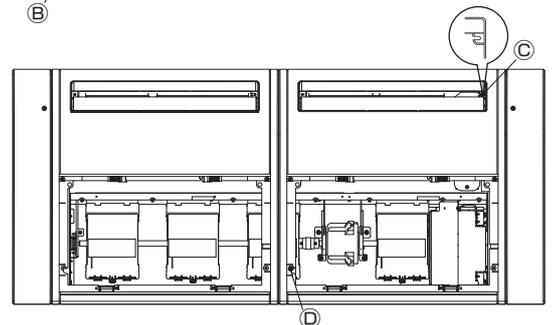


3. 吸込みグリルを開け左パネルを2本のボルトにひっかけ、仮止めしてください。仮止めは、先に(A●印)のボルトにパネルをひっかけ、回転させながら(B●印)をひっかけます。



4. 右パネル付属のボルト4本のうち、1本を室内ユニットの配管側に5mm弱ねじこみます。(C●印)

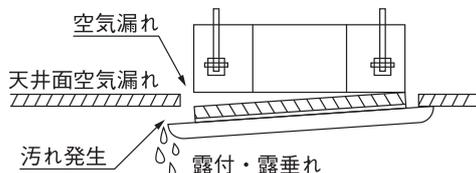
5. (C●印)のボルトにパネルをひっかけ、その対角(D●印)を仮締めします。



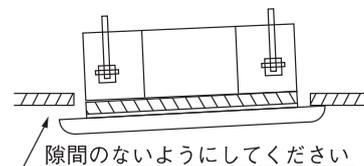
6. 右パネルと左パネルの隙間を調整しながら、仮締めしたボルト及び残りのボルト2本をしめつけてください。

ご注意

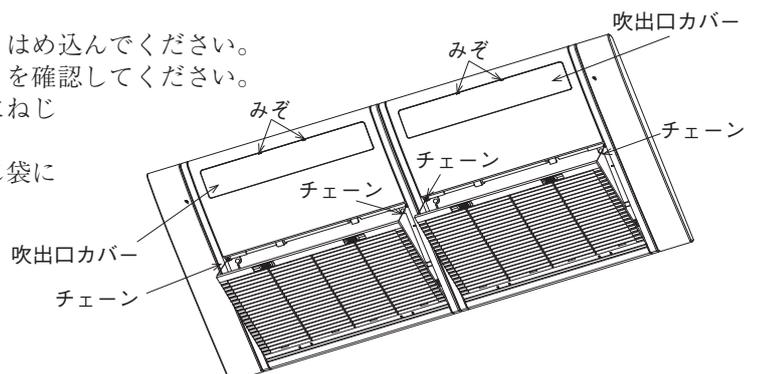
・吊りボルトの締め込みが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に締め込んでください。



・吊りボルトを締め込んでも天井面と化粧パネルとの間に隙間ができる場合は、室内ユニット本体の高さを再調整してください。



7. 吸込みグリルを閉めてください。
8. 吹出し口カバーをパネル下側から押し込み、元通りはめ込んでください。吹出し口カバーは確実にはめこみ、落下しないことを確認してください。
9. 吸込みグリルについているチェーンを、パネル側にねじ(2本)で取り付けてください。チェーンを取り付けるためのねじは、ボルトと同じ袋に入っています。

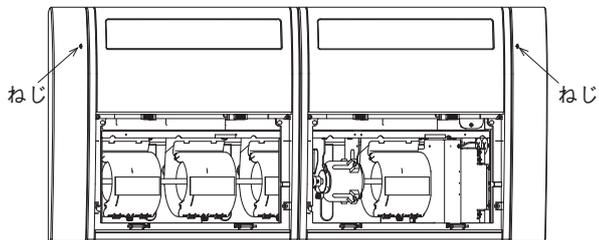


10. 吸込みグリルを閉めて完了です。

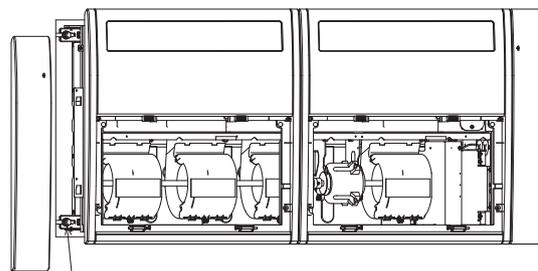
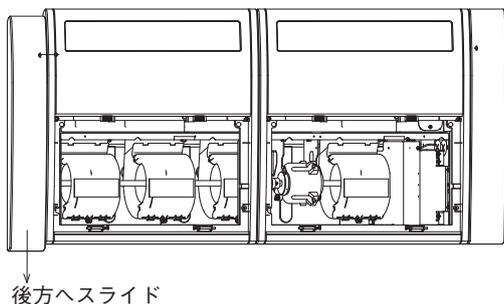
⑥ ユニット高さ調整方法

室内ユニット本体の水平度、ドレン配管などに影響がでない程度であれば化粧パネルを取り付けたまま室内ユニット本体の据付高さを微調整できます。

1. サイドパネルのねじを取り外してください。



2. サイドパネルを後方にスライドさせ、取り外ししてください。(左右共同様)



開口部よりスパナ等の一般工具にてユニット本体のナットを微調整してください。(左右共同様)

3. 据付高さ調整後は、サイドパネルを元通りに戻してください。

ご注意

ユニット本体と天井材との高さは、パネル取付の際、パネルに無理な荷重がかからない高さにしてください。パネルが変形し破損の恐れがあります。

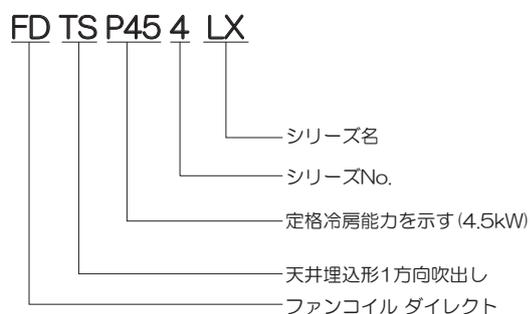
2. ビル空調システム

2.1 室内ユニットシリーズ

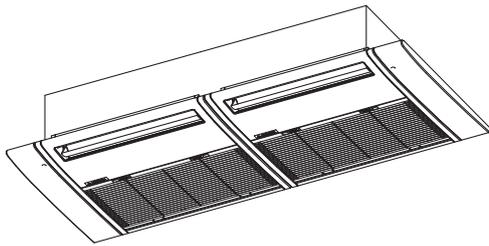
目 次

(1) 仕 様 (運転特性).....	72 (73)
(2) 外 形 図	74
(3) 電気配線図	77
(4) 気 流 分 布	79
(5) 運 転 音	83
(6) 塗 装 色	83
(7) 防振設計用参考資料.....	84
(8) 据付関連事項	84

・形式名称の見方 (例)



(1) 仕 様

項目		形式				
			FDTSP454LX	FDTSP564LX	FDTSP714LX	FDTSP804LX
電 源			単相 200V 50/60Hz			
(1) 能力	冷房能力	kW	4.5	5.6	7.1	8.0
	暖房能力		5.0	6.3	8.0	9.0
定格冷房時の顕熱比			0.66	0.68	0.65	0.65
運 転 音(3)		dB(A)	P急:42,急:40,強:38,弱:35	P急:44,急:41,強:38,弱:35	P急:49,急:46,強:41,弱:36	P急:50,急:46,強:41,弱:36
外形寸法		高さ×幅×奥行	mm 本体:220×1150×565,パネル:35×1460×650			
製 品 質 量		kg	本体:27,標準パネル:6		本体:28,標準パネル:6	
空 気 形 式			アルミフィン&銅チューブ式			
熱 交 換 冷 媒 制 御 器			電子膨張弁			
送 風 機 外 静 圧		Pa	0			
装 置	電動機	定格出力	35 (8極)	50 (8極)	70 (8極)	
	エアフィルタ		プラスチックネット(洗浄可能)			
運 転 調 整		新鮮空気取入口	背面を利用して可能			
		操作スイッチ	RC-D4G, RC-DX1G			
		温度調節	マイコン式サーモスタット			
		表 示	液晶表示(リモコン)			
		表 示 灯	緑色:運転, 赤色:点検(リモコン)			
加 湿 加 熱	補助電気ヒータ		— (組込不可能)			
	温水・蒸気ヒータ		— (組込不可能)			
	加湿器		— (組込不可能)			
高 性 能 フ ィ ル タ			— (組込不可能)			
遠 方 発 停 用 機 能			遠方発停入力用コネクタ(CNT)を保有(6P・室内基板上)			
外 部 制 御 用 出 力 機 能			—			
遠 方 表 示 用 出 力 機 能			運転表示・異常表示出力用コネクタ(CNT)を保有(6P・室内基板上)			
保 護 機 能			ファンモータ:インターナルサーモ, フロートスイッチ, 凍結防止サーモ			
冷 媒 封 入 量		kg	—			
防 振 装 置			送風用電動機:防振ゴム			
防 音 ・ 断 熱 材			外板:吸音断熱材内貼			
配 管 寸 法 (室内側)	冷 媒 配 管 (外径)	液管	φ 6.35(フレア接続)		φ 9.52(フレア接続)	
		ガス管	φ 12.7(フレア接続)		φ 15.88(フレア接続)	
	排 水 管	VP25(ID.25, O.D.32)の排水管接続可能				
I P コ ー ド			IPX0			

注(1) 冷房・暖房能力および電気特性はJIS・B・8616:2006条件によります。

(2) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し天井内部分は本体高さに含まれます。

(3) 運転音は、JIS規格に準拠し無響室にて測定した値です。実際に部屋に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け表示値より大きくなるのが普通です。

(4) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定(P急・急・強)としてください。

(5) ユニットの据付形態により下記のオプション部品が必要です。(※印部品は三菱重工空調システム㈱扱いです。)

ユニット形式	仕 様	標準仕様(直吹き)	下がり天井仕様	
		オートスイング付	オートスイング無	吹出グリル※
全形式		TS-PSA-3AW	TS-PNA-3AW	HA06241(含む吹出ダクト)

PJC001Z345

運転特性

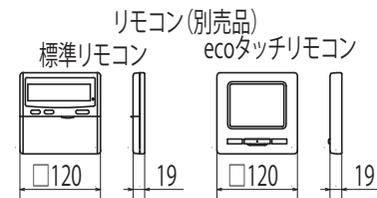
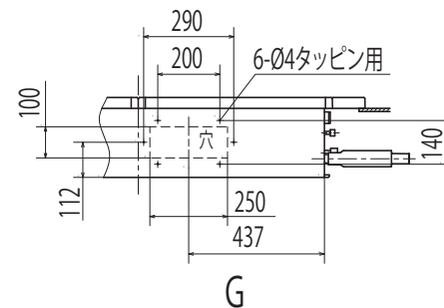
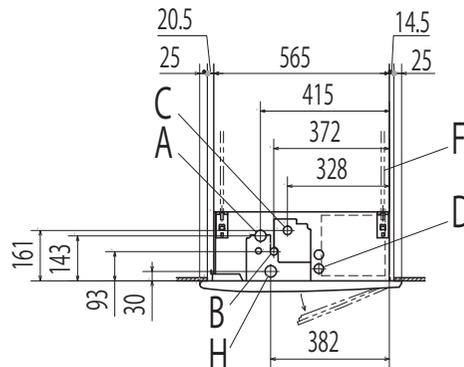
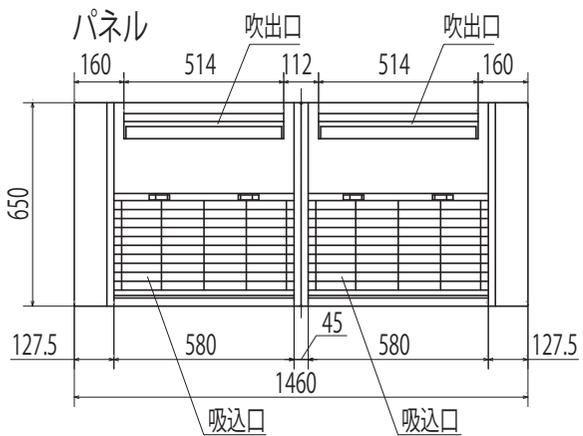
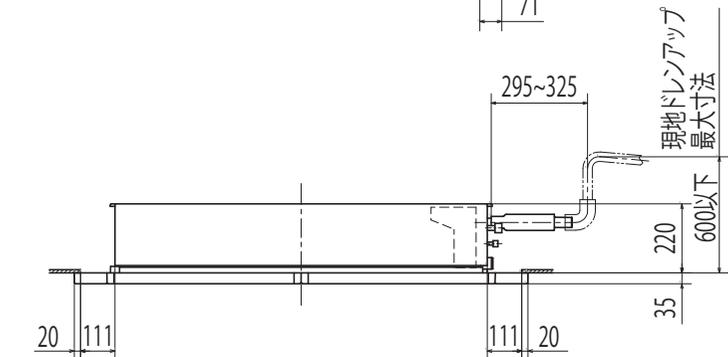
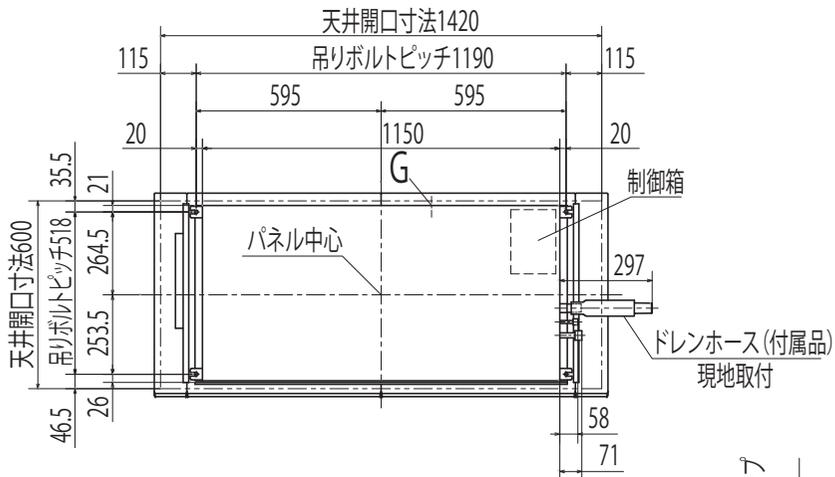
項目		容量			
		454	564	714	804
消費電力 (kW)	冷房	0.04	0.06	0.09	0.09
	暖房	0.04	0.06	0.09	0.09
運転電流 (A)	冷房	0.30	0.43	0.66	0.66
	暖房	0.30	0.43	0.66	0.66

注(1) 上表はJIS・B・8616:2006条件によります。

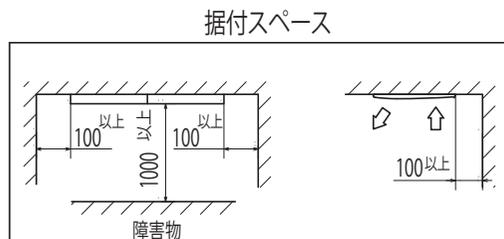
(2) 外形図

(a) 天井埋込仕様 (直吹き)
・全形式

記号	機種	内容	
		P45,56	P71,80
A	冷媒ガス側配管	Ø12.7(フレア)	Ø15.88(フレア)
B	冷媒液側配管	Ø6.35(フレア)	Ø9.52(フレア)
C	ドレン配管	VP25(I.D.25, O.D.32) 注(2)	
D	電源取入口		
F	吊りボルト	(M10)	
G	OA取入口		
H	ドレン配管(自然排水)	VP25(I.D.25, O.D.32)	



注(1) 装置銘板は吸込グリル内に付いてます。
注(2) VP25用接続ソケットを現地手配してください。



隣接設置の場合は、ユニット間を4000以上離してください。

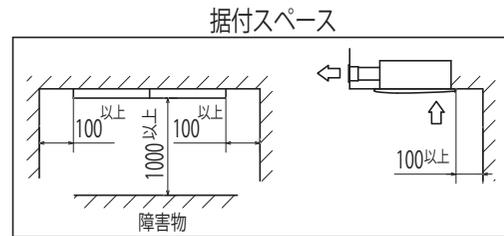
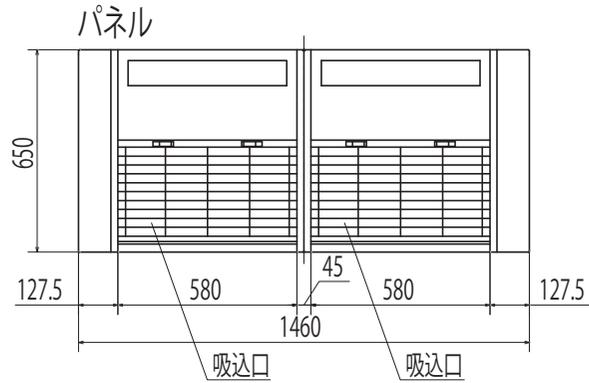
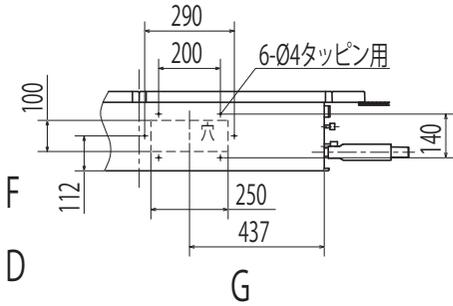
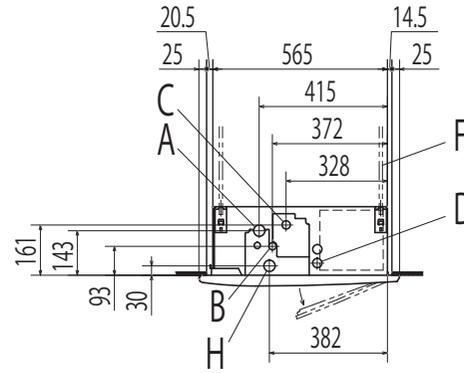
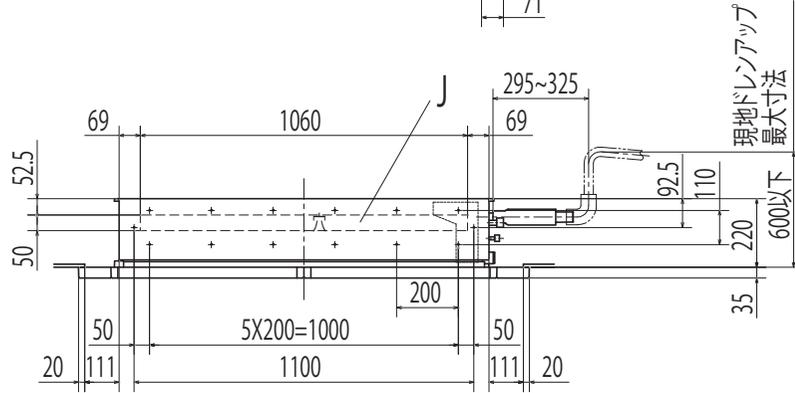
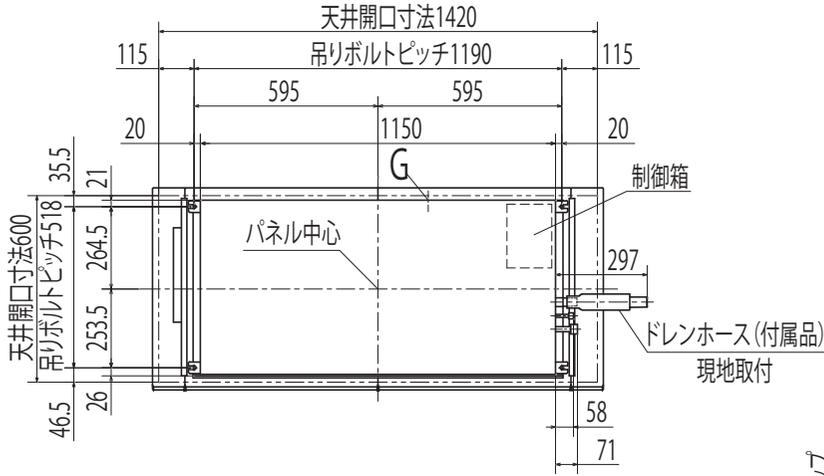
直吹き仕様パネル (品番: TS-PSA-3AW)

PJC001Z347

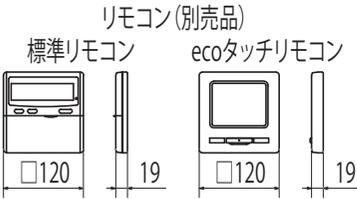
(b) 下がり天井仕様
・全形式

下がり天井仕様パネル (品番: TS-PNA-3AW)

記号	機種	内容	
		P45,56	P71,80
A	冷媒ガス側配管	Ø12.7(フレア)	Ø15.88(フレア)
B	冷媒液側配管	Ø6.35(フレア)	Ø9.52(フレア)
C	ドレン配管	VP25 (I.D.25, O.D.32) 注(2)	
D	電源取入口		
F	吊りボルト	(M10)	
G	OA取入口		
H	ドレン配管(自然排水)	VP25 (I.D.25, O.D.32)	
J	下り天井設置時吹出口		

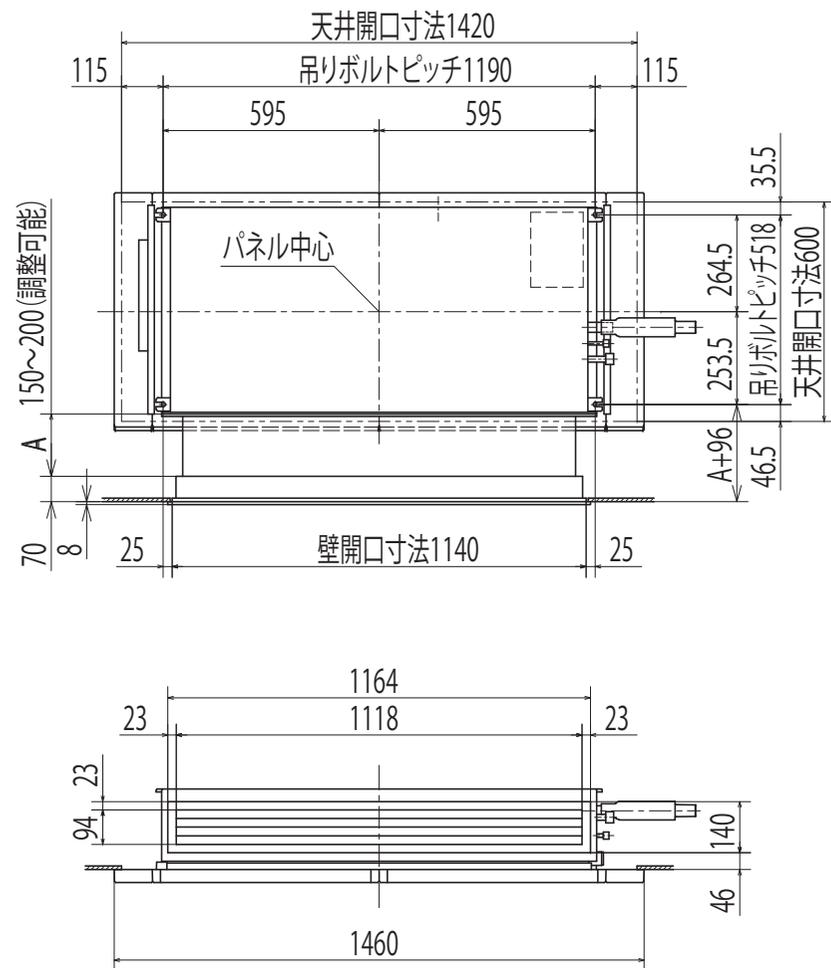


隣接設置の場合は、ユニット間を4000以上離してください。



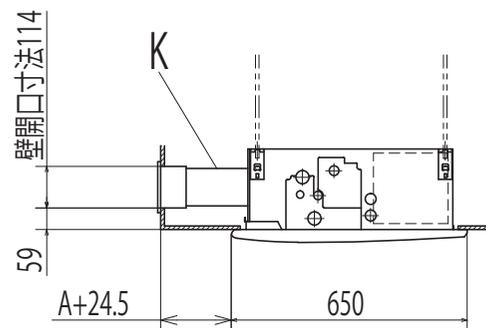
注(1) 装置銘板は吸込グリル内に付いてます。
注(2) VP25用接続ソケットを現地手配してください。

・吹出グリル取付図



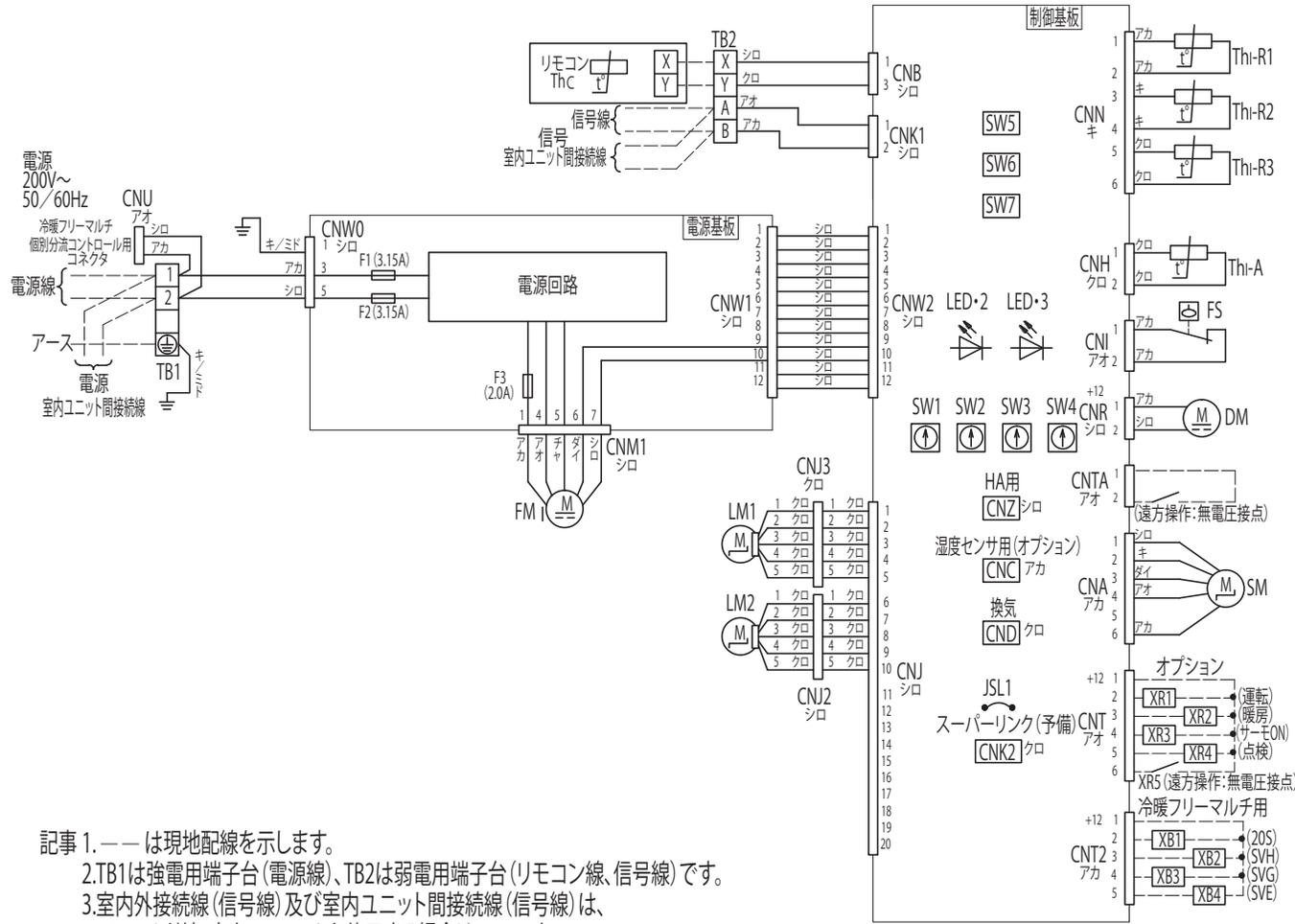
本図は下記オプション部品を組合わせた場合を示す。

K	下がり天井用吹出グリル (含む吹出グリル・ダクト)	三菱重工空調システム HA06241
---	------------------------------	-----------------------



(3) 電気配線図

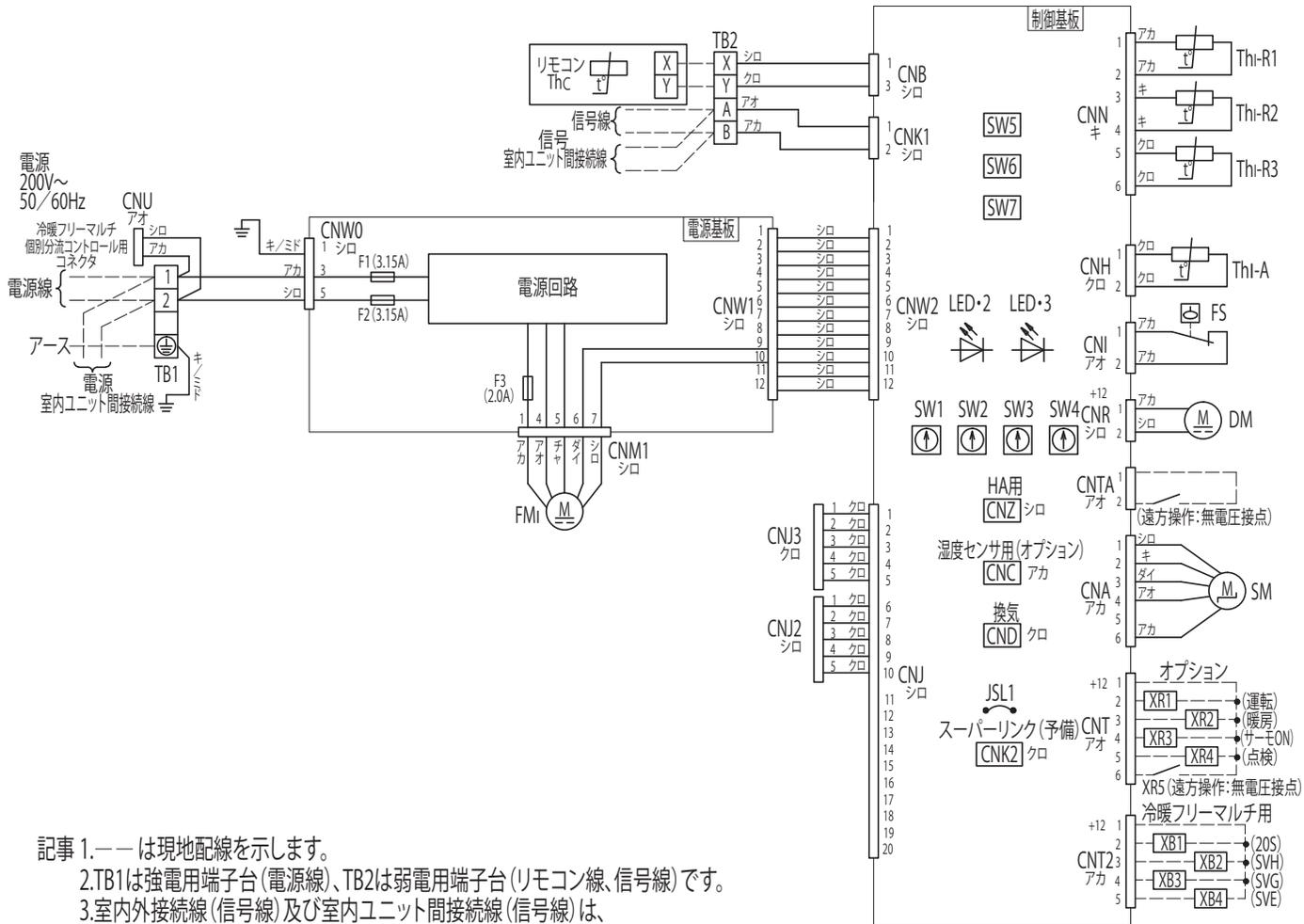
(a) 天井埋込仕様 (直吹き)
・全形式



CNA~Z	コネクタ (□印)
DM	ドレンモータ
F1~3	ヒューズ
FM1	ファンモータ
FS	フロートスイッチ
JSL1	スーパーリンク(予備) 切換
LED・2	表示灯(緑・マイコン正常表示)
LED・3	表示灯(赤・点検表示)
LM1,2	ルーバモータ
SM	ステッピングモータ(電子膨張弁用)
SW1	室内アドレスNo.10の位
SW2	室内アドレスNo.1の位
SW3	室外アドレスNo.10の位
SW4	室外アドレスNo.1の位
SW5-1	スーパーリンク自動判定/日固定
SW5-2	室内アドレスNo.100の位
SW6	機種容量切替
SW7-1	運転チェック・ドレン試運転
SW7-3	パワフルモード 有効/無効
TB1	端子台(電源) (□印)
TB2	端子台(通信) (□印)
ThC	リモコン付属サーミスタ
Th-A	吸込空気センサー
Th-R1,2,3	熱交センサー

- 記事 1. --- は現地配線を示します。
 2. TB1は強電用端子台(電源線)、TB2は弱電用端子台(リモコン線、信号線)です。
 3. 室内外接続線(信号線)及び室内ユニット間接続線(信号線)は、
 ・シールド線、太さ0.75mm²を使用する場合は1500mまで
 ・シールド線、太さ1.25mm²を使用する場合は1000mまで
 ・シールド線以外を使用する場合は、太さ2.0mm²とし、2000mまで
 4. リモコン配線は0.3mm² X2心を使用してください。
 5. リモコン配線、信号線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。

(b) 下がり天井仕様
・全形式



CNA~Z	コネクタ (□印)
DM	ドレンモータ
F1~3	ヒューズ
FM1	ファンモータ
FS	フロートスイッチ
JSL1	スーパーリンク (予備) 切換
LED・2	表示灯 (緑-マイコン正常表示)
LED・3	表示灯 (赤-点検表示)
SM	ステッピングモータ (電子膨張弁用)
SW1	室内アドレスNo.10の位
SW2	室内アドレスNo.1の位
SW3	室外アドレスNo.10の位
SW4	室外アドレスNo.1の位
SW5-1	スーパーリンク自動判定/旧固定
SW5-2	室内アドレスNo.100の位
SW6	機種容量切替
SW7-1	運転チェック・ドレン試運転
SW7-3	パワフルモード 有効/無効
TB1	端子台 (電源) (□印)
TB2	端子台 (通信) (□印)
ThC	リモコン付属サーミスタ
Thi-A	吸込空気センサー
Thi-R1,2,3	熱交センサー

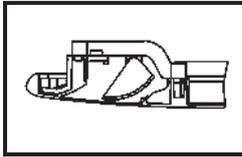
- 記事 1. --- は現地配線を示します。
- TB1は強電用端子台 (電源線)、TB2は弱電用端子台 (リモコン線、信号線) です。
 - 室内外接続線 (信号線) 及び室内ユニット間接続線 (信号線) は、
 - ・シールド線、太さ0.75mm²を使用する場合は1500mまで
 - ・シールド線、太さ1.25mm²を使用する場合は1000mまで
 - ・シールド線以外を使用する場合は、太さ2.0mm²とし、2000mまで
 - リモコン配線は0.3mm² X2心を使用してください。
 - リモコン配線、信号線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。

(4) 気流分布

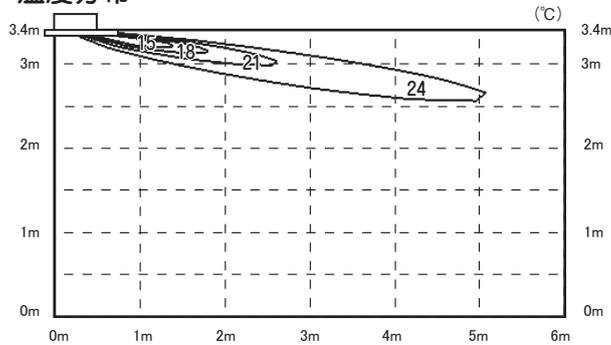
FDTSP454LX

(a) 冷房 風量：P急

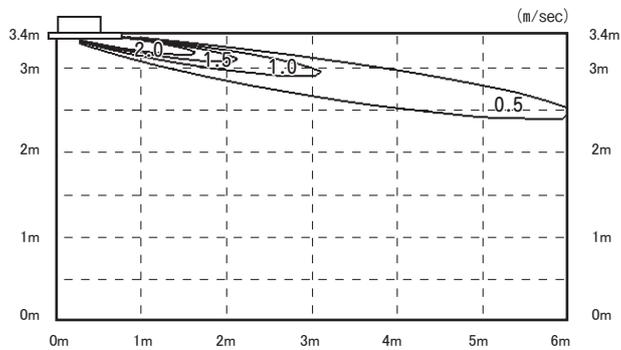
ルーバ位置



温度分布

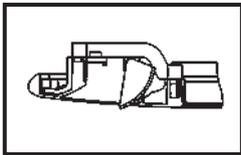


風速分布

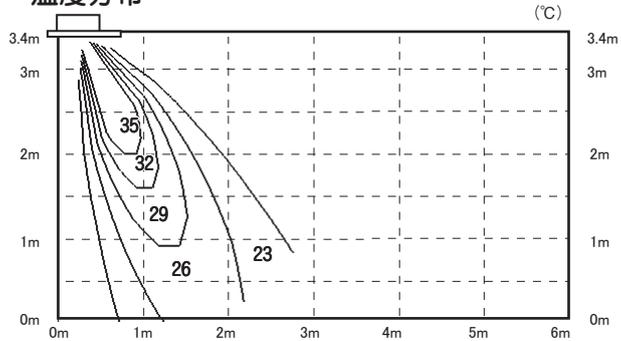


(b) 暖房 風量：P急

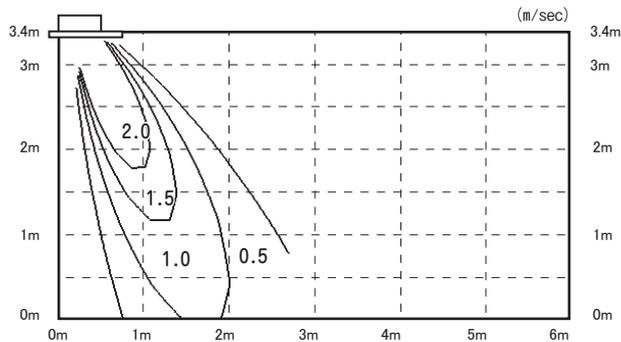
ルーバ位置



温度分布



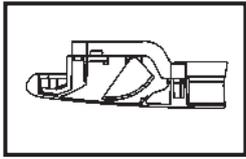
風速分布



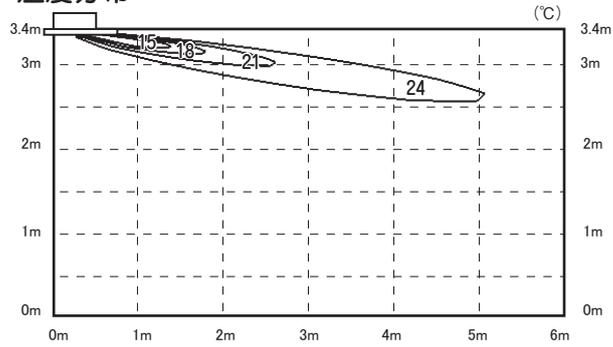
FDTSP564LX

(a) 冷房 風量：P急

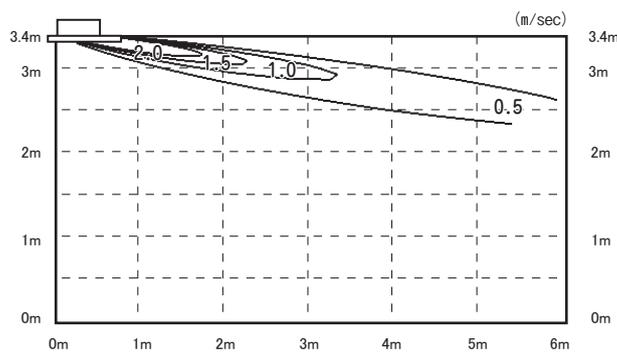
ルーバ位置



温度分布

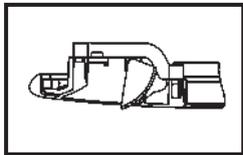


風速分布

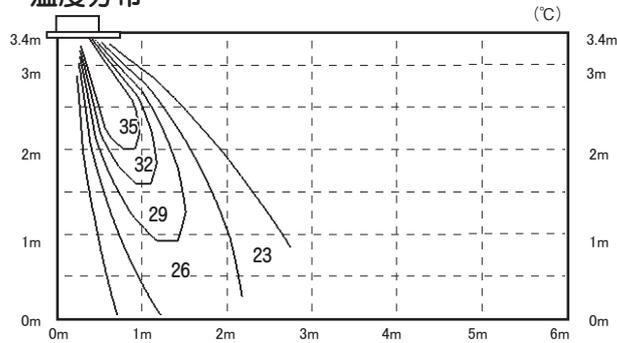


(b) 暖房 風量：P急

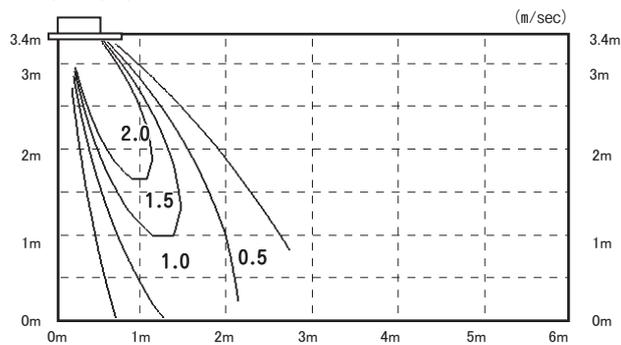
ルーバ位置



温度分布



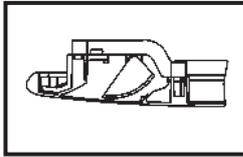
風速分布



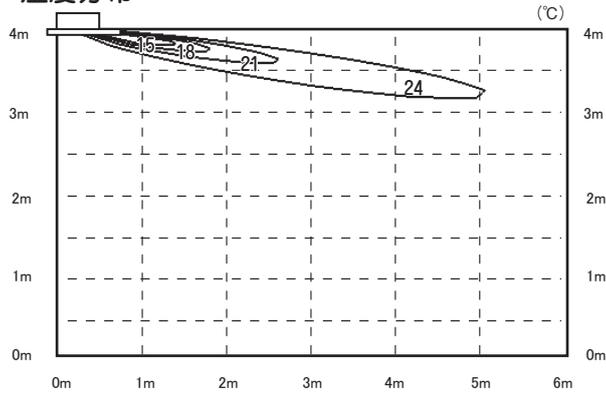
FDTSP714LX

(a) 冷房 風量：P急

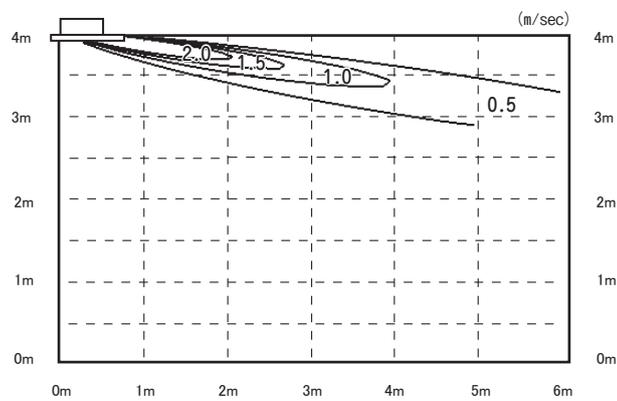
ルーバ位置



温度分布

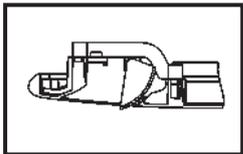


風速分布

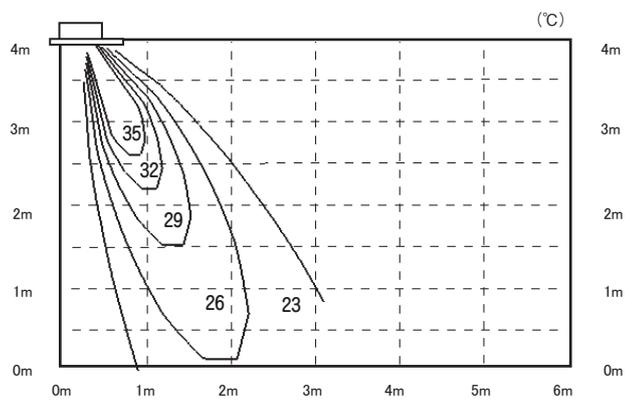


(b) 暖房 風量：P急

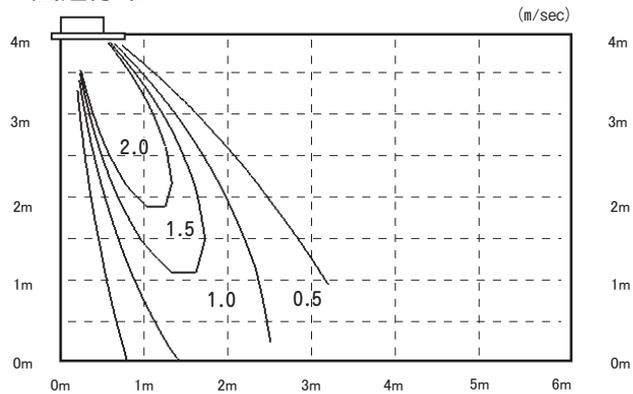
ルーバ位置



温度分布

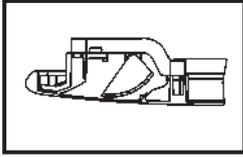


風速分布

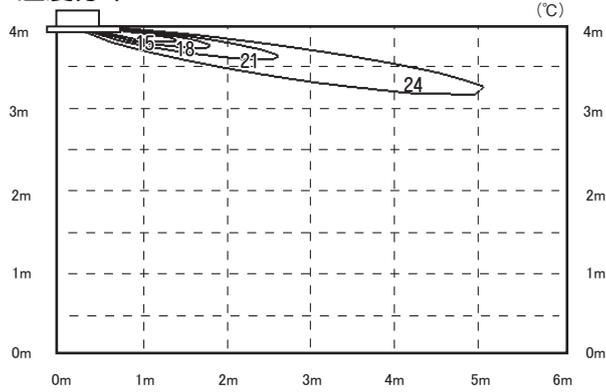


FDTSP804LX

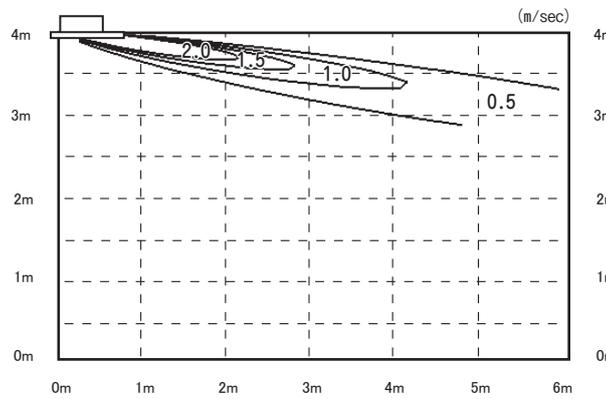
(a) 冷房 風量：P急
ルーバ位置



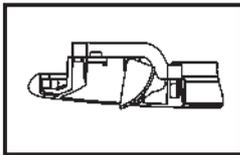
温度分布



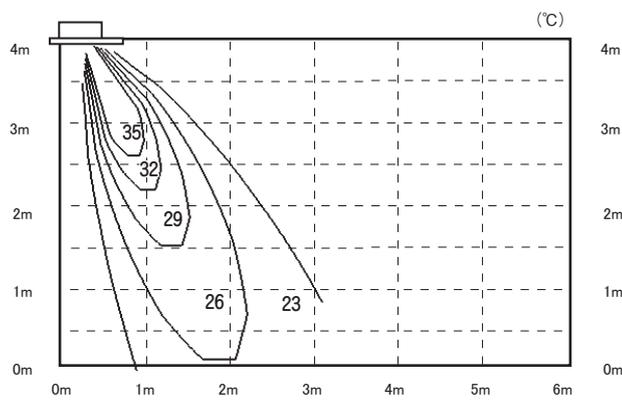
風速分布



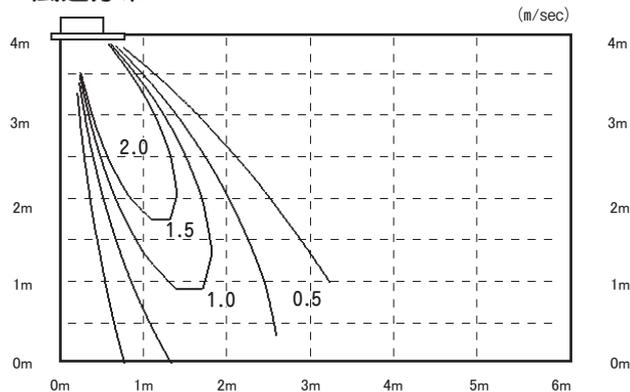
(b) 暖房 風量：P急
ルーバ位置



温度分布



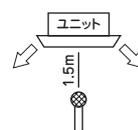
風速分布



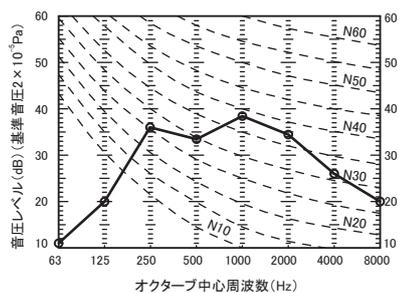
(5) 運 転 音

運転音は、JIS規格に準拠し、無響室にて測定した値です。実際に部屋に据付けた場合は、周囲の騒音や部屋の反響を受け、表示値より大きくなるのが普通です。

(測定条件：JIS-B8616・冷房 測定場所：無響室)
 (マイク位置：ユニット中央下方1.5m)

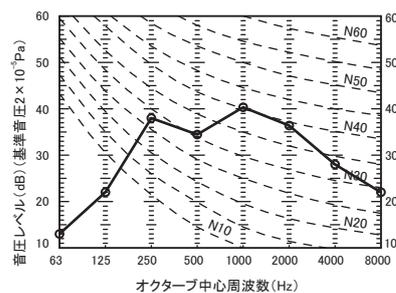


FDTSP454LX



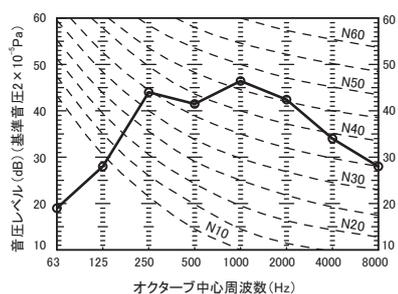
注(1) 暖房時もほぼ同じです。

FDTSP564LX



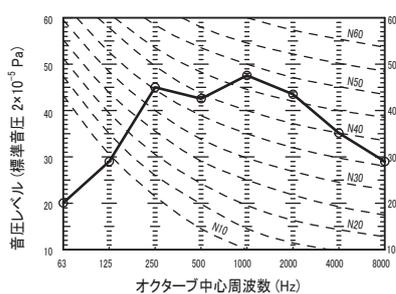
注(1) 暖房時もほぼ同じです。

FDTSP714LX



注(1) 暖房時もほぼ同じです。

FDTSP804LX



注(1) 暖房時もほぼ同じです。

(6) 塗 装 色

1.1 章 (7) と同一です。40 ページをご覧ください。

(7) 防振設計用参考資料

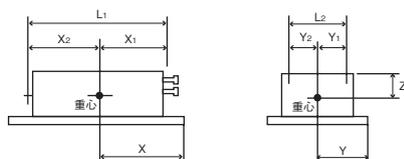
(a) 耐震データ

単位：mm

形式	項目	製品外形寸法 ⁽¹⁾ 幅×奥行×高さ	製品質量 ⁽¹⁾ (kg)	重心位置 ⁽²⁾								
				幅方向				奥行方向			高さ	
				X	X ₁	X ₂	L ₁	Y	Y ₁	Y ₂	L ₂	Z
FDTS	P454LX	1460×650×255	33	655	520	670	1190	274.5	214	304	518	110
	P564LX		34									
	P714LX											
	P804LX											

注(1) 標準パネル使用時を示します。

注(2) L₁(X₁, X₂), L₂(Y₁, Y₂)寸法は据付ボルトの位置を示します。



(b) 防振データ

形式	項目	送風機回転数 ⁽¹⁾ (min ⁻¹)
FDTS	P454LX	995
	P564LX	1140
	P714LX	1345
	P804LX	1412

注(1) P急運転時の数値を示します。

(8) 据付関連事項

1.1章(10)と同一です。46ページをご覧ください。

3. 別売品

PJC012D305

3.1 ワイヤレスキット (RCN-TS)

安全上のご注意

- 据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、**△警告**、**△注意**、に区分していますが、誤った据付けをした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に**△警告**の欄にまとめて記載しています。しかし、**△注意**の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。**⊘ 絶対に行わない** **⚠ 必ず指示に従い行う**
- 据付工事完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、「安全上のご注意」や正しい使用方法をお客様に説明してください。この据付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方に取扱説明書などをお渡しいただくよう依頼してください。

⚠ 警告

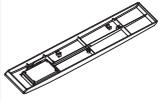
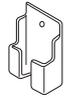
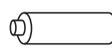
- 据付けは、お買い上げの販売店又は専門業者に依頼する。
ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、ユニット落下によるケガの原因になります。 **⚠**
- 据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。
据付けに不備があるとケガの原因となり、また水漏れや感電・火災などの原因になります。 **⚠**
- 設置工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。
当社指定の部品を使用しないと、水漏れ、火災、感電などの原因になります。 **⚠**
- 電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。 **⚠**
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。 **⚠**
- 室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。
カバーの取付けが不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災、感電などの原因になります。 **⚠**
- 改修は絶対に行わない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。
修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。 **⊘**
- 室内ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF する。
点検・修理にあたって、電源ブレーカが ON のままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。 **⚠**
- パネルやガードを外した状態で運転しない。
機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。 **⊘**
- 元電源を切った後に電気工事を行う。
感電、故障や動作不良の原因になります。 **⚠**

△ 注意

- ワイヤレスキットを下記場所に設置しない。
ワイヤレスキット故障や変形の原因になることがあります。
(1) 直射日光の当たる場所
(2) 発熱器具の近く
(3) 湿気の多い所・水のかかる所
(4) 取付面が発熱・結露する場所
(5) 油の飛沫や蒸気が直接触れる場所
(6) 取付面に凸凹がある所
(7) 室内ユニットの吹出し空気が当たる場所
(8) 蛍光灯（特にインバータタイプ）の近くあるいは、直接日光が受光アダプタに当たる場所
(9) 他の赤外線通信機器の光線が受光アダプタに当たる場所
(10) ワイヤレスリモコンの操作場所から見て、障害物に隠れてしまう場所 **⊘**
- リモコンの上ケースを取り外したまま放置しない。
上ケースを取り外した場合は、内蔵の基板にゴミや水分等が付着しないように、梱包箱あるいは梱包袋に入れて保護してください。 **⊘**

① 付属品

次の付属品を確かめてください。

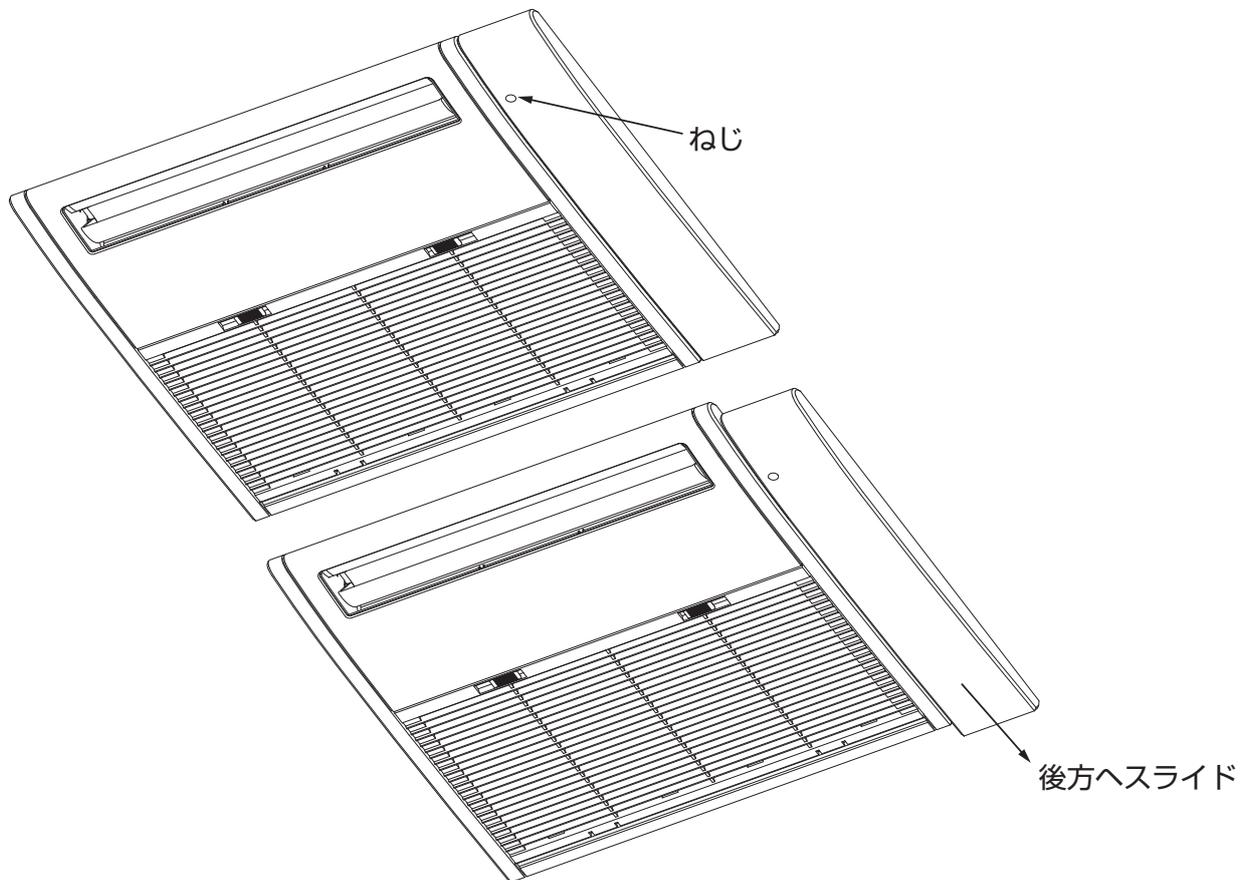
受信部		1	リモコン用ホルダー		1
リモコン		1	木ねじ		2
パーツセット		1	単4乾電池(R03)		2

② 受信部の取付

本ワイヤレスキットの受信部は、冷媒配管側のサイドパネルと交換することにより取付可能です。

取付前の準備

- ① 冷媒配管側のサイドパネルのねじを1本外してください。
- ② サイドパネルを後方にずらし、取り外してください。
- ③ ねじ2本を外して、エアコン本体のコントロールボックスのカバーを取外してください。



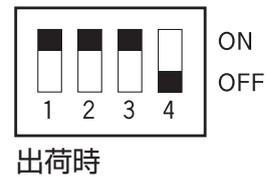
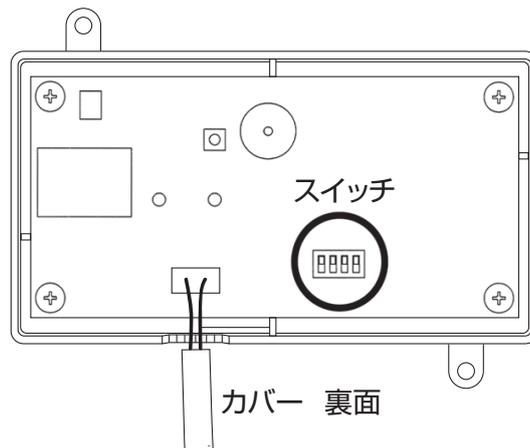
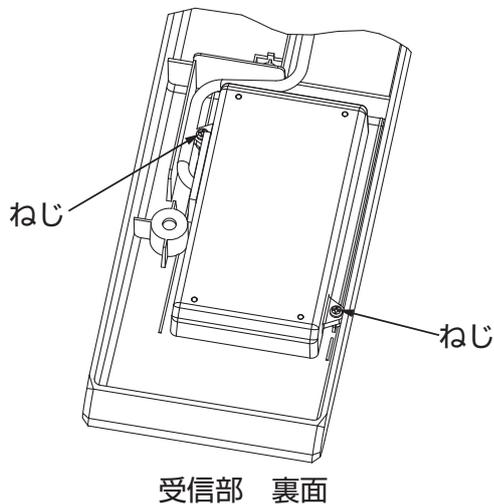
受信部の設定

- ① 受信部基板上のスイッチの設定は以下の通りです。
 なお、出荷時の設定は で囲まれた設定になっています。
 (設定変更する場合は以下の②～④を行ってください。)

SW 1	混信による誤動作防止	ON：通常 OFF：切換
SW 2	受信部の親子切換	ON：親 OFF：子
SW 3	ブザー音の有無	ON：有り OFF：無し
SW 4	停電補償	ON：有効 OFF：無効

<設定を変更する場合>

- ② 受信部裏面のねじ2本を外し、カバーを取外してください。
 ③ カバー裏面の基板上的のスイッチを変更してください。



- ④ SW1をOFFにする場合はリモコン側も以下のように設定変更してください。
リモコンの設定変更

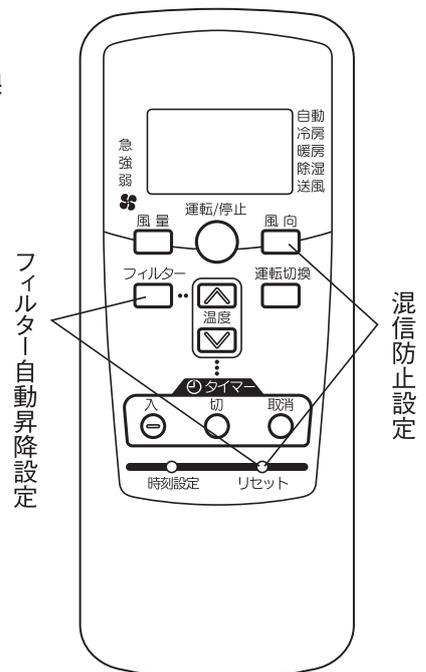
風向 ボタンを押しながら リセット スイッチを押すか、 風向 ボタンを押しながら電池を投入すると設定が混信防止設定へ切り換わります。

ご注意

- ※ 一度電池を取外すと初期設定(工場出荷時設定)へ戻ります。
 電池を取り外した時は、再度、上記操作を行ってください。

お願い

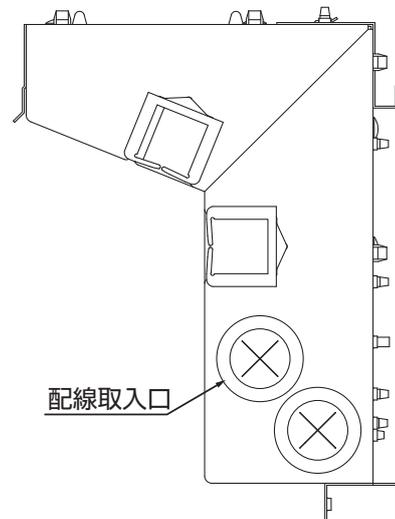
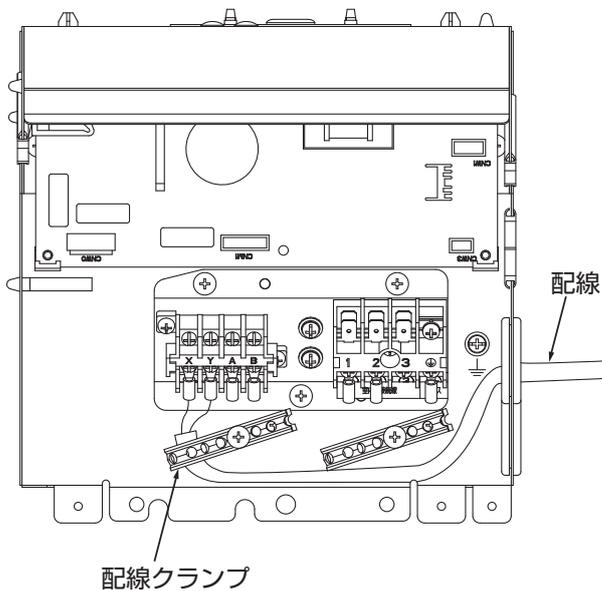
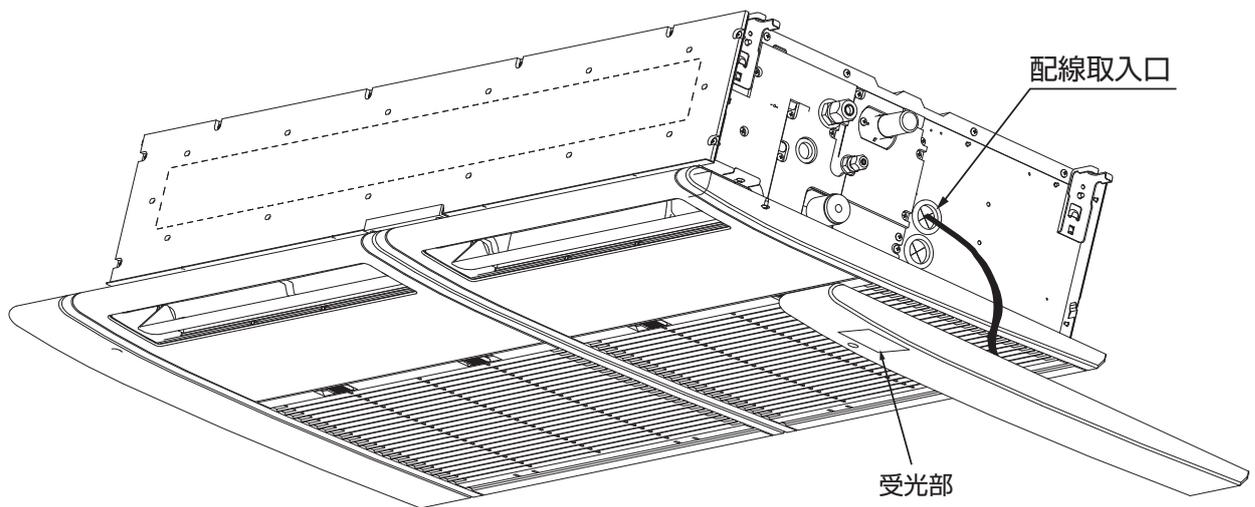
上記操作方法を必ずお客様に説明してください。
 (操作方法はエアコン本体に付属の取扱説明書にも記載してあります。)



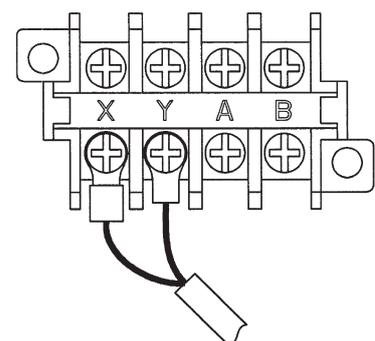
受信部の取付

- ① 受信部の配線を下図に示すように、現地配線と一緒にコントロールボックスに入れてください。
- ② 配線をコントロールボックス内の端子台(X、Y)に接続してください。(無極性)
- ③ 下図に示すように、配線をクランプで固定してください。
- ④ コントロールボックスのカバーを元通りに取付けてください。
- ⑤ 受信部をパネルにひっかけ、ねじ(1本)を用いて取付けてください。

※ ご注意：取付けの際、配線をはさまないようにしてください。



エアコン本体のコントロールボックス中の端子台



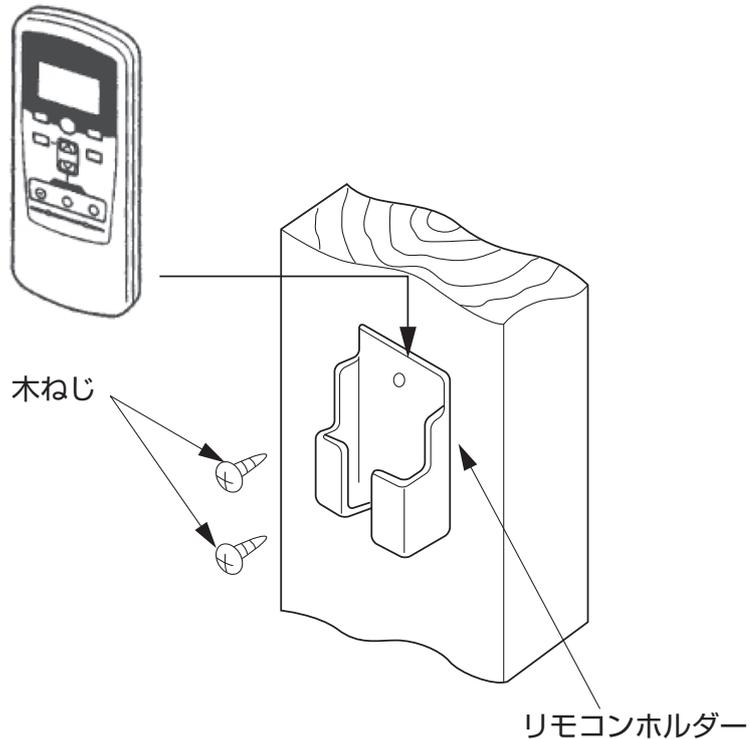
③ リモコン

リモコンホルダーの据付

お願い

次の位置は避けてください。

1. 直射日光の当たる場所
2. 発熱器具の近く
3. 湿気の多い所・水のかかる所
4. 取付面が発熱・結露する場所
5. 油の飛沫や蒸気が直接触れる場所
6. 取付面に凸凹がある所

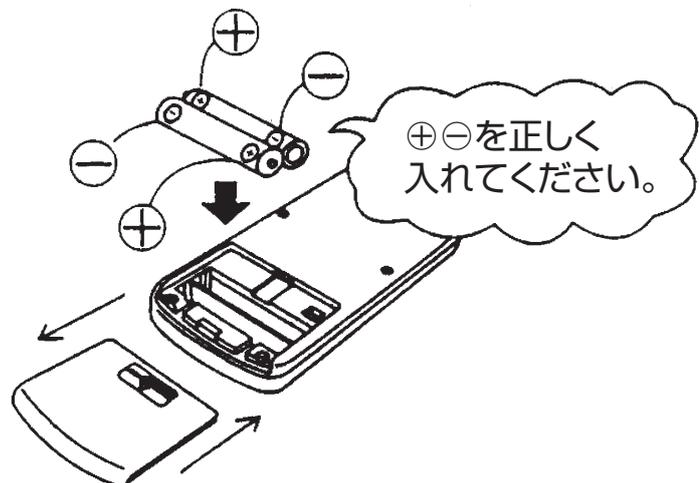


ホルダー取付け時の注意

- ・ 垂直になるよう、調節してください。
- ・ ねじ頭が出ないようにしてください。
- ・ 土壁等へは取付けないでください。

電池の入れ方

- ① 裏蓋を外します。
- ② 乾電池を入れます。(単四 2本)
- ③ 裏蓋を取付けます。



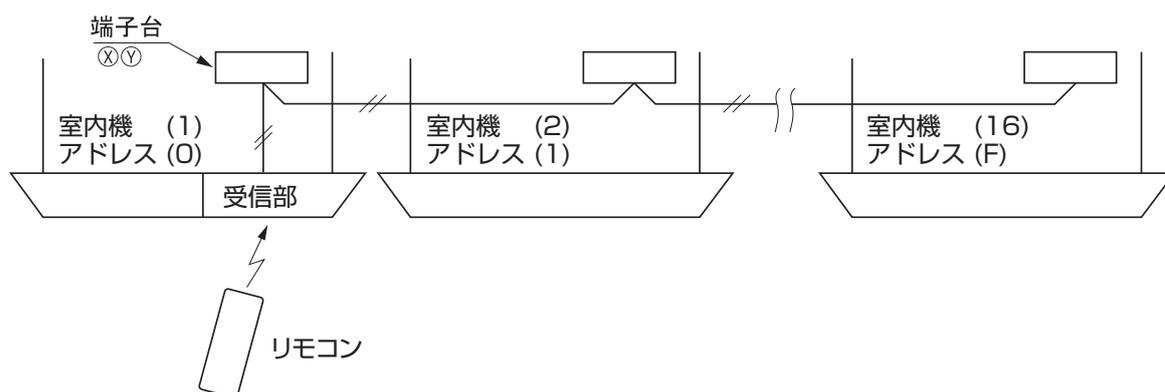
1 リモコンによる複数台室内ユニット制御

室内ユニット最大16台まで接続可能です。

- ① 各室内ユニット間を2心の渡り線にて配線してください。
渡り線については下記を参照してください。
- ② 店舗シリーズの場合：室内基板上的ロータリスイッチSW2により、リモコン通信アドレスを重複しないように「0」～「F」に設定してください。

渡り配線の太さと、長さの制限（最大総長600m）

標準	0.3 mm ² ×100m以内
	0.5 mm ² ×200m以内
	0.75mm ² ×300m以内
	1.25mm ² ×400m以内
	2mm ² ×600m以内



- ③ ビル空調・ガスヒーポンシリーズの場合：室内基板上的ロータリスイッチSW1, SW2, ディップスイッチSW5-2により、リモコン通信アドレスを重複しないように「000」～「127」に設定してください。

複数リモコン使用時の親子設定

1つのグループに対して最大2個までリモコンを接続できます。
その際は2つのワイヤレスキットのいずれか一方の受信部の基板上的SW2をOFFにし、子機設定とする必要があります。

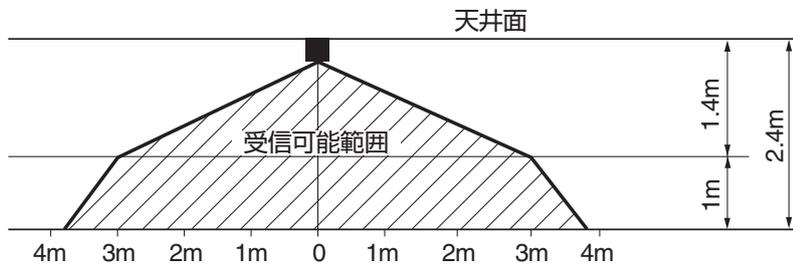
(切り換えは、本説明書 **②受信部の取付** の **受信部の設定** をご覧ください。)

ワイヤレスリモコンの操作距離

① 標準的な受信距離

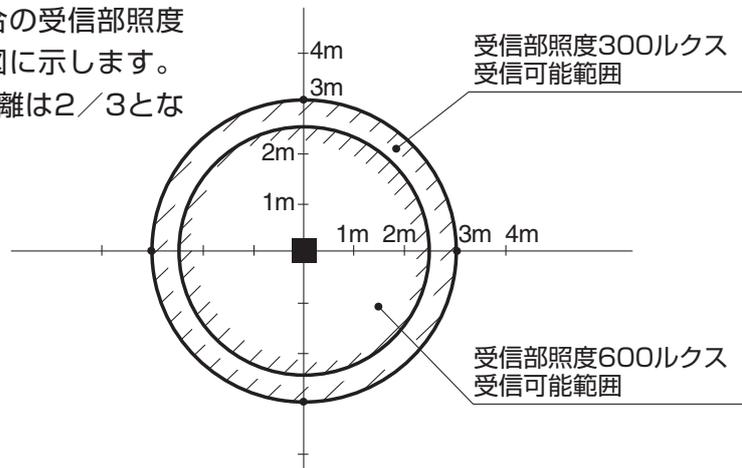
[条件] 受信部照明度300ルクス

(一般事務所で受信部周辺1m以内の天井面に照明がない場合)



② 平面から見たときの受信部照度と受信距離の関係

[条件] 天井高さ2.4m、床面より1mの高さより、リモコン操作した場合の受信部照度と受信距離との関係を右図に示します。照度が2倍になると受信距離は2/3となります。



③ 複数台近接設置の注意

[条件] 受信部照明度300ルクス

(一般事務所で受信部周辺1m以内の天井面に照明がない場合)

[複数台近接設置] リモコン使用時の同一動作を防止できる最小距離は5mです。

④ 自動運転の設定変更

ビル空調・ガスヒーポンシリーズ（除く冷暖フリーマルチ）は、自動運転はできません。

これらの機種に使用する場合は、リモコンを自動運転無効の設定にしてください。

<自動運転無効設定方法>

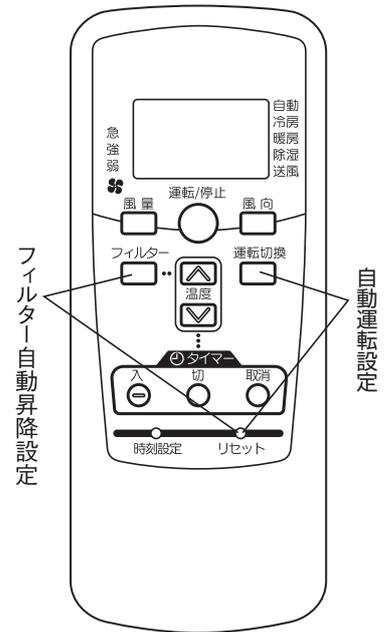
運転切換 ボタンを押しながら **リセット** スイッチを押すか、**運転切換** ボタンを押しながら電池を投入すると、自動運転が無効となります。

ご注意

※ 一度電池を取り外すと初期設定（自動有効設定）へ戻ります。
電池を取り外した時は、再度、上記操作を行ってください。

お願い

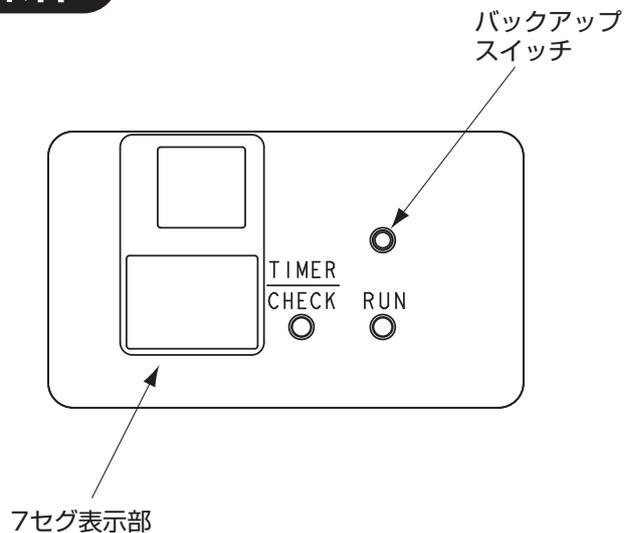
上記操作方法を必ずお客様に説明してください。
（操作方法はエアコン本体に付属の取扱説明書にも記載してあります。）



⑤ バックアップスイッチ操作

受信部の表面にバックアップスイッチを装備しています。ワイヤレスリモコン操作ができない場合（電池切れ、紛失、故障）に急应的に使用してください。操作は、手で直接してください。

- (1) 停止中にバックアップスイッチを押すことにより自動モード（冷専は冷房モード）で運転します。風量「急」温度設定「23℃」ルーバ「水平」
- (2) 運転中にバックアップスイッチを押すことにより「停止」します。



⑥ 冷房試運転操作

- 安全を確認して元電源を投入してください。
- 受信部バックアップスイッチを押しながらリモコンにて冷房運転を送信してください。
- 試運転時に受信部バックアップスイッチを押すと試運転が解除されます。
- 試運転時、正常に動作しない場合は、室内・室外ユニットに貼付けの結線銘板の点検表示を参照し、点検してください。

⑦ 2桁表示の見方

受信部は2桁表示(7セグ)を装備しています。

- (1) 表示は電源投入後1時間表示します。
- (2) リモコンから「停止」送信又は、バックアップスイッチ「停止」操作後3.5秒間表示します。
- (3) 上記の表示は、運転開始とともに消灯します。
- (4) 異常履歴がない場合は接続台数分のアドレスを表示します。
- (5) 異常履歴が残っている場合は、履歴の内容を表示します。
- (6) 異常履歴は、バックアップスイッチを押しながらリモコンから「停止」送信によりクリアされます。

三菱重工業株式会社 冷熱事業本部 〒452-8561 愛知県清須市西枇杷島町旭三丁目1番地
三菱重工空調システム株式会社 〒141-0031 東京都品川区西五反田7-25-5 (ニッセイ五反田アネックスビル)

●製品の仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。